

## 基本計画書

基本計画書								
事項	記入欄						備考	
計画の区分	大学の収容定員に係る学則変更							
フリガナ設置者	がっくおほしん しゅじつがくえん 学校法人 就実学園							
フリガナ大学の名称	しゅじつがく 就実大学 (Shujitsu University)							
大学本部の位置	岡山市中区西川原一丁目6番1号							
大学の目的	本学は、日本国憲法及び教育基本法の精神にのっとり、学校教育法の定める大学として、学術を教授研究し、併せて去華就実の教育方針の下に、文化の進展と社会の福祉に貢献する有意な人材を育成することを目的とする。							
新設学部等の目的	経営学部経営学科の入学定員を100名から60名増加し160名へ、収容定員を400名から240名増加し640名とすることで、地域社会からの期待に対応する。							
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地
		年	人	年次人	人		年月第年次	
	人文科学部 【Faculty of Human Studies】							岡山市中区西川原一丁目6番1号
	表現文化学科 【Department of Culture and Expression】	4	80	0	320	学士 (人文科学)	昭和54年4月第1年次	
	実践英語学科 【Department of Practical English】	4	75	0	300	学士 (人文科学)	昭和54年4月第1年次	
	総合歴史学科 【Department of Comprehensive History】	4	80	0	320	学士 (人文科学)	昭和60年4月第1年次	
	教育学部 【Faculty of Education】							岡山市中区西川原一丁目6番1号
	初等教育学科 【Department of Elementary Education】	4	75	3年次5	310	学士 (教育学)	平成23年4月第1年次 平成25年4月第3年次	
教育心理学科 【Department of Educational Psychology】	4	62	0	248	学士 (教育学)	平成23年4月第1年次		
経営学部 【Faculty of Business Administration】							岡山市中区西川原一丁目6番1号	
経営学科 【Department of Business Administration】	4	160 (100)	0 (0)	640 (400)	学士 (経営学)	令和5年4月第1年次		
薬学部 【Faculty of Pharmaceutical Sciences】							岡山市中区西川原一丁目6番1号	
薬学科 【Department of Pharmaceutical Sciences】	6	100	0	600	学士 (薬学)	平成15年4月第1年次		
計		632 (572)	5 (5)	2,738 (2,498)				
同一設置者内における変更状況（定員の移行、名称の変更等）	該当なし							

教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数			
		講義	演習	実験・実習	計				
		— 科目	— 科目	— 科目	— 科目				
教員組織の概要	学部等の名称		専任教員等					兼任教員等	
	新設	人文科学部 表現文化学科	教授	准教授	講師	助教	計	助手	兼任教員等
			人	人	人	人	人	人	人
	新設	人文科学部 表現文化学科	4	4	3	0	11	0	23
			(4)	(4)	(3)	(0)	(11)	(0)	(23)
	新設	人文科学部 実践英語学科	7	3	5	0	15	0	18
			(7)	(3)	(5)	(0)	(15)	(0)	(18)
	新設	人文科学部 総合歴史学科	4	7	2	0	13	0	16
			(4)	(7)	(2)	(0)	(13)	(0)	(16)
	新設	教育学部 初等教育学科	7	8	3	0	18	0	27
			(7)	(8)	(3)	(0)	(18)	(0)	(27)
	新設	教育学部 教育心理学科	4	4	3	1	12	0	28
			(4)	(4)	(3)	(1)	(12)	(0)	(28)
	新設	経営学部 経営学科	8	5	6	0	19	0	23
(8)			(5)	(6)	(0)	(19)	(0)	(23)	
新設	薬学部 薬学科	21	7	8	8	44	0	8	
		(21)	(7)	(8)	(8)	(44)	(0)	(8)	
新設	計	55	38	30	9	132	0	143	
		(55)	(38)	(30)	(9)	(132)	(0)	(143)	
既設	教育開発センター	0	1	0	0	1	0	0	
		(0)	(1)	(0)	(0)	(1)	(0)	(0)	
既設	計	0	1	0	0	1	0	0	
		(0)	(1)	(0)	(0)	(1)	(0)	(0)	
合計		55	39	30	9	133	0	143	
		(55)	(39)	(30)	(9)	(133)	(0)	(143)	
教員以外の職員の概要	職種		専任		兼任		計		
	事務職員		人		人		人		
	53		26		79				
	(53)		(26)		(79)				
	技術職員		0		0		0		
(0)		(0)		(0)		(0)			
図書館専門職員		3		2		5			
(3)		(2)		(5)					
その他の職員		0		0		0			
(0)		(0)		(0)		(0)			
計		56		28		84			
		(56)		(28)		(84)			
校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用		計			
	校舎敷地	448㎡	37,673.42㎡	0㎡		38,121.42㎡			
	運動場用地	0㎡	53,835.68㎡	0㎡		53,835.68㎡			
	小計	448㎡	91,509.10㎡	0㎡		91,957.10㎡			
	その他	0㎡	4,066.70㎡	0㎡		4,066.70㎡			
合計		448㎡	95,575.80㎡	0㎡		96,023.80㎡			
校舎		専用	共用	共用する他の学校等の専用		計			
7,233.63㎡		41,081.30㎡		2,247.00㎡		50,561.93㎡			
(7,233.63㎡)		(41,081.30㎡)		(2,247.00㎡)		(50,561.93㎡)			
教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設		語学学習施設			
	39室	60室	87室	7室		1室			
				(補助職員 0人)		(補助職員 0人)			
専任教員研究室		新設学部等の名称		室数					
		大学全体		160		室			

図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点		
	大学全体	380,490 [74,502] (366,990 [73,302])	3,425 [523] (3,425 [523])	6,150 [6,149] (6,150 [6,149])	8,797 (8,647)	0 (0)	0 (0)		
	計	380,490 [74,502] (366,990 [73,302])	3,425 [523] (3,425 [523])	6,150 [6,149] (6,150 [6,149])	8,797 (8,647)	0 (0)	0 (0)		
図書館	面積	閲覧座席数		収納可能冊数					
	5,142.55 m <sup>2</sup>	410席		50万冊					
体育館	面積	体育館以外のスポーツ施設の概要							
	2,820.41 m <sup>2</sup>	テニスコート 1,862.00 m <sup>2</sup>		ゴルフ練習場 2,349 m <sup>2</sup>					
経費の見積り及び維持方法の概要	区分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	大学全体
		教員1人当り研究費等	435千円	435千円	435千円	435千円	435千円	435千円	
	共同研究費等	22,060千円	22,060千円	22,060千円	22,060千円	22,060千円	22,060千円	22,060千円	
	図書購入費	40,014千円	40,014千円	40,014千円	40,014千円	40,014千円	40,014千円	40,014千円	
	設備購入費	110,160千円	110,160千円	110,160千円	110,160千円	110,160千円	110,160千円	110,160千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
	人文科学部	1,190千円	920千円	920千円	920千円	—千円	—千円		
	教育学部	1,220千円	950千円	950千円	950千円	—千円	—千円		
	経営学部	1,220千円	950千円	950千円	950千円	—千円	—千円		
	薬学部	2,250千円	1,980千円	1,980千円	1,980千円	1,980千円	1,980千円		
学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常費補助金、資産運用収入及び手数料収入をもって充当する						
既設大学等の状況	大学の名称	就実大学							
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地
		年	人	年次人	人		倍		
	人文科学部						1.06		岡山市中区西川原一丁目6番1号
	表現文化学科	4	80	—	320	学士 (人文科学)	1.05	昭和54年度	
	実践英語学科	4	75	—	300	学士 (人文科学)	1.01	昭和54年度	
	総合歴史学科	4	80	—	320	学士 (人文科学)	1.13	昭和60年度	
	教育学部						1.08		岡山市中区西川原一丁目6番1号
	初等教育学科	4	75	3年次5	310	学士 (教育学)	1.06	平成23年度	
	教育心理学科	4	62	—	248	学士 (教育学)	1.12	平成23年度	
	経営学部 経営学科	4	100	—	360	学士(経営学)	1.07	平成26年度	岡山市中区西川原一丁目6番1号
	薬学部 薬学科	6	100	—	640	学士(薬学)	0.77	平成15年度	岡山市中区西川原一丁目6番1号
	人文科学研究科 人文科学専攻	2	10	—	20	修士 (人文科学)	0.20	平成11年度	岡山市中区西川原一丁目6番1号
医療薬学研究科 疾病治療薬学専攻	4	4	—	16	博士 (医療薬学)	0.62	平成24年度	岡山市中区西川原一丁目6番1号	
教育学研究科 教育学専攻	2	8	—	16	修士 (教育学)	0.31	平成27年度	岡山市中区西川原一丁目6番1号	

既設大学等の状況	大学の名称	就実短期大学							
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地
		年	人	年次人	人		倍		
	幼児教育学科	2	100	—	200	短期大学士(幼児教育)	0.86	S40	岡山市中区西川原一丁目6番1号
	生活実践科学科	2	80	—	160	短期大学士(生活実践科学)	1.06	S28	岡山市中区西川原一丁目6番1号
附属施設の概要	<p>名称：就実大学・就実短期大学附属幼稚園・保育所          目的：建学の精神に則り、総合的育児支援と幼児教育を行うとともに地域の子育て支援事業を実施するため。          所在地：岡山市西川原15-1          設置年月：平成24年4月          規模等：土地4,203.34㎡ 建物1724.31㎡</p>								
	<p>名称：吉備地方文化研究所          目的：広く岡山県地方文化に関する研究を行い、地域文化の発展に寄与することを目的とする。          所在地：岡山市中区西川原一丁目6番1号          設置年月：昭和59年4月設置          規模等：室面積 42.80㎡</p>								
	<p>名称：臨床薬学教育研究センター          目的：薬学部学生に対する病院及び薬局実務実習並びに事前教育等を適切に実施することを目的とする。          所在地：岡山市中区西川原一丁目6番1号          設置年月：平成16年10月設置          規模等：室面積 577.12㎡</p>								
	<p>名称：就実教育実践研究センター          目的：広く幼児教育・初等教育及び教員養成に関する教育・実践・研究を行い、地域の保育・教育の充実振興に寄与することを目的とする。          所在地：岡山市中区西川原一丁目6番1号          設置年月：平成19年4月設置          規模等：室面積 1,701.87㎡</p>								
	<p>名称：就実心理臨床センター          目的：敷居が低く安心して利用できる心理相談の場を地域に提供することと、臨床心理士養成の教育・訓練施設として活用することを目的とする。          所在地：岡山市中区西川原一丁目6番1号          設置年月：平成27年4月          規模等：室面積 348.00㎡</p>								
	<p>名称：就実大学薬学部附属薬局          目的：患者の要望に応じた質の高い業務の実践、幅広い疾患に対応可能な薬剤師の育成、就実大学薬学部と連携した教育・研究活動を通じて、地域医療の発展に貢献することを目的とする。          所在地：岡山市北区田益1291-1          設置年月：令和元年8月          規模等：室面積 442.6㎡</p>								

(注)

- 1 共同学科等の認可の申請及び届出の場合、「計画の区分」、「新設学部等の目的」、「新設学部等の概要」、「教育課程」及び「教員組織の概要」の「新設分」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 2 「教員組織の概要」の「既設分」については、共同学科等に係る数を除いたものとする。
- 3 私立の大学又は高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「教室等」、「専任教員研究室」、「図書・設備」、「図書館」及び「体育館」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 4 大学等の廃止の認可の申請又は届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「校地等」、「校舎」、「教室等」、「専任教員研究室」、「図書・設備」、「図書館」、「体育館」及び「経費の見積もり及び維持方法の概要」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 5 「教育課程」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 6 空欄には、「—」又は「該当なし」と記入すること。



## 学校法人 就実学園 設置認可等に関わる組織の移行表

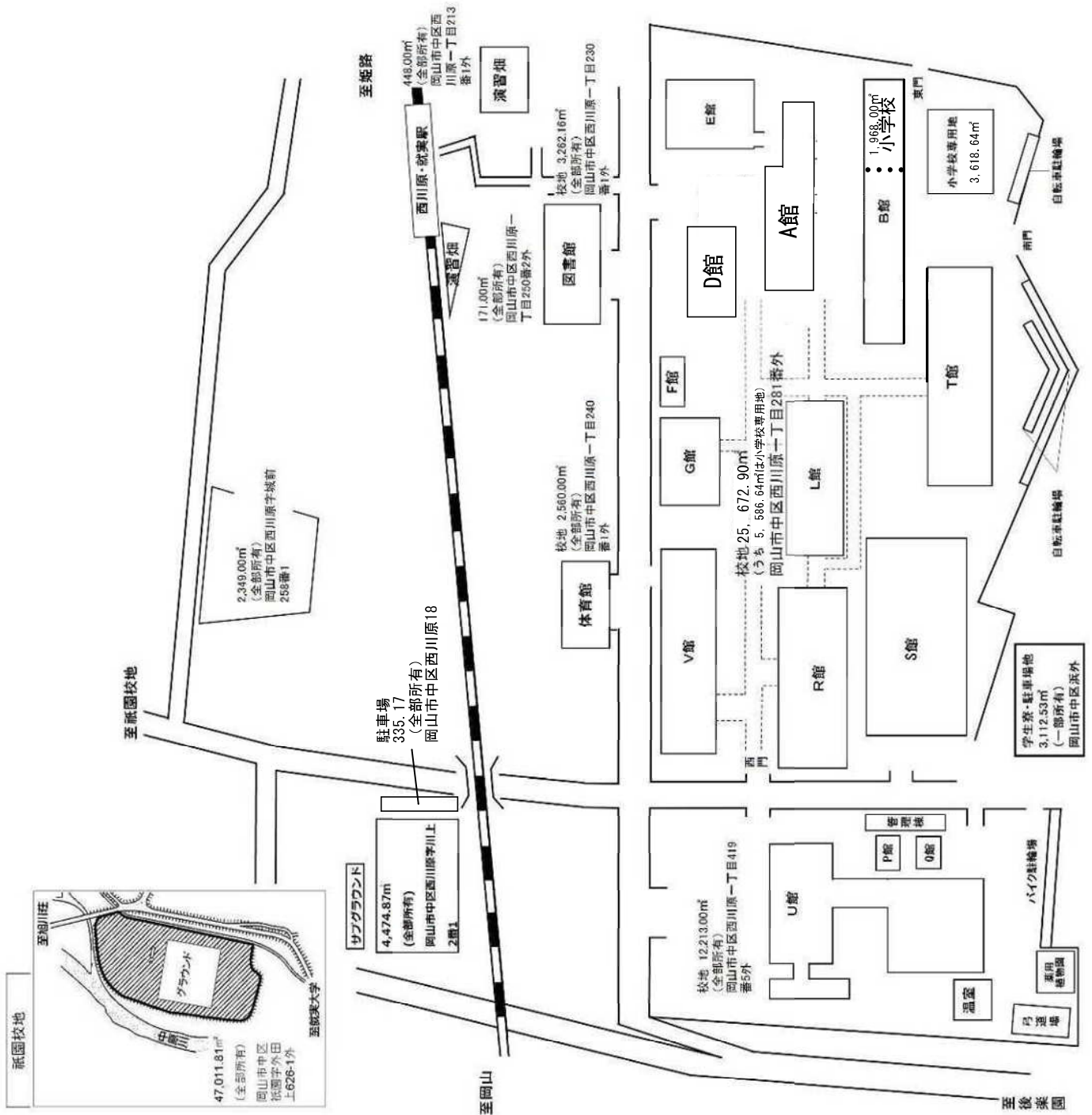
令和4年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員		令和5年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
<b>就実大学</b>					<b>就実大学</b>				
人文科学部					人文科学部				
表現文化学科	80	—	320		表現文化学科	80	—	320	
実践英語学科	75	—	300		実践英語学科	75	—	300	
総合歴史学科	80	—	320		総合歴史学科	80	—	320	
教育学部					教育学部				
初等教育学科	75	3年次	5	310	初等教育学科	75	3年次	5	310
教育心理学科	62	0	248	→	教育心理学科	62	0	248	
経営学部					経営学部				
経営学科	100	—	400		経営学科	<u>160</u>	—	<u>640</u>	定員変更(60)
薬学部					薬学部				
薬学科	100	—	600		薬学科	100	—	600	
計	572	5	2,498		計	632	5	2,738	
<b>就実大学大学院</b>					<b>就実大学大学院</b>				
人文科学研究科					人文科学研究科				
人文科学専攻	10	—	20	→	人文科学専攻	10	—	20	
教育学研究科					教育学研究科				
教育学専攻	8	—	16		教育学専攻	8	—	16	
医療薬学研究科					医療薬学研究科				
疾病治療薬学専攻	4	—	16		疾病治療薬学専攻	4	—	16	
計	22	—	52		計	22	—	52	
<b>就実短期大学</b>				→	<b>就実短期大学</b>				
幼児教育学科	100	—	200		幼児教育学科	100	—	200	
生活実践科学科	80	—	160		生活実践科学科	80	—	160	
計	180	—	360		計	180	—	360	

# 岡山県における本学の位置

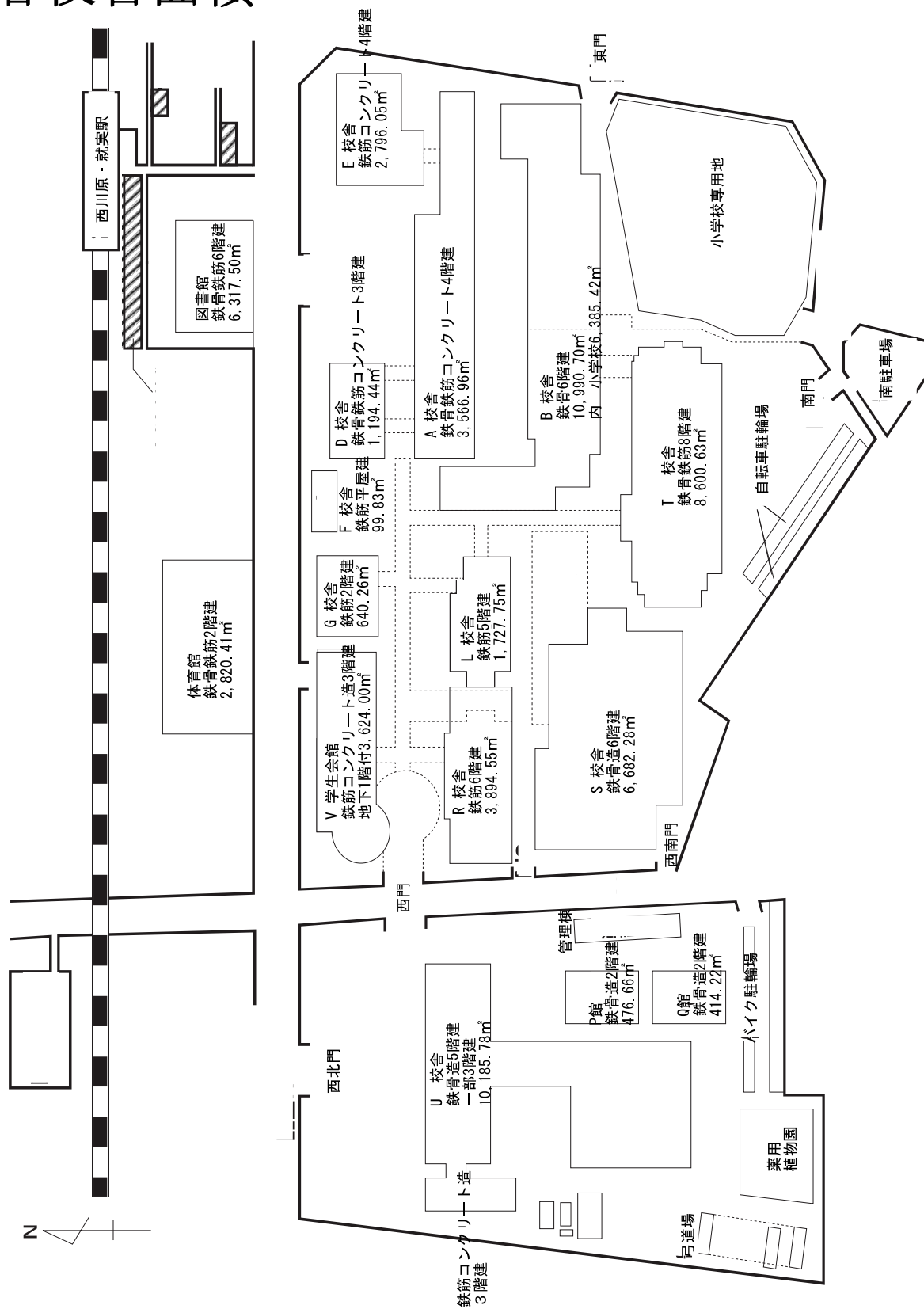




# 各校地面積



# 各校舎面積



# 就実大学学則(案)

## 第1章 総 則

(目的)

第1条 本学は、日本国憲法及び教育基本法の本質にのっとり、学校教育法の定める大学として、学術を教授研究し、併せて去華就実の教育方針の下に、文化の進展と社会の福祉に貢献する有為な人材を育成することを目的とする。

(自己評価等)

第2条 本学は、教育研究水準の向上を図るとともに、前条の目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動の状況について自ら点検、評価、改善を行う。

2 前項の点検、評価、改善を行うため、本学に自己点検・評価・改善委員会を置く。

3 自己点検・評価・改善委員会に関する規程は別に定める。

## 第2章 学部、学生定員及び修業年限

(学部・学科及び収容定員)

第3条 本学に設置する学部、学科及びその収容定員は次のとおりとする。

学部	学科	入学定員	収容定員
人文科学部	表現文化学科	80名	320名
	実践英語学科	75名	300名
	総合歴史学科	80名	320名
教育学部	初等教育学科	75名 3年次編入5名	310名
	教育心理学科	62名	248名
経営学部	経営学科	160名	640名
薬学部	薬学科	100名	600名

(学部・学科の人材の育成及びその他教育研究上の目的)

第3条の2 本学において、各学部・学科における人材の育成に関する目的及びその他教育研究上の目的は次のとおりとする。

学部	学科	目的
人文科学部		人文科学部は、表現文化学科、実践英語学科、総合歴史学科の3学科で構成され、言語・文化・歴史などを学ぶことで、人間の本質を問い、身につけた教養をもとに主体的に行動し、社会及び文化の発展に貢献できる人材を育成することを目的とする。
	表現文化学科	表現文化学科は、日本文学、日本語、表現創造(言語・身体)の3コースで構成される。日本の言語と文化について幅広い学識と理解を身につけ、人間が生活する時空の豊かさを実感できる知識と経験を積み、その学識と経験を活かして現代社会を能動的に生き、社会及び文化の諸問題を解決できる人材を育成することを目的とする。
人文科学部	実践英語学科	実践英語学科は、英語コミュニケーション、英米文化、通訳・翻訳の3コースで構成される。英語教育を含む英語関連領域の専門的・学際的研究を通して、実践的な英語運用能力だけではなく、英語圏の人々、その人々

		を取り巻く社会・文化・思想・価値観についての教養を深化させ、それらを主体的に駆使・応用することで、グローバル化の進む諸領域の創生・発展に貢献できる人材を育成することを目的とする。
	総合歴史学科	総合歴史学科は、日本史、アジア史、ヨーロッパ・アメリカ史、歴史遺産の4コースで構成される。歴史を学び、修得した知識を基に、現代の諸状況を把握して問題の解決を図り、文化的背景の異なる人々の立場を理解して豊かな人間関係を築き、社会の発展に貢献できる人物を育成することを、目標とする。
教育学部		現代における教育の諸問題の解決と健全な社会の発展に寄与するため、去華就実・実地有用の教育理念の下、教育実践、健康、人間関係形成に関する専門的知識・技能を教授するとともに誠実で豊かな人間性を育て、受容し、教え、支え、ケアすることに専門性と実践力を発揮できる教育者・心理師(士)・職業人を育成する。
	初等教育学科	乳幼児保育・幼児教育・小学校教育・特別支援教育に関する専門的知識・技能を教授するとともに、寛容で努力を惜しまない人間性を育て、乳幼児期から思春期までの人格の基礎形成期にある子供一人一人の個性を多様な視点から受容しながら、教え育てるための専門性と実践力を発揮できる保育者・教育者を育成する。
	教育心理学科	心理学・養護に関する専門知識・技能を教授するとともに、カウンセリング・マインドを育て、人の心と行動、心身の健康状態を科学的な視点から理解し、支えケアすることに専門性と実践力を発揮できる心理師(士)・教育者・職業人を育成する。
経営学部	経営学科	グローバルに物事を考えながら、地域の社会や経済の発展に貢献できるグローバル人材を育成することを目的とする。
薬学部	薬学科	生命の尊厳を基盤とした強い使命感と高い倫理観のもとに、人々の健康を守る最良の医療薬学教育・研究を行い、医療・福祉に貢献できる高度な専門性と豊かな人間性を兼ね備えた薬剤師を育成する。

(修業年限及び在学年限)

第4条 本学の修業年限は、人文科学部、教育学部及び経営学部においては4年、薬学部においては6年とする。

2 学生は人文科学部、教育学部及び経営学部においては8年、薬学部においては12年を超えて在学することができない。ただし、編入学、再入学した学生は、その学生が在学すべき年数の2倍に相当する年数を超えて在学することはできない。

(長期履修制度)

第4条の2 前条の規定にかかわらず、本学人文科学部、教育学部及び経営学部において、修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し卒業することを希望する者があるときは、教授会において相当の資格があると認められた者につき、本学の教育に支障がない場合に限り、学長が許可することができる。

2 長期履修学生に関する規程は別に定める。

### 第3章 大 学 院

(大学院)

第5条 本学に大学院を置く。

2 大学院に関する学則は別に定める。

### 第4章 附 属 幼 稚 園

(附属幼稚園)

第5条の2 本学に附属幼稚園を置く。

2 教育研究に併設する事業として、本学に保育所を置く。

3 附属幼稚園及び保育所に関し必要な事項は別に定める。

### 第5章 学 年, 学 期 及 び 休 業 日

(学 年)

第6条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(学 期)

第7条 学年を次の2学期に分ける。

前学期 4月1日から9月30日まで

後学期 10月1日から翌年3月31日まで

(休業日)

第8条 休業日は、次のとおりとする。

一 日曜日

二 国民の祝日に関する法律に規定する休日

三 学園創立記念日 5月18日

四 夏期休業日 8月1日から9月30日まで

五 冬期休業日 12月25日から翌年1月7日まで

六 学年末休業日 3月21日から3月31日まで

2 必要がある場合においては、学長は、前項の規定にかかわらず、臨時に休業日を設け又は休業日を変更することができる。

(1年間の授業期間)

第9条 1年間の授業を行う期間は、試験等の日数を含め、35週にわたることを原則とする。

### 第6章 教 育 課 程 及 び 履 修 方 法 等

(授業科目)

第10条 本学において開設する総合教養教育科目、外国語教育科目及び専門教育科目に関する授業科目とその単位数は別表(1)から(11)のとおりとする。

(授業の方法)

第10条の2 授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。

2 前項の授業は、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

3 第1項の授業は、外国において履修させることができる。

前項の規定により、多様なメディアを高度に利用して当該授業を行う教室等以外の場所で履修させる場合についても、同様とする。

4 第1項の授業の一部を、校舎及び附属施設以外の場所で行うことができる。

5 第2項に関し必要な事項は、別に定める。

(教職等に関する授業科目)



第11条 前条に定めるもののほか、教育職員免許状を取得する者のため、教職に関する科目及び特別支援学校教諭に関する科目を置く。教職に関する授業科目とその単位数は別表(12)のとおりとし、特別支援学校教諭に関する科目とその単位数は別表(13)のとおりとする。

2 学芸員の資格を取得する者のため、博物館に関する科目を置く。博物館に関する授業科目とその単位数は別表(14)のとおりとする。

3 司書の資格を取得する者のため、図書館に関する科目を置く。図書館に関する授業科目とその単位数は別表(15)のとおりとする。

4 司書教諭の資格を取得する者のため、司書教諭に関する科目を置く。司書教諭に関する授業科目とその単位数は別表(16)のとおりとする。

5 社会教育主事の資格を取得する者のため、社会教育に関する科目を置く。社会教育に関する授業科目とその単位数は別表(17)のとおりとする。

6 医療秘書士の申請資格を取得する者のため、医療秘書に関する科目を置く。医療秘書に関する授業科目とその単位数は別表(18)とする。

7 公認心理師の受験資格を取得しようとする者のため、大学において公認心理師となるために必要な科目を置く。大学において公認心理師になるために必要な授業科目とその単位数は別表(7)のとおりとする。  
(単位の計算方法)

第12条 各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により計算するものとする。

一 講義については、15時間の授業をもって1単位とする。

二 演習については、15時間から30時間の授業をもって1単位とする。

三 実験、実習及び実技等については、30時間から45時間の授業をもって1単位とする。

四 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、その組み合わせに応じ、前三号に規定する基準を考慮して本学が定める時間の授業をもって1単位とする。

2 前項の規定にかかわらず、卒業研究及び卒業論文実習の授業科目については、これらに必要な学修等を考慮して単位数を定める。

(授業期間)

第13条 各授業科目の授業は、15週にわたる期間を単位として行うものとする。ただし、教育上特別の必要があると認められる場合は、この期間より短い特定の期間において授業を行うことができる。

(単位の授与)

第14条 授業科目を履修し、その試験に合格した者には、所定の単位を与える。

2 前項の試験に関し、必要な事項は別に定める。

(成績)

第15条 試験の成績は、100点をもって最高とし、60点以上を合格とする。

(成績の評語)

第16条 成績の評語は、90点以上を秀、80点以上を優、70点以上を良、60点以上を可とし、60点未満を不可とする。

(他の大学又は短期大学における授業科目の履修等)

第17条 本学は、教育上有益と認めるときは、学生が他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、60単位を超えない範囲で本学における授業科目の履修により修得したものと認認することができる。

2 前項の規定は、学生が外国の大学又は短期大学に留学する場合に準用する。

3 前2項の実施に関し必要な事項は別に定める。

(大学以外の教育施設等における学修)

第17条の2 本学は、教育上有益と認めるときは、学生が行う他の短期大学又は高等専門学校の専攻科に

おける学修, その他文部科学大臣が別に定める学修を, 本学における授業科目の履修とみなし, 前条により本学において修得したものと認定する単位数と合わせて60単位を超えない範囲で, 単位を認定することができる。

2 前項の実施に関し必要な事項は別に定める。

(入学前の既修得単位等の認定)

第18条 本学は, 教育上有益と認めるときは, 学生が本学入学以前に大学又は短期大学において修得した単位, 及び短期大学又は高等専門学校の特攻科における学修, その他文部科学大臣が別に定める学修については, 本学における授業科目の履修により修得したものと認定することができる。

2 前項により修得したものとみなし, また与えることのできる単位数は, 編入学, 転入学等の場合を除き, 本学において修得した単位以外のものについては, 第17条第1項及び第2項並びに前条第1項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

3 前2項の規定は, 学生が外国の大学又は短期大学で修得した単位の場合にも準用する。

4 前3項の実施に関し必要な事項は別に定める。

(卒業の要件)

第19条 本学を卒業するためには, 人文科学部, 教育学部及び経営学部は4年以上, 薬学部は6年以上在学し, 次に定める単位を含め, 人文科学部, 教育学部及び経営学部は124単位以上, 薬学部は186単位以上を修得しなければならない。

学 部	学 科	総合教養教育科目	外国語教育科目	専門教育科目
人文科学部	表現文化学科	20	6	68
	実践英語学科	20	12	82
	総合歴史学科	20	8	68

学 部	学 科	総合教養教育科目	外国語教育科目	専門教育科目
教育学部	初等教育学科	20	6	62
	教育心理学科	20	6	62

学 部	学 科	総合教養教育科目	外国語教育科目	専門教育科目
経営学部	経営学科	20	8	82

学 部	学 科	総合教養教育科目	外国語教育科目	専門教育科目
薬学部	薬学科	15	6	165

(教育職員免許状等)

第20条 教育職員免許状を取得しようとする者は, 前条各号に定めるもののほかに教育職員免許法及び同法施行規則に定める授業科目の単位を修得しなければならない。

2 本学において取得できる教育職員免許状の種類は次のとおりとする。

学 部	学 科	免許状の種類	免許教科
人文科学部	表現文化学科	中学校教諭一種免許状	国語
		高等学校教諭一種免許状	
	実践英語学科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	外国語 (英語) 外国語 (英語)
人文科学部	総合歴史学科	中学校教諭一種免許状	社会 地理歴史
		高等学校教諭一種免許状	
教育学部	初等教育学科	小学校教諭一種免許状	
		幼稚園教諭一種免許状	

		特別支援学校教諭一種免許状	
	教育心理学科	養護教諭一種免許状	

- 3 学芸員の資格を取得しようとする者は、前条各号に定めるもののほかに博物館法及び同法施行規則に定める授業科目の単位を修得しなければならない。
- 4 司書の資格を取得しようとする者は、前条各号に定めるもののほかに図書館法及び同法施行規則に定める授業科目の単位を修得しなければならない。
- 5 司書教諭の資格を取得しようとする者は、前条各号に定めるもののほかに学校図書館法及び学校図書館司書教諭講習規程に定める授業科目の単位を修得しなければならない。
- 6 社会教育主事の資格を取得しようとする者は、前条各号に定めるもののほかに社会教育法及び社会教育主事講習等規程に定める授業科目の単位を修得しなければならない。
- 7 教育学部初等教育学科において保育士の資格を取得しようとする者は、前条各号に定めるもののほかに児童福祉法及び同法施行規則に定める授業科目の単位を修得しなければならない。
- 8 教育学部において認定心理士の申請資格を取得しようとする者は、前条各号に定めるもののほかに社団法人日本心理学会認定心理士認定資格細則に定める授業科目の単位を修得しなければならない。
- 9 人文科学部，教育学部及び経営学部において医療秘書士の申請資格を取得しようとする者は、前条各号に定めるもののほかに公益社団法人日本医師会が定める授業科目の単位を修得しなければならない。
- 10 教育学部教育心理学科において公認心理師の受験資格を取得しようとする者は、前条各号に定めるもののほかに公認心理師施行規則に定める授業科目の単位を修得しなければならない。

## 第7章 卒業及び学位

### (卒業)

第21条 本学において人文科学部，教育学部及び経営学部は4年以上，薬学部は6年以上在学し，第19条に定める授業科目及び単位数を修得した者については，教授会の意見を聴き，学長が卒業を認定する。

- 2 学長は，卒業を認定した者に対して，卒業証書・学位記を授与する。

### (学位)

第22条 人文科学部を卒業した者に学士（人文科学），教育学部を卒業した者には学士（教育学），経営学部を卒業した者には学士（経営学），薬学部を卒業した者には学士（薬学）の学位を授与する。

- 2 学位に関する規程は別に定める。

## 第8章 入学，退学，転学及び休学等

### (入学の時期)

第23条 入学の時期は，学年の始めとする。ただし，再入学及び転入学については，学期の始めとすることができる。

### (入学資格)

第24条 本学に入学することのできる者は，次の各号の一に該当する者とする。

- 一 高等学校を卒業した者
- 二 通常の課程による12年の学校教育を修了した者
- 三 外国において，学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- 四 文部科学大臣の指定した者
- 五 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程によ

る大学入学資格検定に合格した者を含む)

六 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

七 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

八 個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達した者  
(入学志願の手続)

第25条 本学への入学を志願する者は、本学所定の書類に入学検定料を添えて提出しなければならない。

2 入学検定料の金額は別に定める。

3 本学において特に必要があると認められた者は、入学検定料を減免することができる。

4 入学検定料の減免に関する規程は別に定める。

5 提出の時期、方法、同時に提出すべき書類等については別に定める。

(入学者の選考)

第26条 前条の入学志願者については、別に定めるところにより、選考を行う。

(入学手続及び入学許可)

第27条 前条の選考の結果に基づき合格の通知を受けた者は、所定の期日までに、入学金その他の学納金及び本学の指定する書類を提出しなければならない。

2 学長は、前項の入学手続を完了した者に入学を許可する。

(再入学)

第28条 願いにより本学を退学した者又は第38条第一号により除籍された者が再入学を希望するとき、選考のうえ、教授会の意見を聴き、学長が入学を許可することができる。

2 前項の場合、退学又は除籍前に修得した授業科目及び単位数の全部又は一部を既に修得したものとして認めることがある。この認定は教授会の意見を聴き、学長が行う。

3 再入学の場合に必要な手続は別に定める。

(編入学及び転入学)

第29条 次の各号の一に該当する者で、本学に編入学を志願する者があるときは、編入学定員を定める学科等のほかは、欠員のある場合に限り、選考のうえ、教授会の意見を聴き、学長が相当年次に入学を許可することができる。

一 大学を卒業した者又は退学した者

二 短期大学、高等専門学校、国立工業教員養成所又は国立養護教諭養成所を卒業した者、及び専修学校の専門課程のうち、文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者（ただし、学校教育法第90条に規定する大学入学資格を有する者に限る）

三 学校教育法施行規則附則第7条に定める従前の規定による高等学校、専門学校又は教員養成諸学校等の課程を修了した者又は卒業した者

2 前項の規定により入学を許可された者の既に修得した授業科目及び単位数の取扱い並びに在学すべき年数については、教授会の意見を聴き、学長が決定する。

3 編入学、転入学の場合に必要な手続は別に定める。

(保証人)

第30条 入学を許可された者は、保証人を定め本学の指定する期間内に届出なければならない。

(保証人の責任)

第31条 保証人は学生の在籍中の次に定める事項について責任を持つものとする。

一 授業料及び教育充実費（以下「学費」という。）の未納分

二 在籍料の未納分

三 学内施設・備品などに損害を与えた場合の修復費用

四 学生の故意又は過失行為によって第三者に損害を与え、その賠償責任を大学が負うことになった場合の損害賠償額

2 前項の保証極度額は、第40条第2項に規定する学費合計とする。

3 保証人は父母若しくは成年の親族又はそれに代わる者とし、いずれも独立の生計を営む者とする。

(保証人の変更及び転居)

第32条 保証人を変更したとき又は保証人が転居したときは直ちに届出なければならない。

(退学)

第33条 退学をしようとする者は、学長の許可を受けなければならない。

(転学)

第34条 他の大学への入学又は転入学を志願しようとする者は、学長の許可を受けなければならない。

(転学部・転学科)

第34条の2 本学の他の学部転学部または同一学部の他の学科に転学科を希望する者があるときは、選考のうえ許可することがある。

2 転学部、転学科の場合に必要な手続は別に定める。

(休学)

第35条 疾病その他やむを得ない事由により3か月以上修学することのできない者は、学長の許可を得て休学することができる。

2 疾病のため修学することが適当でない認められる者については、学長は休学を命ずることができる。

(休学期間)

第36条 休学の期間は1年を超えることができない。ただし、特別の事由がある場合は、引き続き延長することができる。

2 休学の期間は、通算して4年を超えることができない。

3 休学の期間は、第4条第2項の在学年限に算入しない。

(復学)

第37条 休学期間満了の場合又は休学の期間中にその事由が消滅した場合は、学長の許可を得て復学することができる。

(除籍)

第38条 次の各号の一に該当する者は、教授会の意見を聴き、大学教育研究評議会で審議し、学長が除籍する。

一 学費その他の学納金の納付を怠り、督促してもなお納付しない者

二 第4条第2項に定める在学年限を超えた者

三 第36条第2項に定める休学の期間を超えてなお修学できない者

四 死亡または長期間にわたり行方不明の者

五 学力劣等で成業の見込みがないと認められる者

2 前項第五号に関し必要な事項は、学部ごとに定める。

(復籍)

第38条の2 前条第一号により除籍になった者が除籍通知後1年以内に未納の学費その他の納付金を納付し、復籍の願い出があった場合には、大学教育研究評議会で審議し、学長が復籍を許可することがある。

2 前項の場合、除籍前に修得した授業科目及び単位数の全部又は一部を既に修得したものとして

認めることがある。この認定は教授会の意見を聴き，学長が行う。

## 第9章 授業料, 入学金その他の費用

(入学金の納付)

第39条 本学に入学する者は，入学金を納付しなければならない。

- 2 入学金の額は，270,000円とする。
- 3 納付した入学金は，返付しない。

(学費の納付)

第40条 学費は，前学期・後学期の2期に分けて納付しなければならない。ただし，長期履修学生の学費については別に定める。

- 2 学費の年額は下表のとおりとする。

令和2年度以降入学生

(単位：円)

項目 学部	授業料	教育充実費	学費 合計
人文科学部	920,000	—	920,000
教育学部 経営学部	950,000	—	950,000
薬学部	1,530,000	450,000	1,980,000

令和元年度以前入学生

(単位：円)

項目 学部	授業料	教育充実費	学費 合計
人文科学部 教育学部 経営学部	915,000	—	915,000
薬学部	1,500,000	455,000	1,955,000

- 3 本学において特別の事情があると認められた者は，前項の規定にかかわらず，月割分納又は延納を認めることがある。

(授業料, 入学金その他の費用の減免)

第40条の2 本学において特に必要があると認めた者は，授業料，入学金その他の費用を減免することができる。

- 2 授業料，入学金その他の費用の減免に関する規程は別に定める。

(退学・転学及び停学の場合の学費)

第41条 退学又は転学した者，退学を命ぜられた者及び停学中の者は当該学期の学費全額を納付しなければならない。

(休学の場合の学費免除)

第42条 休学した者については次の算式により算出した学費を免除する。

$$\text{免除額} = \text{授業料年額} \times \frac{\text{休学日の当月から復学日の前月までの月数}}{12} + \text{教育充実費} \times \frac{\text{休学日の当月から復学日の前月までの月数}}{12}$$

- 2 端数が生じた場合には，10の位以下の数字は切り上げ，100円単位とする。この端数処理は，授業料又は教育充実費それぞれの減免額算定の最後に一度だけ行うものとし，計算途中において複数回にわたり行うことはしない。

(在籍料)

第42条の2 休学した者については、休学期間中、次の算式により算出した在籍料を納付しなければならない。

在籍料の算式

在籍料 × 休学日の当月から復学日の前月までの月数

2 在籍料は、1か月 20,000円とする。

(その他の費用の納付)

第43条 入学金、学費のほか、実験実習料を徴収することがある。

2 前項に規定する納付金の金額、納付に必要な手続等については別に定める。

(納付した授業料等)

第44条 削除

## 第10章 職員組織

(職員組織)

第45条 本学に、学長、教授、准教授、講師、助教、助手、事務職員、技能職員その他必要な職員を置く。

(職員の職務)

第46条 職員の職務は学校教育法及び就実学園就業規則の定めるところによる。

## 第11章 大学教育研究評議会、教授会

(大学教育研究評議会)

第47条 本学に、教育研究に関する重要な事項を審議するため大学教育研究評議会（以下「評議会」という。）を置く。

(評議会の構成)

第47条の2 評議会は、学長、副学長、研究科長、学部長及び事務部長をもって構成する。

2 前項の規定にかかわらず、学長が必要と認めたときは、評議会を構成する者以外の者の出席を求めることができる。

(評議会の役割・権限)

第47条の3 評議会は学長の諮問機関とし、教育研究に関する重要な事項で学長が必要と認めたものを審議する。

2 評議会に関する規程は、学長が別に定める。

(各種委員会の設置)

第47条の4 評議会のもとに、各種委員会を置く。

2 各種委員会に関する規程は別に定める。

(教授会)

第48条 本学に教授会を置く。

(教授会の構成)

第49条 教授会は学部長及び教授をもって構成する。ただし、教授会が必要と認めたときは、准教授、講師及び助教を加えることができる。

2 前項の規定にかかわらず、学部長が必要と認めたときは、教授会にその他の職員の出席を求めることができる。

(教授会の役割・権限)

第50条 教授会は、学長の諮問機関とし、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。

- 一 学生の入学、卒業
- 二 学位の授与

- 三 前二号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして、学長が定めるもの
- 2 教授会は、前項に規定するもののほか、学長及び学部長がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び学長の求めに応じ、意見を述べることができる。
- 3 教授会に関する規程は、学長が別に定める。

## 第12章 科目等履修生、委託生、単位互換履修生、研究生、聴講生、外国人留学生及び帰国子女

### (科目等履修生)

第51条 本学において開設する授業科目の一部を履修しようとする者があるときは、教授会において相当の資格があると認めた者につき、当該授業科目の授業に支障がない場合に限り、学長が許可することができる。

- 2 科目等履修生に関し必要な手続きについては別に定める。

### (委託生)

第52条 他の大学又は公共機関から委託生として推薦された者が、学修を願い出るときは、教授会に

において相当の資格があると認めた者につき、本学の教育に支障のない場合に限り、学長が許可することができる。

- 2 委託生には学則を準用する。ただし、学則第21条は適用しない。
- 3 委託生の授業料その他の納付金については、科目等履修生に準ずる。

### (単位互換履修生)

第53条 協定を結んでいる他の大学、短期大学又は高等専門学校に在学している学生が、本学の開講科目を履修しようとするときは、教授会において相当の資格があると認めた者につき、当該科目の授業に支障がない場合に限り、学長が許可することができる。

- 2 単位互換履修生に関し必要な手続きについては別に定める。

### (研究生)

第54条 本学において特定の事項について研究しようとする者があるときは、教授会において相当の資格があると認めた者につき、本学の教育に支障がない場合に限り、学長が許可することができる。

- 2 研究生に関し必要な手続きについては別に定める。

### (聴講生)

第55条 本学において開設する授業科目の一部を聴講しようとする者があるときは、教授会において相当の資格があると認めた者につき、当該授業科目の授業に支障がない場合に限り、学長が許可することができる。

- 2 聴講生に関し必要な手続きについては別に定める。

### (外国人留学生)

第56条 外国人で大学において教育を受ける目的をもって入国し、本学に入学を志願する者があるときは、選考のうえ、教授会の意見を聴き、外国人留学生として学長が許可することができる。

- 2 外国人留学生に関する規程は別に定める。

### (帰国子女)

第57条 外国人留学生以外の学生で、外国において相当の期間中等教育（中学校又は高等学校に対応する学校における教育をいう。）を受けた者が本学に入学を志願するときは、選考のうえ、教授会の意見を聴き、帰国子女として学長が許可することができる。

- 2 帰国子女に関する規程は別に定める。



## 第13章 賞 罰

(表彰)

第58条 学生として表彰に値する行為があった者は、教授会の意見を聴き、学長が表彰することができる。

2 表彰に関する規程は別に定める。

(懲戒)

第59条 本学の学則に違反し又は学生としての本分に反する行為をした者は、教授会の意見を聴き、評議会で審議し、学長が懲戒する。

2 前項の懲戒の種類は、訓告、停学及び退学とする。

3 前項の退学は、次の各号の一に該当する者に対して行う。

一 性行不良で改善の見込みがない者

二 正当な理由がなくて出席が常でない者

三 本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者

4 懲戒に関する規程は別に定める。

## 第14章 公開講座

(公開講座)

第60条 社会人の教養を高め、文化の向上に資するため、本学に公開講座を開設することができる。

## 第15章 附属施設

(図書館)

第61条 本学に図書館を置く。

2 図書館に関し必要な事項は別に定める。

(研究所)

第62条 本学に吉備地方文化研究所を置く。

2 吉備地方文化研究所に関し必要な事項は別に定める。

(臨床薬学教育研究センター)

第63条 本学に臨床薬学教育研究センターを置く。

2 臨床薬学教育研究センターに関し必要な事項は別に定める。

(就実教育実践研究センター)

第64条 本学に就実教育実践研究センターを置く。

2 就実教育実践研究センターに関し必要な事項は別に定める。

(就実心理臨床センター)

第65条 本学に就実心理臨床センターを置く。

2 就実心理臨床センターに関し必要な事項は別に定める。

(産学官地域連携センター)

第65条の2 本学に産学官地域連携センターを置く。

2 産学官地域連携センターに関し必要な事項は別に定める。

(教育開発センター)

第65条の3 本学に教育開発センターを置く。

2 教育開発センターに関し必要な事項は別に定める。

(就実大学薬学部附属薬局)

第66条 本学に就実大学薬学部附属薬局を置く。

2 就実大学薬学部附属薬局に関し必要な事項は別に定める。

附 則

この学則は、昭和54年4月1日から施行する。

附 則

この改正学則は、昭和55年4月1日から施行する。

附 則

この改正学則は、昭和56年4月1日から施行する。

附 則

この改正学則は、昭和57年4月1日から施行する。

附 則

この改正学則は、昭和58年4月1日から施行する。

附 則

この改正学則は、昭和59年4月1日から施行する。

附 則

1 この改正学則は、昭和60年4月1日から施行する。

2 昭和60年度から昭和62年度において文学部史学科の総定員は、第2条の規定にかかわらず、次のとおりとする。

昭和60年度 100人

昭和61年度 200人

昭和62年度 300人

附 則

この改正学則は、昭和61年4月1日から施行する。

附 則

この改正学則は、昭和62年4月1日から施行する。

附 則

この改正学則は、昭和63年4月1日から施行する。

附 則

1 この改正学則は、平成元年4月1日から施行する。

2 平成元年度から平成3年度において文学部日本文学科及び英米文学科の総定員は、第2条の規定にかかわらず、次のとおりとする。

平成元年度 日本文学科 250名

英米文学科 250名

平成2年度 日本文学科 300名

英米文学科 300名

平成3年度 日本文学科 350名

英米文学科 350名

附 則

この改正学則は、平成元年6月1日から施行し、平成2年度本学に入学する者から適用する。

附 則

この改正学則は、平成2年4月1日から施行する。

附 則

1 この改正学則は、平成3年4月1日から施行する。

2 平成3年度から平成11年度において入学定員は、第2条の規定にかかわらず、次のとおりとする。

日本文学科 130名  
英米文学科 130名  
史 学 科 130名

- 3 第17条及び別表(1)は、昭和63年度入学生から適用する。
- 4 第18条の規定は、平成2年度入学生から適用する。
- 5 平成2年度以前の入学生にかかる授業料の額は、第38条の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 6 第41条の規定による校費及びその他の費用の納付は、平成2年度以前の入学生についても適用する。

附 則

この改正学則は、平成3年10月1日から施行する。

附 則

この改正学則は、平成4年4月1日から施行する。

附 則

この改正学則は、平成5年4月1日から施行し、平成5年度入学生から適用する。

附 則

この改正学則は、平成6年4月1日から施行し、平成6年度入学生から適用する。

附 則

この改正学則は、平成7年4月1日から施行し、平成7年度入学生から適用する。

附 則

この改正学則は、平成8年4月1日から施行し、平成8年度入学生から適用する。ただし、第6条並びに第7条の規定は、平成7年度以前の入学生についても適用する。

附 則

この改正学則は、平成9年4月1日から施行し、平成9年度入学生から適用する。ただし、第6条、第7条及び第8条の規定、第9条の別表(4)の「博物館概論」「博物館学各論」、第10条の別表(6)及び別表(8)の授業科目については、平成8年度以前の入学生についても適用する。

附 則

この改正学則は、平成10年4月1日から施行し、平成10年度入学生から適用する。ただし、第10条の別表(7)の授業科目は、平成9年度以前の入学生についても適用する。

附 則

この改正学則は、平成11年4月1日から施行し、平成11年度入学生から適用する。ただし、第11条の別表(8)の授業科目は、平成10年度以前の入学生についても適用する。

附 則

- 1 この改正学則は、平成12年4月1日から施行する。
- 2 平成12年度から平成14年度において収容定員は、第3条の規定にかかわらず、次のとおりとする。

平成12年度	日本文学科	505名
	英米文学科	505名
	史 学 科	505名
平成13年度	日本文学科	490名
	英米文学科	490名
	史 学 科	490名
平成14年度	日本文学科	475名
	英米文学科	475名
	史 学 科	475名

附 則

この改正学則は、平成13年4月1日から施行し、平成13年度入学生から適用する。ただし、第34条の2の規定は、平成12年度以前の入学生についても適用する。

附 則

この改正学則は、平成14年4月1日から施行し、平成14年度入学生から適用する。

附 則

- 1 この改正学則は、平成15年4月1日から施行し、平成15年度入学生から適用する。
- 2 本学文学部日本文学科、英米文学科及び史学科は、改正後の学則第3条の規定にかかわらず平成15年3月31日に当該学部等に在学する者が当該学部等に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。
- 3 平成15年度から平成17年度において収容定員は、改正後の学則第3条の規定にかかわらず、次のとおりとする。

平成15年度	表現文化学科（日本文学科）	420名	生物薬学科	75名
	実践英語学科（英米文学科）	420名	医療薬学科	75名
	総合歴史学科（史学科）	420名		
平成16年度	表現文化学科（日本文学科）	380名	生物薬学科	150名
	実践英語学科（英米文学科）	380名	医療薬学科	150名
	総合歴史学科（史学科）	380名		
平成17年度	表現文化学科（日本文学科）	340名	生物薬学科	225名
	実践英語学科（英米文学科）	340名	医療薬学科	225名
	総合歴史学科（史学科）	340名		

附 則

この改正学則は、平成16年4月1日から施行し、平成16年度入学生から適用する。

附 則

この改正学則は、平成17年4月1日から施行し、平成17年度入学生から適用する。ただし、第4条の2及び第40条第1項ただし書きの規定は、平成16年度以前の入学生についても適用する。

附 則

- 1 この改正学則は、平成18年4月1日から施行し、平成18年度入学生から適用する。
- 2 本学薬学部生物薬学科、医療薬学科は、改正後の学則第3条の規定にかかわらず、平成21年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。
- 3 平成18年度から平成23年度において薬学部の収容定員は、改正後の学則第3条の規定にかかわらず、次のとおりとする。

平成18年度	薬学部薬学科	150名	生物薬学科	225名
			医療薬学科	225名
平成19年度	薬学部薬学科	300名	生物薬学科	150名
			医療薬学科	150名
平成20年度	薬学部薬学科	450名	生物薬学科	75名
			医療薬学科	75名
平成21年度	薬学部薬学科	600名		
平成22年度	薬学部薬学科	750名		
平成23年度	薬学部薬学科	900名		

附 則

- 1 この改正学則は、平成19年4月1日から施行し、平成19年度入学生から適用する。ただし、第

条の2の規定は平成18年度以前の入学生についても適用する。

- 2 平成19年度から平成22年度において、人文科学部初等教育学科の収容定員は改正後の学則第3条の規定にかかわらず、次のとおりとする。

平成19年度	初等教育学科	75名
平成20年度	初等教育学科	150名
平成21年度	初等教育学科	230名
平成22年度	初等教育学科	310名

附 則

この改正学則は、平成20年4月1日から施行し、平成20年度入学生から適用する。

附 則

この改正学則は、平成21年4月1日から施行し、平成21年度入学生から適用する。ただし、第38条の2の規定は、平成21年度以前の入学生についても適用する。

附 則

- この改正学則は、平成22年4月1日から施行し、平成22年度入学生から適用する。
- 第4条第2項、第10条の2、第36条、第37条については、平成21年度以前の入学生についても適用する。
- 第10条の別表(10)の「香粧品科学」「病態と薬物治療」「チーム医療」「医薬品等評価学」「漢方薬学」「薬学海外研修」については、平成21年度以前の入学生についても適用する。  
また、「食薬相互作用学」の削除についても、平成21年度以前の入学生について適用する。
- 第10条の別表(11)の「教科教育研究(国語)IV」「教科教育研究(英語)IV」「教科教育研究(社会・地理歴史)IV」については、平成20年度、平成21年度の入学生についても適用する。

附 則

- この改正学則は、平成23年4月1日から施行し、平成23年度入学生から適用する。
- 本学人文科学部初等教育学科は、改正後の学則第3条の規定にかかわらず、平成25年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。
- 平成23年度から平成28年度において人文科学部初等教育学科、教育学部、薬学部の収容定員は、改正後の学則第3条の規定にかかわらず、次のとおりとする。

平成23年度	人文科学部初等教育学科	235名
	教育学部初等教育学科	75名
	教育心理学科	60名
平成24年度	薬学部 薬学科	870名
	人文科学部初等教育学科	160名
	教育学部初等教育学科	150名
平成25年度	教育心理学科	120名
	薬学部 薬学科	840名
	人文科学部初等教育学科	80名
平成26年度	教育学部初等教育学科	230名
	教育心理学科	185名
	薬学部 薬学科	810名
平成27年度	教育学部初等教育学科	310名
	教育心理学科	250名
	薬学部 薬学科	780名
平成28年度	薬学部 薬学科	750名
平成28年度	薬学部 薬学科	720名

附 則

- 1 この改正学則は、平成24年4月1日から施行し、平成24年度入学生から適用する。
- 2 第10条の別表(5)の「漢字検定1」「漢字検定2」の単位変更、別表(7)の「障害児心理学各論」「特別支援教育各論」の科目名・単位変更、第11条の別表(11)の「特別支援教育各論」「障害児心理学各論」の科目追加、別表(12)の「古文書学の基礎」「考古学の基礎」の科目名称変更については、平成23年度入学生から適用する。

附 則

この改正学則は、平成25年4月1日から施行し、平成25年度入学生から適用する。

附 則

- 1 この改正学則は、平成26年4月1日から施行し、平成26年度入学生から適用する。
- 2 平成26年度から平成29年度において、経営学部経営学科の収容定員は改正後の学則第3条の規定にかかわらず、次のとおりとする。

平成26年度	経営学部経営学科	80名
平成27年度	経営学部経営学科	160名
平成28年度	経営学部経営学科	240名
平成29年度	経営学部経営学科	320名

附 則

この改正学則は、平成27年4月1日から施行し、平成27年度入学生から適用する。

附 則

この改正学則は、平成28年4月1日から施行し、平成28年度入学生から適用する。

附 則

この改正学則は、平成29年4月1日から施行し、平成29年度入学生から適用する。

附 則

この改正学則は、平成30年4月1日から施行し、平成30年度入学生から適用する。

附 則

この改正学則は、平成31年4月1日から施行し、平成31年度入学生から適用する。

附 則

経営学部経営学科専門教育科目「観光人類学」は、平成30年度生のみ適用する。

附 則

- 1 この改正学則は、令和2年4月1日から施行し、令和2年度入学生から適用する。ただし、第20条第6項の規定のうち「生涯学習支援論Ⅰ」「生涯学習支援論Ⅱ」「社会教育経営論Ⅰ」「社会教育

経営論Ⅱ」については施行日以前の在学生についても適用する。

- 2 令和2年度から令和6年度において、入学定員及び収容定員は、改正後の学則第3条の規定にかかわらず、次のとおりとする。

学部	学科	令和2年度		令和3年度		令和4年度	
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
人文科学部	表現文化学科	80名	305名	80名	310名	80名	315名
	実践英語学科	75名	300名	75名	300名	75名	300名
	総合歴史学科	80名	305名	80名	310名	80名	315名
教育学部	初等教育学科	75名 3年次編入5名	310名	75名 3年次編入5名	310名	75名 3年次編入5名	310名

	教育心理学科	62名	247名	62名	244名	62名	246名
薬学部	薬学科	100名	700名	100名	680名	100名	660名
経営学部	経営学科	100名	340名	100名	360名	100名	380名

		令和5年度		令和6年度	
学部	学科	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
人文科学部	表現文化学科	80名	320名	80名	320名
	実践英語学科	75名	300名	75名	300名
	総合歴史学科	80名	320名	80名	320名
教育学部	初等教育学科	75名 3年次編入5名	310名	75名 3年次編入5名	310名
	教育心理学科	62名	248名	62名	248名
薬学部	薬学科	100名	640名	100名	620名
経営学部	経営学科	100名	400名	100名	400名

#### 附 則

この改正学則は、令和4年4月1日から施行し、令和4年度入学生から適用する。ただし、別表(5)の「情報処理Ⅲ」の削除は、令和3年度入学生についても適用する。

#### 附 則

- この改正学則は、令和5年4月1日から施行し、令和5年度入学生から適用する。
- 令和5年度から令和7年度において、入学定員及び収容定員は、改正後の学則第3条の規定にかかわらず、次のとおりとする。

		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
学部	学科	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
経営学部	経営学科	160名	460名	160名	520名	160名	580名

<別 表>

別表（１） 総合教養教育科目・外国語教育科目（人文科学部表現文化学科・実践英語学科・総合歴史学科共通）

授業科目の区分	授 業 科 目	単位数		授業形態	履修学年	備 考
		必修	選択			
総合教養教育科目	スタートアップ就実		2	講義	1	
	数理・データサイエンス基礎	1		講義	1	
	情報リテラシー	1		講義	1	
	現代都市の魅力診断		2	講義	1	
	自然地理学		2	講義	1	
	人類学の世界と歴史		2	講義	1	
	アジアの民族誌		2	講義	1	
	心理学1		2	講義	1	
	心理学2		2	講義	1	
	現代の哲学と思想		2	講義	1	
	現代の倫理		2	講義	1	
	日本文化論1		2	講義	1	
	日本文化論2		2	講義	1	
	女性の生活と歴史		2	講義	1	
	現代の女性環境		2	講義	1	
	漢詩文の表現と心		2	講義	1	
	漢詩文の表現と思想		2	講義	1	
	ポピュラー音楽の歴史		2	講義	1	
	世界の文学		2	講義	1	
	20世紀史		2	講義	1	
	ことばの科学		2	講義	1	
	キャリアデザイン論		2	講義	1	
	人権の現代的課題		2	講義	1	
	法学		2	講義	1	
	日本国憲法		2	講義	1	
	社会学の世界と歴史		2	講義	1	
	社会学概論		2	講義	1	
	基礎経営論		2	講義	1	
	基礎経済学		2	講義	1	
	経済学概論		2	講義	1	
	労働と社会		2	講義	1	
	政治学概論		2	講義	1	
	現代教育の諸問題		2	講義	1	
	健康と衛生		2	講義	1	
	健康と栄養		2	講義	1	
	環境と地球		2	講義	1	
	環境と生命		2	講義	1	
	化学の世界と歴史		2	講義	1	
	現代生活と化学		2	講義	1	
	からだの構造と機能		2	講義	1	
	からだの化学と生物学		2	講義	1	
	生命機能のプログラム		2	講義	1	
	地球と宇宙のサイエンス		2	講義	1	
	日本伝統の折紙の科学		2	講義	1	
身体運動と健康の科学		2	講義	1		
健康・スポーツと社会		2	講義	1		
スポーツ1		1	演習	1		
スポーツ2		1	演習	1		
スポーツ3		1	演習	1		
スポーツ4		1	演習	1		
こころの健康科学		2	講義	1		



現代人とこころの障害		2	講義	1
プログラミング入門		1	講義	1
情報と表現		2	講義	1
情報と文化		2	講義	1
情報と社会		2	講義	1
情報処理演習 1		2	講義	1
情報処理演習 2		2	講義	1
アジアの世界と文化		2	講義	1
欧米の世界と文化		2	講義	1
コラボレーション学修 1		2	講義	1
コラボレーション学修 2		2	講義	1
茶道 1		1	演習	1
茶道 2		1	演習	1
書道 1		1	演習	1
書道 2		1	演習	1
インターンシップ 1		1	実習	2
インターンシップ 2		1	実習	2
漢字検定 1		1	演習	1
漢字検定 2		1	演習	1
異文化コミュニケーション 1		2	講義	1
異文化コミュニケーション 2		2	講義	1
異文化コミュニケーション 3		2	講義	1
異文化コミュニケーション 4		2	講義	1
日本事情 1		2	講義	1
日本事情 2		2	講義	1
日本事情 3		2	講義	1
日本事情 4		2	講義	1
学校制度論		2	講義	3
教育学概論		2	講義	1
教育心理学(教育・学校心理学)		2	講義	2
教職論		2	講義	1
図書館概論		2	講義	1
生涯学習概論 I		2	講義	1
博物館概論		2	講義	1
計	2	153		

} 外国人留学生・  
帰国子女適用

外国語教育科目	English Reading I	1		演習	1	実践英語学科
	English Reading II	1		演習	1	
	English Reading III	1		演習	2	
	English Reading IV	1		演習	2	
	Oral Communication I	1		演習	1	
	Oral Communication II	1		演習	1	
	Oral Communication III	1		演習	2	
	Oral Communication IV	1		演習	2	
	General English 1	1		演習	1	表現文化学科 総合歴史学科
	General English 2	1		演習	1	
	General English 3	1		演習	2	
	General English 4	1		演習	2	
	検定外国語 1		2	演習	1	
	検定外国語 2		2	演習	1	
	検定外国語 3		2	演習	1	
	検定外国語 4		2	演習	1	
	ドイツ語文法入門 1		1	演習	1	
	ドイツ語文法入門 2		1	演習	1	
	ドイツ語講読入門 1		1	演習	1	
	ドイツ語講読入門 2		1	演習	1	
	ドイツ語中級 1		1	演習	2	
	ドイツ語中級 2		1	演習	2	
	ドイツ語中級 3		1	演習	2	
	ドイツ語中級 4		1	演習	2	
	フランス語文法入門 1		1	演習	1	
	フランス語文法入門 2		1	演習	1	
	フランス語講読入門 1		1	演習	1	
	フランス語講読入門 2		1	演習	1	
	フランス語中級 1		1	演習	2	
	フランス語中級 2		1	演習	2	
	フランス語中級 3		1	演習	2	
	フランス語中級 4		1	演習	2	
	中国語文法入門 1		1	演習	1	
	中国語文法入門 2		1	演習	1	
	中国語講読入門 1		1	演習	1	
	中国語講読入門 2		1	演習	1	
	中国語中級 1		1	演習	2	
	中国語中級 2		1	演習	2	
	中国語中級 3		1	演習	2	
	中国語中級 4		1	演習	2	
	ハンブルク文法入門 1		1	演習	1	
	ハンブルク文法入門 2		1	演習	1	
	ハンブルク講読入門 1		1	演習	1	
	ハンブルク講読入門 2		1	演習	1	
ハンブルク中級 1		1	演習	2		
ハンブルク中級 2		1	演習	2		
ハンブルク中級 3		1	演習	2		
ハンブルク中級 4		1	演習	2		
日本語 1		1	演習	1	外国人留学生・ 帰国子女適用	
日本語 2		1	演習	1		
日本語 3		1	演習	1		
日本語 4		1	演習	1		
	計	12	44			
	合計	14	197			

別表（２） 専門教育科目（人文科学部表現文化学科）

授業科目の区分	授 業 科 目	単位数		授業形態	履修学年	備 考
		必修	選択			
専門教育科目	卒業研究	8		演習	4	8 単位以上選択必修
	文章表現	2		講義	1	
	口頭表現	2		講義	1	
	基礎ゼミナール	2		講義	1	
	表現文化学入門	2		講義	1	
	日本文学入門 1		2	講義	1	
	日本文学入門 2		2	講義	1	
	日本語表現入門 1		2	講義	1	
	日本語表現入門 2		2	講義	1	
	表現創造入門 1		2	講義	1	
	表現創造入門 2		2	講義	1	
	作品講読 1		2	講義	1	
	作品講読 2		2	講義	1	
	作品講読 3		2	講義	1	
	作品講読 4		2	講義	1	
	表現創造基礎 1		2	講義	1	
	表現創造基礎 2		2	講義	1	
	表現創造基礎 3		2	講義	1	
	表現創造基礎 4		2	講義	1	
	実地調査 1		1	講義	1	
	実地調査 2		1	講義	1	
	実地調査 3		1	講義	1	
	実地調査 4		1	講義	1	
	古典文学史		2	講義	2	6 単位以上選択必修
	近現代文学史		2	講義	2	
	日本語史		2	講義	2	
	言語表現史		2	講義	2	
	身体表現史		2	講義	2	
	古典文学研究 1		2	講義	2	
	古典文学研究 2		2	講義	2	
	古典文学研究 3		2	講義	2	
	近現代文学研究 1		2	講義	2	8 単位以上選択必修
	近現代文学研究 2		2	講義	2	
	近現代文学研究 3		2	講義	2	
	日本語研究 1		2	講義	2	
	日本語研究 2		2	講義	2	
	表現創造研究 1		2	講義	2	
	表現創造研究 2		2	講義	2	
	表現創造研究 3		2	講義	2	
	表現創造基礎 5		2	講義	2	
	表現創造基礎 6		2	講義	2	
	古典文学講義 1		2	講義	3	8 単位以上選択必修
古典文学講義 2		2	講義	3		
古典文学講義 3		2	講義	3		
近現代文学講義 1		2	講義	3		
近現代文学講義 2		2	講義	3		
近現代文学講義 3		2	講義	3		
日本語講義 1		2	講義	3		
日本語講義 2		2	講義	3		
表現創造講義 1		2	講義	3		

表現創造講義 2		2	講義	3
表現創造講義 3		2	講義	3
表現創造講義 4		2	講義	3
作品読解ゼミナール 1		2	講義	2
作品読解ゼミナール 2		2	講義	2
作品読解ゼミナール 3		2	講義	3
作品読解ゼミナール 4		2	講義	3
アドバンストゼミナール I		2	演習	3
アドバンストゼミナール II		2	演習	3
表現文化ゼミナール I	2		演習	2
表現文化ゼミナール II	2		演習	2
表現文化ゼミナール III	2		演習	3
表現文化ゼミナール IV	2		演習	3
表現文化ゼミナール V	2		演習	4
	2		演習	4
合 計	28	104		

別表（3） 専門教育科目（人文科学部実践英語学科）

授業科目の区分	授 業 科 目	単位数		授業形態	履修学年	備 考
		必修	選択			
専門教育科目	卒業研究	8		演習	4	
	基礎ゼミナールⅠ	2		演習	1	
	基礎ゼミナールⅡ	2		演習	1	
	英文法Ⅰ	2		講義	1	
	英文法Ⅱ	2		講義	1	
	インターネット英語Ⅰ	2		講義	1	
	インターネット英語Ⅱ	2		講義	1	
	Extensive ReadingⅠ	2		講義	2	
	Extensive ReadingⅡ	2		講義	2	
	英語の発音	2		講義	1	
	英語表現演習Ⅰ	4		演習	1	
	英語表現演習Ⅱ	4		演習	1	
	英語表現演習Ⅲ	4		演習	2	
	英語表現演習Ⅳ	4		演習	2	
	イギリス文化研究入門	2		講義	1	
	アメリカ文化研究入門	2		講義	1	
	通訳演習入門		2	演習	1	
	翻訳演習入門		2	演習	1	
	英語学研究入門		2	講義	1	
	ライティング演習Ⅰ	2		演習	1	
	ライティング演習Ⅱ	2		演習	1	
	ライティング演習Ⅲ	2		演習	2	
	ライティング演習Ⅳ	2		演習	2	
	検定英語Ⅰ	2		講義	2	
	検定英語Ⅱ	2		講義	2	
	検定英語Ⅲ		2	講義	3	
	検定英語Ⅳ		2	講義	3	
	児童英語教育法		2	講義	2	
	児童英語		2	講義	2	
	英語学研究1		2	講義	2	
	英語学研究2		2	講義	2	
	言語文化講読1		2	演習	1	
	言語文化講読2		2	演習	1	
	言語文化講読3		2	演習	1	
	言語文化講読4		2	演習	1	
	英文講読Ⅰ	2		講義	3	
	英文講読Ⅱ	2		講義	3	
	英文講読Ⅲ	2		講義	4	
	英文講読Ⅳ	2		講義	4	
	英語コミュニケーション1		2	講義	3	英語コミュニケーション コースは8単位以上 選択必修
	英語コミュニケーション2		2	講義	3	
	英語コミュニケーション3		2	講義	4	
	英語コミュニケーション4		2	講義	4	
	英語コミュニケーション5		2	講義	3	
	英語コミュニケーション6		2	講義	3	
	英語コミュニケーション7		2	講義	3	
	英語コミュニケーション8		2	講義	3	
	異文化理解と交流1		2	講義	3	英米文化コースは 8単位以上選択必修
	異文化理解と交流2		2	講義	3	
	イギリス文化研究1		2	講義	3	
	イギリス文化研究2		2	講義	3	

イギリス文化研究 3		2	講義	3	実践英語学科として 文化研究から2単位 以上選択必修
アメリカ文化研究 1		2	講義	3	
アメリカ文化研究 2		2	講義	3	
アメリカ文化研究 3		2	講義	3	
通訳演習 1		2	演習	3	通訳・翻訳コースは 8単位以上選択必修
通訳演習 2		2	演習	3	
通訳演習 3		2	演習	3	
通訳演習 4		2	演習	3	
翻訳演習 1		2	演習	3	
翻訳演習 2		2	演習	3	
翻訳演習 3		2	演習	3	
翻訳演習 4		2	演習	3	
英語ゼミナールⅠ	2		演習	3	
英語ゼミナールⅡ	2		演習	3	
英語ゼミナールⅢ	2		演習	4	
英語ゼミナールⅣ	2		演習	4	
合 計		74	74		

別表（４） 専門教育科目（人文科学部総合歴史学科）

授業科目の区分	授 業 科 目	単位数		授業 形態	履修 学年	備 考	
		必修	選択				
専門教育科目	卒業研究	8		演習	4	10単位以上選択必修	
	総合歴史基礎ゼミナール	2		講義	1		
	日本史入門 1		2	講義	1		
	日本史入門 2		2	講義	1		
	ヨーロッパ・アメリカ史入門 1		2	講義	1		
	ヨーロッパ・アメリカ史入門 2		2	講義	1		
	アジア史入門 1		2	講義	1		
	アジア史入門 2		2	講義	1		
	歴史遺産入門 1		2	講義	1		
	歴史遺産入門 2		2	講義	1		
	日本史講読 1		2	演習	1		8単位以上選択必修
	日本史講読 2		2	演習	1		
	日本史講読 3		2	演習	1		
	日本史講読 4		2	演習	1		
	日本史講読 5		2	演習	1		
	日本史講読 6		2	演習	1		
	ヨーロッパ・アメリカ史講読 1		2	演習	1		
	ヨーロッパ・アメリカ史講読 2		2	演習	1		
	ヨーロッパ・アメリカ史講読 3		2	演習	1		
	ヨーロッパ・アメリカ史講読 4		2	演習	1		
	アジア史講読 1		2	演習	1		
	アジア史講読 2		2	演習	1		
	アジア史講読 3		2	演習	1		
	アジア史講読 4		2	演習	1		
	歴史遺産史料講読 1		2	演習	1		
	歴史遺産史料講読 2		2	演習	1		
	歴史遺産史料講読 3		2	演習	1		
	歴史遺産史料講読 4		2	演習	1		
	地理学概論		2	講義	2	2単位以上選択必修	
	地誌		2	講義	2		
	哲学の世界と歴史		2	講義	1		
	日本人の思想		2	講義	1		
	ヨーロッパ人の思想		2	講義	1		

アジア人の思想		2	講義	1	10単位以上選択必修	
日本美術史		2	講義	1		
西洋美術史		2	講義	1		
東洋美術史		2	講義	1		
死生観の歴史		2	講義	1		
倫理と価値観の諸相		2	講義	1		
歴史人物の生と時代 1		2	講義	1		
歴史人物の生と時代 2		2	講義	1		
地域史特殊研究 1		2	講義	1		
地域史特殊研究 2		2	講義	1		
吉備地方文化特論 1		2	講義	1		
吉備地方文化特論 2		2	講義	1		
吉備地方文化特論 3		2	講義	1		
吉備地方文化特論 4		2	講義	1		
考古学の基礎		2	講義	1		
考古学の現在		2	講義	1		
古文書学の基礎		2	講義	1		
古文書解説		2	講義	1		
総合歴史演習 1		2	演習	2		
総合歴史演習 2		2	演習	2		
総合歴史演習 3		2	演習	2		
総合歴史演習 4		2	演習	2		
日本史研究 1		2	演習	2	8単位以上選択必修	
日本史研究 2		2	演習	2		
日本史研究 3		2	演習	2		
日本史研究 4		2	演習	2		
日本史研究 5		2	演習	2		
日本史研究 6		2	演習	2		
ヨーロッパ・アメリカ史研究 1		2	演習	2		
ヨーロッパ・アメリカ史研究 2		2	演習	2		
ヨーロッパ・アメリカ史研究 3		2	演習	2		
ヨーロッパ・アメリカ史研究 4		2	演習	2		
アジア史研究 1		2	演習	2		
アジア史研究 2		2	演習	2		
アジア史研究 3		2	演習	2		
アジア史研究 4		2	演習	2		
歴史遺産研究 1		2	演習	2		
歴史遺産研究 2		2	演習	2		
歴史遺産研究 3		2	演習	2		
歴史遺産研究 4		2	演習	2		
日本史講義 1		2	講義	3		12単位以上選択必修
日本史講義 2		2	講義	3		
日本史講義 3		2	講義	3		
ヨーロッパ・アメリカ史講義 1		2	講義	3		
ヨーロッパ・アメリカ史講義 2		2	講義	3		
アジア史講義 1		2	講義	3		
アジア史講義 2		2	講義	3		
歴史遺産講義 1		2	講義	3		
歴史遺産講義 2		2	講義	3		
総合歴史ゼミナールⅠ	2		演習	3		
総合歴史ゼミナールⅡ	2		演習	3		
総合歴史ゼミナールⅢ	2		演習	4		
総合歴史ゼミナールⅣ	2		演習	4		
合計	18	160				

別表（５）総合教養教育科目・外国語教育科目(教育学部初等教育学科・教育心理学科)

授業科目の区分	授 業 科 目	単位数		授業形態	履修学年	備 考
		必修	選択			
総合教養教育科目	スタートアップ就実		2	講義	1	
	数理・データサイエンス基礎	1		講義	1	
	情報リテラシー	1		講義	1	
	現代都市の魅力診断		2	講義	1	
	自然地理学		2	講義	1	
	人類学の世界と歴史		2	講義	1	
	アジアの民族誌		2	講義	1	
	心理学 1		2	講義	1	
	心理学 2		2	講義	1	
	現代の哲学と思想		2	講義	1	
	現代の倫理		2	講義	1	
	日本文化論 1		2	講義	1	
	日本文化論 2		2	講義	1	
	女性の生活と歴史		2	講義	1	
	現代の女性環境		2	講義	1	
	漢詩文の表現と心		2	講義	1	
	漢詩文の表現と思想		2	講義	1	
	ポピュラー音楽の歴史		2	講義	1	
	世界の文学		2	講義	1	
	20世紀史		2	講義	1	
	ことばの科学		2	講義	1	
	キャリアデザイン論		2	講義	1	
	人権の現代的課題	2		講義	1	
	法学		2	講義	1	
	日本国憲法	2		講義	1	
	社会学の世界と歴史		2	講義	1	
	社会学概論		2	講義	1	
	基礎経営論		2	講義	1	
	基礎経済学		2	講義	1	
	経済学概論		2	講義	1	
	労働と社会		2	講義	1	
	政治学概論		2	講義	1	
	現代教育の諸問題		2	講義	1	
	健康と衛生		2	講義	1	
	健康と栄養		2	講義	1	
	環境と地球		2	講義	1	
	環境と生命		2	講義	1	
	化学の世界と歴史		2	講義	1	
	現代生活と化学		2	講義	1	
	からだの構造と機能		2	講義	1	
	からだの化学と生物学		2	講義	1	
	生命機能のプログラム		2	講義	1	
地球と宇宙のサイエンス		2	講義	1		
日本伝統の折紙の科学		2	講義	1		
身体運動と健康の科学		2	講義	1		
健康・スポーツと社会		2	講義	1		
スポーツ 1		1	演習	1		
スポーツ 2		1	演習	1		
スポーツ 3		1	演習	1		
スポーツ 4		1	演習	1		

選択必修 2 単位

選択必修 1 単位



こころの健康科学		2	講義	1	選択必修2単位
現代人とこころの障害		2	講義	1	
プログラミング入門		1	講義	1	
情報と社会		2	講義	1	
情報と表現		2	講義	1	
情報と文化		2	講義	1	
情報処理演習1		2	講義	1	
情報処理演習2		2	講義	1	
アジアの世界と文化		2	講義	1	
欧米の世界と文化		2	講義	1	
コラボレーション学修1		2	講義	1	
コラボレーション学修2		2	講義	1	
茶道1		1	演習	1	
茶道2		1	演習	1	
書道1		1	演習	1	
書道2		1	演習	1	
インターンシップ1		1	実習	2	
インターンシップ2		1	実習	2	
漢字検定1		1	演習	1	
漢字検定2		1	演習	1	
異文化コミュニケーション1		2	講義	1	
異文化コミュニケーション2		2	講義	1	
異文化コミュニケーション3		2	講義	1	
異文化コミュニケーション4		2	講義	1	
日本事情1		2	講義	1	
日本事情2		2	講義	1	
日本事情3		2	講義	1	
日本事情4		2	講義	1	
計		6	135		外国人留学生・ 帰国子女適用
外国語教育科目	English Reading 1	1		演習	
	English Reading 2	1		演習	1
	English Reading 3	1		演習	2
	English Reading 4	1		演習	2
	General English 1		1	演習	1
	General English 2		1	演習	1
	General English 3		1	演習	1
	General English 4		1	演習	1
	検定外国語 1		2	演習	1
	検定外国語 2		2	演習	1
	検定外国語 3		2	演習	1
	検定外国語 4		2	演習	1
	ドイツ語文法入門 1		1	演習	1
	ドイツ語文法入門 2		1	演習	1
	ドイツ語講読入門 1		1	演習	1
	ドイツ語講読入門 2		1	演習	1
	ドイツ語中級 1		1	演習	2
	ドイツ語中級 2		1	演習	2
	ドイツ語中級 3		1	演習	2
	ドイツ語中級 4		1	演習	2
	フランス語文法入門 1		1	演習	1
	フランス語文法入門 2		1	演習	1
	フランス語講読入門 1		1	演習	1
	フランス語講読入門 2		1	演習	1
	フランス語中級 1		1	演習	2

フランス語中級 2		1	演習	2	外国人留学生・ 帰国子女適用
フランス語中級 3		1	演習	2	
フランス語中級 4		1	演習	2	
中国語文法入門 1		1	演習	1	
中国語文法入門 2		1	演習	1	
中国語講読入門 1		1	演習	1	
中国語講読入門 2		1	演習	1	
中国語中級 1		1	演習	2	
中国語中級 2		1	演習	2	
中国語中級 3		1	演習	2	
中国語中級 4		1	演習	2	
ハングル文法入門 1		1	演習	1	
ハングル文法入門 2		1	演習	1	
ハングル講読入門 1		1	演習	1	
ハングル講読入門 2		1	演習	1	
ハングル中級 1		1	演習	2	
ハングル中級 2		1	演習	2	
ハングル中級 3		1	演習	2	
ハングル中級 4		1	演習	2	
日本語 1		1	演習	1	
日本語 2		1	演習	1	
日本語 3		1	演習	1	
日本語 4		1	演習	1	
計	4	48			
合 計	10	183			

別表（6） 専門教育科目(教育学部初等教育学科)

授業科目の区分	授 業 科 目	単位数		授業 形態	履修 学年	備 考
		必修	選択			
専門教育科目	教育の歴史		2	講義	2	
	教職論	2		講義	1	
	教育学概論	2		講義	1	
	教育心理学	2		講義	1	
	学習・言語心理学		2	講義	2	
	学校制度論		2	講義	3	小・幼必修
	特別ニーズ教育総論		2	講義	2	小必修
	子ども家庭支援の心理学		2	講義	3	保必修
	保育者論		2	講義	1	保必修
	保育原理Ⅰ		2	講義	1	保必修
	保育原理Ⅱ		2	講義	3	
	社会的養護Ⅰ		2	講義	1	保必修
	社会福祉Ⅰ		2	講義	1	保必修
	社会福祉Ⅱ		2	講義	3	
	児童家庭福祉Ⅰ		2	講義	1	保必修
	児童家庭福祉Ⅱ		2	講義	3	
	発達心理学	2		講義	2	
	子どもの理解と援助		1	演習	2	保必修
	臨床心理学概論		2	講義	2	
	子どもの保健		2	講義	1	保必修
	子どもの健康と安全		1	演習	2	保必修
	子どもの食と栄養Ⅰ		1	演習	2	保必修
	子どもの食と栄養Ⅱ		1	演習	2	保必修
	子ども家庭支援論		2	講義	2	保必修
	小学校教育課程論		2	講義	2	小必修

幼稚園教育課程論		2	講義	2	幼・保必修
保育内容総論		2	演習	2	幼・保必修
幼児の健康		1	演習	2	幼・保必修
幼児の人間関係		1	演習	2	幼・保必修
幼児の環境		1	演習	2	幼・保必修
幼児の言葉		1	演習	2	幼・保必修
幼児の音楽表現Ⅰ		1	演習	2	幼・保必修
幼児の音楽表現Ⅱ		1	演習	3	幼必修
幼児の造形表現Ⅰ		1	演習	2	幼・保必修
幼児の造形表現Ⅱ		1	演習	3	幼必修
幼児の身体表現Ⅰ		1	演習	2	幼・保必修
幼児の身体表現Ⅱ		1	演習	3	幼必修
乳児保育Ⅰ		2	講義	1	保必修
乳児保育Ⅱ		1	演習	1	保必修
乳児保育Ⅲ		2	講義	2	
特別支援教育（障がい児保育を含む）Ⅰ		1	演習	1	幼・保必修
特別支援教育（障がい児保育を含む）Ⅱ		1	演習	2	幼・保必修
社会的養護Ⅱ		1	演習	2	保必修
子育て支援		1	演習	2	保必修
児童文化		2	講義	2	幼必修
国語科教育法Ⅰ		2	講義	2	小必修
国語科教育法Ⅱ		2	講義	4	
算数科教育法Ⅰ		2	講義	2	小必修
算数科教育法Ⅱ		2	講義	3	
社会科教育法		2	講義	3	小必修
理科教育法		2	講義	3	小必修
生活科教育法		2	講義	2	小必修
家庭科教育法		2	講義	2	小必修
外国語教育法		2	講義	3	小必修
音楽科教育法		2	講義	2	小必修
図画工作科教育法		2	講義	2	小必修
体育科教育法		2	講義	2	小必修
道徳の指導法		2	講義	2	小必修
特別活動及び総合的な学習の時間の指導法		2	講義	3	小必修
教育方法論		2	講義	3	小・幼必修
ICT活用の理論と方法		1	講義	2	小必修
幼児理解とカウンセリング		2	講義	2	幼必修
教育相談		2	講義	2	小必修
生徒・進路指導論		2	講義	3	小必修
国語Ⅰ		2	講義	1	小・幼必修
国語Ⅱ		2	講義	1	
算数Ⅰ		2	講義	2	小必修
算数Ⅱ		2	講義	2	
社会Ⅰ		2	講義	2	小必修
社会Ⅱ		2	講義	3	
理科Ⅰ		2	講義	2	小必修
理科Ⅱ		2	講義	3	
家庭		2	講義	1	小必修
生活		2	講義	1	小必修
児童英語Ⅰ		2	講義	2	小必修
児童英語Ⅱ		2	講義	2	
音楽Ⅰ	1		演習	1	
音楽Ⅱ	1		演習	1	
音楽Ⅲ		1	演習	2	幼・保必修

音楽Ⅳ		1	演習	2	幼・保必修
音楽Ⅴ		1	演習	3	
音楽Ⅵ		1	演習	3	
図画工作Ⅰ	1		演習	1	
図画工作Ⅱ	1		演習	1	
図画工作Ⅲ		1	演習	3	
図画工作Ⅳ		1	演習	3	
体育Ⅰ	1		演習	1	
体育Ⅱ	1		演習	1	
体育Ⅲ		1	演習	3	
体育Ⅳ		1	演習	3	
小学校教育実習		4	実習	3	小必修
小学校教育実習指導Ⅰ		1	実習	3	小必修
小学校教育実習指導Ⅱ		1	実習	3	小必修
介護等体験		1	実習	3	小必修
幼稚園教育実習		4	実習	3	幼必修
幼稚園教育実習指導Ⅰ		1	実習	3	幼必修
幼稚園教育実習指導Ⅱ		1	実習	3	幼必修
保育所保育実習Ⅰ		2	実習	2	保必修
施設保育実習Ⅰ		2	実習	2	保必修
保育所保育実習Ⅱ		2	実習	2	保は2単位選択必修
施設保育実習Ⅱ		2	実習	2	
保育実習実践研究Ⅰ		1	演習	2	保必修
保育実習実践研究Ⅱ		1	演習	2	保必修
保育実習実践研究Ⅲ		1	演習	2	保は1単位選択必修
保育実習実践研究Ⅳ		1	演習	2	
教育・福祉インターンシップⅠ		1	実習	1	
教育・福祉インターンシップⅡ		1	実習	2	
特別支援教育総論		2	講義	1	特支必修
特別支援教育の制度と歴史		2	講義	2	
知的障害の心理学（障害者・障害児心理学B）		2	講義	1	特支必修
知的障害児の生理・病理		1	講義	1	特支必修
肢体不自由児の心理（障害者・障害児心理学A）		1	講義	1	特支必修
肢体不自由児の生理・病理		1	講義	2	特支必修
病弱児の心理		1	講義	2	特支必修
病弱児の生理・病理		1	講義	2	特支必修
障害児心理学各論		2	講義	2	特支選択必修
知的障害児教育Ⅰ		2	講義	2	特支必修
知的障害児教育Ⅱ		2	講義	2	特支必修
肢体不自由児教育		2	講義	3	特支必修
病弱児教育		2	講義	3	特支必修
特別支援教育各論		2	講義	2	特支選択必修
発達障害の心理学		2	講義	2	特支必修
発達障害児の生理・病理		1	講義	1	特支必修
重複障害児の心理		1	講義	2	特支必修
重複障害児の生理・病理		1	講義	2	特支必修
視覚障害児教育総論		1	講義	2	特支必修
聴覚障害児教育総論		1	講義	2	特支必修
発達障害児教育		2	講義	3	特支必修
重複障害児教育		2	講義	3	特支必修
特別支援教育実習指導		1	実習	3	特支必修
特別支援教育実習		2	実習	3	特支必修
初年次教育Ⅰ	1		演習	1	
初年次教育Ⅱ	1		演習	1	

教職研究Ⅰ		1	演習	3	小・幼・保必修
教職研究Ⅱ		1	演習	4	
保育・教職実践演習(幼・小)		2	演習	4	
初等教育ゼミナールⅠ	2		演習	3	
初等教育ゼミナールⅡ	2		演習	3	
初等教育ゼミナールⅢ	2		演習	4	
初等教育ゼミナールⅣ	2		演習	4	
卒業研究	6		演習	4	
合計	30	200			

別表(7) 専門教育科目(教育学部教育心理学科)

授業科目の区分	授業科目	単位数		授業形態	履修学年	備考
		必修	選択			
専門教育科目	教育学概論	2		講義	1	
	教職論	2		講義	1	
	教育の歴史		2	講義	2	
	心理学概論	2		講義	1	
	教育心理学(教育・学校心理学)	2		講義	1	
	学習・言語心理学		2	講義	1	公認心理師必修, 認定心理士選択必修
	学校制度論		2	講義	3	養護必修
	カウンセリング概論(心理学的支援法A)		2	講義	1	公認心理師必修, 認定心理士選択必修
	カウンセリング演習Ⅰ		2	演習	2	認定心理士選択必修
	家族心理学		2	講義	2	認定心理士選択必修
	心理学研究法		2	講義	3	公認心理師・認定心理士必修
	心理学実験		2	実習	3	公認心理師・認定心理士必修
	心理検査法実習(心理的アセスメント)		2	実習	3	公認心理師・認定心理士必修
	社会・集団・家族心理学		2	講義	2	公認心理師必修, 認定心理士選択必修
	心理学統計法Ⅰ		2	講義	1	公認心理師・認定心理士必修
	心理学統計法Ⅱ		2	講義	2	
	心理療法概論(心理学的支援法B)		2	講義	1	公認心理師必修, 認定心理士選択必修
	心理演習		2	演習	3	公認心理師必修
	臨床心理実践演習		2	演習	3	
	感情・人格心理学		2	講義	1	公認心理師必修, 認定心理士選択必修
	生理心理学(神経・生理心理学A)		2	講義	2	公認心理師必修, 認定心理士選択必修
	神経心理学(神経・生理心理学B)		1	講義	3	公認心理師必修, 認定心理士選択必修
	知覚・認知心理学		2	講義	2	公認心理師必修, 認定心理士選択必修
	発達心理学	2		講義	2	
	臨床心理学概論	2		講義	1	
	精神医学概論(精神疾患とその治療)		2	講義	2	公認心理師必修, 認定心理士選択必修
	公認心理師の職責		2	講義	2	公認心理師必修
	関係行政論		2	講義	2	公認心理師必修
	知的障害の心理学(障害者・障害児心理学B)		2	講義	1	公認心理師必修, 認定心理士選択必修
	肢体不自由児の心理(障害者・障害児心理学A)		1	講義	1	公認心理師必修, 認定心理士選択必修
	病弱児の心理		1	講義	2	認定心理士選択必修
	障害児心理学各論		2	講義	2	
	発達障害の心理学		2	講義	2	認定心理士選択必修
	重複障害児の心理		1	講義	2	認定心理士選択必修
	教育課程論		2	講義	2	養護必修
	特別ニーズ教育総論		2	講義	2	養護必修
	道徳の指導法		2	講義	2	養護必修
	総合的な学習の時間の指導法		1	講義	3	養護必修
	特別活動の指導法		2	講義	3	養護必修
	教育方法論		2	講義	3	養護必修
	生徒指導論		2	講義	3	養護必修

教育相談		2	講義	2	養護必修, 認定心理士選択必修
養護実習指導 I		1	演習	3	養護必修
養護実習指導 II		1	演習	3	養護必修
養護実習		4	実習	3	養護必修
教職実践演習(養護)		2	演習	4	養護必修
衛生学		2	講義	2	養護必修
公衆衛生学		2	講義	3	養護必修
学校保健	2		講義	1	
保健教育論		2	講義	2	養護必修
保健教育演習		1	演習	3	
養護学概論		2	講義	1	養護必修
養護活動論		2	講義	2	養護必修
保健室経営論		2	講義	4	養護必修
健康相談活動		2	講義	3	養護必修
栄養学(食品学を含む)		2	講義	1	養護必修
食育論		2	講義	4	
人体の構造と機能1(人体の構造と機能及び疾病I)		2	講義	1	公認心理師・養護必修
人体の構造と機能2		2	講義	1	養護必修
微生物学		2	講義	2	養護必修
免疫学		2	講義	2	養護必修
薬理概論		2	講義	3	
精神保健		2	講義	2	養護必修, 認定心理士選択必修
小児精神医学		2	講義	3	認定心理士選択必修
看護学		2	講義	1	養護必修
看護学演習		1	演習	2	養護必修
看護学臨床実習		2	実習	4	養護必修
学校救急処置演習		1	演習	3	養護必修
小児疾病論1(人体の構造と機能及び疾病II)		2	講義	2	公認心理師必修, 養護選択必修
小児疾病論2		2	講義	3	養護選択必修
小児保健		2	講義	2	養護必修
子どもの身体運動と健康		2	講義	1	
初年次教育 I	1		演習	1	
初年次教育 II	1		演習	1	
ボランティア体験 I		1	演習	1	
ボランティア体験 II		1	演習	2	
教職研究 I		1	演習	3	
教職研究 II		1	演習	4	
健康・医療心理学		2	講義	3	公認心理師必修
福祉心理学		2	講義	2	公認心理師必修
司法・犯罪心理学		2	講義	3	公認心理師必修
産業・組織心理学		2	講義	3	公認心理師必修
心理実習 I		2	実習	3	公認心理師必修
心理実習 II		2	実習	3	公認心理師必修
心理学検定 1		2	演習	1	
心理学検定 2		2	演習	1	
教育心理ゼミナール I	2		演習	3	
教育心理ゼミナール II	2		演習	3	
教育心理ゼミナール III	2		演習	4	
教育心理ゼミナール IV	2		演習	4	
卒業研究	6		演習	4	
合 計	30	142			

別表(8) 総合教養教育科目・外国語教育科目(経営学部経営学科)

授業科目の区分	授 業 科 目	単位数		授業 形態	履修 学年	備 考
		必修	選択			
総合教養教育科目	スタートアップ就実		2	講義	1	
	数理・データサイエンス基礎	1		講義	1	
	情報リテラシー	1		講義	1	
	現代都市の魅力診断		2	講義	1	
	自然地理学		2	講義	1	
	人類学の世界と歴史		2	講義	1	
	アジアの民族誌		2	講義	1	
	心理学1		2	講義	1	
	心理学2		2	講義	1	
	現代の哲学と思想		2	講義	1	
	現代の倫理		2	講義	1	
	日本文化論1		2	講義	1	
	日本文化論2		2	講義	1	
	女性の生活と歴史		2	講義	1	
	現代の女性環境		2	講義	1	
	漢詩文の表現と心		2	講義	1	
	漢詩文の表現と思想		2	講義	1	
	ポピュラー音楽の歴史		2	講義	1	
	世界の文学		2	講義	1	
	20世紀史		2	講義	1	
	ことばの科学		2	講義	1	
	キャリアデザイン論		2	講義	1	
	人権の現代的課題		2	講義	1	
	法学		2	講義	1	
	日本国憲法		2	講義	1	
	社会学の世界と歴史		2	講義	1	
	社会学概論		2	講義	1	
	基礎経営論		2	講義	1	
	基礎経済学		2	講義	1	
	経済学概論		2	講義	1	
	労働と社会		2	講義	1	
	政治学概論		2	講義	1	
	現代教育の諸問題		2	講義	1	
	健康と衛生		2	講義	1	
	健康と栄養		2	講義	1	
	環境と地球		2	講義	1	
	環境と生命		2	講義	1	
	化学の世界と歴史		2	講義	1	
	現代生活と化学		2	講義	1	
	からだの構造と機能		2	講義	1	
	からだの化学と生物学		2	講義	1	
	生命機能のプログラム		2	講義	1	
	地球と宇宙のサイエンス		2	講義	1	
	日本伝統の折紙の科学		2	講義	1	
身体運動と健康の科学		2	講義	1		
健康・スポーツと社会		2	講義	1		
スポーツ1		1	演習	1		
スポーツ2		1	演習	1		
スポーツ3		1	演習	1		
スポーツ4		1	演習	1		
こころの健康科学		2	講義	1		

現代人とこころの障害		2	講義	1		
プログラミング入門		1	講義	1		
情報と表現		2	講義	1		
情報と文化		2	講義	1		
情報と社会		2	講義	1		
情報処理演習 1		2	講義	1		
情報処理演習 2		2	講義	1		
アジアの世界と文化		2	講義	1		
欧米の世界と文化		2	講義	1		
コラボレーション学修 1		2	講義	1		
コラボレーション学修 2		2	講義	1		
茶道 1		1	演習	1		
茶道 2		1	演習	1		
書道 1		1	演習	1		
書道 2		1	演習	1		
インターンシップ 1		1	実習	3		
インターンシップ 2		1	実習	3		
漢字検定 1		1	演習	1		
漢字検定 2		1	演習	1		
異文化コミュニケーション 1		2	講義	1		
異文化コミュニケーション 2		2	講義	1		
異文化コミュニケーション 3		2	講義	1		
異文化コミュニケーション 4		2	講義	1		
日本事情 1		2	講義	1	外国人留学生・ 帰国子女適用	
日本事情 2		2	講義	1		
日本事情 3		2	講義	1		
日本事情 4		2	講義	1		
計		2	139			
外国語教育科目	General English 1	1		演習	1	4 単位以上選択必修
	General English 2	1		演習	1	
	General English 3	1		演習	1	
	General English 4	1		演習	1	
	General English 5		1	演習	1	
	General English 6		1	演習	1	
	General English 7		1	演習	1	
	General English 8		1	演習	1	
	中国語入門 1		1	演習	1	
	中国語入門 2		1	演習	1	
	中国語入門 3		1	演習	1	
	中国語入門 4		1	演習	1	
	留学対策講座(英語) 1		1	演習	2	国際経営は 4 単位選択必修
	留学対策講座(英語) 2		1	演習	2	
	留学対策講座(英語) 3		1	演習	2	
	留学対策講座(英語) 4		1	演習	2	
	留学対策講座(中国語) 1		1	演習	2	
	留学対策講座(中国語) 2		1	演習	2	
	留学対策講座(中国語) 3		1	演習	2	
	留学対策講座(中国語) 4		1	演習	2	
	ドイツ語文法入門 1		1	演習	1	
	ドイツ語文法入門 2		1	演習	1	
	ドイツ語講読入門 1		1	演習	1	
	ドイツ語講読入門 2		1	演習	1	
	フランス語文法入門 1		1	演習	1	
	フランス語文法入門 2		1	演習	1	



フランス語講読入門 1		1	演習	1	外国人留学生・ 帰国子女適用
フランス語講読入門 2		1	演習	1	
ハングル文法入門 1		1	演習	1	
ハングル文法入門 2		1	演習	1	
ハングル講読入門 1		1	演習	1	
ハングル講読入門 2		1	演習	1	
日本語 1		1	演習	1	
日本語 2		1	演習	1	
日本語 3		1	演習	1	
日本語 4		1	演習	1	
計		4	32		
合 計		6	171		

別表(9) 専門教育科目 (経営学部経営学科)

授業科目の区分	授 業 科 目	単位数		授業 形態	履修 学年	備 考
		必修	選択			
専門基礎科目	データサイエンス入門	2		講義	1	8 単位選択必修
	会計学入門	2		講義	1	
	マーケティング入門	2		講義	1	
	経営学入門	2		講義	1	
	マーケティングリサーチ入門	2		講義	1	
	経済学入門	2		講義	1	
	社会統計学	2		講義	2	
	思考・発想法入門	2		講義	1	
	初級簿記		2	講義	1	
	中級簿記 I		2	講義	1	
	中級簿記 II		2	講義	1	
	英文ビジネスプレゼンテーション入門		2	講義	1	
	国際ビジネス入門		2	講義	1	
	商業学入門		2	講義	1	
	農業経済学入門		2	講義	1	
	ホスピタリティ入門		2	講義	1	
	経済史入門		2	講義	1	
	経営戦略論入門		2	講義	1	
	経営哲学入門		2	講義	1	
金融概論		2	講義	1		
証券市場論入門		2	講義	1		
専門発展科目	企業倫理		2	講義	2	マネジメント系から 8 単位選択必修
	コーポレートガバナンス論		2	講義	2	
	経営管理		2	講義	2	
	企業と社会		2	講義	2	
	外国経営史		2	講義	3	
	日本経営史		2	講義	3	
	経営組織論 I		2	講義	3	
	経営組織論 II		2	講義	3	
	経営戦略論		2	講義	3	
	リーダーシップ論		2	講義	2	
	生産システム論		2	講義	3	
	人的資源管理論		2	講義	3	
	知的所有権		2	講義	3	
	税法概論		2	講義	3	
	マーケティング戦略論		2	講義	3	
消費者行動論		2	講義	3		

商業学		2	講義	3	マーケティング系から 6単位選択必修
広告論		2	講義	2	
サービス・マーケティング		2	講義	3	
製品戦略論		2	講義	3	
地域マーケティング論		2	講義	3	
市場情報分析		2	講義	3	
イノベーション・マネジメント		2	講義	3	経営情報系から 8単位選択必修
財務会計		2	講義	2	
管理会計		2	講義	3	
経営分析		2	講義	3	
原価計算		2	講義	2	
上級簿記Ⅰ		2	講義	3	
上級簿記Ⅱ		2	講義	3	
ミクロ経済学		2	講義	3	
マクロ経済学		2	講義	3	
ビジネス・エコノミクス		2	講義	2	
法と経済		2	講義	3	
経済統計分析		2	講義	3	
金融政策論		2	講義	3	
価値開発工学論		2	講義	3	
ビジネス・プランニング		2	講義	3	グローバル系から 8単位選択必修
アジア企業論		2	講義	3	
アジアの農業と経済		2	講義	3	
第6次産業論		2	講義	3	
農業経済学		2	講義	3	
サービスデザイン		2	講義	3	
観光マネジメント		2	講義	3	
中小企業論		2	講義	3	
岡山経済論		2	講義	2	
岡山産業論		2	講義	2	
Introduction to Management		2	講義	2	
Advanced Management		2	講義	3	
フィールド調査論Ⅰ		2	演習	3	
フィールド調査論Ⅱ		2	演習	3	
特別講義Ⅰ		2	講義	2	
特別講義Ⅱ		2	講義	3	
導入ゼミナールⅠ	2		演習	1	地域経営・経営実践必修
導入ゼミナールⅡ	2		演習	1	
専門ゼミナールⅠ	2		演習	2	
専門ゼミナールⅡ		2	演習	2	
専門ゼミナールⅢ	2		演習	3	
専門ゼミナールⅣ	2		演習	3	
専門ゼミナールⅤ	2		演習	4	国際経営必修 地域経営必修 経営実践必修 経営実践必修 経営実践必修
専門ゼミナールⅥ	2		演習	4	
留学プログラム		8	実習	2	
長期インターンシップ		8	実習	2	
PBL実習1		2	実習	2	
PBL実習2		2	実習	2	
PBL実習3		2	実習	2	
PBL実習4		2	実習	2	
卒業研究	4		演習	4	
合計		34	156		

別表(10) 総合教養教育科目・外国語教育科目(薬学部薬学科)

授業科目の区分	授 業 科 目	単位数		授業 形態	履修 学年	備 考
		必修	選択			
総合教養教育科目	スタートアップ就実		2	講義	1	
	数理・データサイエンス基礎	1		講義	1	
	情報リテラシー	1		講義	1	
	現代都市の魅力診断		2	講義	1	
	自然地理学		2	講義	1	
	人類学の世界と歴史		2	講義	1	
	アジアの民族誌		2	講義	1	
	心理学1		2	講義	1	
	心理学2		2	講義	1	
	現代の哲学と思想		2	講義	1	
	現代の倫理		2	講義	1	
	日本文化論1		2	講義	1	
	日本文化論2		2	講義	1	
	女性の生活と歴史		2	講義	1	
	現代の女性環境		2	講義	1	
	漢詩文の表現と心		2	講義	1	
	漢詩文の表現と思想		2	講義	1	
	ポピュラー音楽の歴史		2	講義	1	
	世界の文学		2	講義	1	
	20世紀史		2	講義	1	
	ことばの科学		2	講義	1	
	キャリアデザイン論		2	講義	1	
	人権の現代的課題		2	講義	1	
	法学		2	講義	1	
	日本国憲法		2	講義	1	
	社会学の世界と歴史		2	講義	1	
	社会学概論		2	講義	1	
	基礎経営論		2	講義	1	
	基礎経済学		2	講義	1	
	経済学概論		2	講義	1	
	労働と社会		2	講義	1	
	政治学概論		2	講義	1	
	現代教育の諸問題		2	講義	1	
	健康と衛生		2	講義	1	
	健康と栄養		2	講義	1	
	環境と地球		2	講義	1	
	環境と生命		2	講義	1	
	化学の世界と歴史		2	講義	1	
	現代生活と化学		2	講義	1	
	からだの構造と機能		2	講義	1	
	からだの化学と生物学		2	講義	1	
	生命機能のプログラム		2	講義	1	
	地球と宇宙のサイエンス		2	講義	1	
日本伝統の折紙の科学		2	講義	1		
身体運動と健康の科学		2	講義	1		
健康・スポーツと社会		2	講義	1		
スポーツ1		1	演習	1		
スポーツ2		1	演習	1		
スポーツ3		1	演習	1		
スポーツ4		1	演習	1		
こころの健康科学		2	講義	1		

	現代人とこころの障害		2	講義	1		
	情報と社会		2	講義	1		
	アジアの世界と文化		2	講義	1		
	欧米の世界と文化		2	講義	1		
	コラボレーション学修1		2	講義	1		
	コラボレーション学修2		2	講義	1		
	茶道1		1	演習	1		
	茶道2		1	演習	1		
	日本事情1		2	講義	1	外国人留学生・ 帰国子女適用	
	日本事情2		2	講義	1		
	日本事情3		2	講義	1		
	日本事情4		2	講義	1		
	プログラミング入門		1	講義	1		
	リメディアルサイエンス		1	演習	1		
	基礎数学演習	1		演習	1		
	基礎物理学演習	1		演習	1		
	基礎化学演習	1		演習	1		
	基礎生物学演習	1		演習	1		
	計	6	118				
外国語教育科目	Oral Communication I		1	演習	1		外国人留学生・ 帰国子女適用
	Oral Communication II		1	演習	1		
	English Composition I		1	演習	1		
	English Composition II		1	演習	1		
	English Reading I		1	演習	1		
	English Reading II		1	演習	1		
	フランス語文法入門1		1	演習	1		
	フランス語文法入門2		1	演習	1		
	フランス語講読入門1		1	演習	1		
	フランス語講読入門2		1	演習	1		
	ドイツ語文法入門1		1	演習	1		
	ドイツ語文法入門2		1	演習	1		
	ドイツ語講読入門1		1	演習	1		
	ドイツ語講読入門2		1	演習	1		
	中国語文法入門1		1	演習	1		
	中国語文法入門2		1	演習	1		
	中国語講読入門1		1	演習	1		
	中国語講読入門2		1	演習	1		
	ハンブルク文法入門1		1	演習	1		
	ハンブルク文法入門2		1	演習	1		
	ハンブルク講読入門1		1	演習	1		
	ハンブルク講読入門2		1	演習	1		
	日本語1		1	演習	1		
	日本語2		1	演習	1		
	日本語3		1	演習	1		
	日本語4		1	演習	1		
	計		26				
	合計	6	144				

別表(11) 専門教育科目(薬学部薬学科)

授業科目の区分	授業科目	単位数		授業形態	履修学年	備考
		必修	選択			
専門教育科目	薬学への招待	2		講義	1	
	医療倫理学	1		講義	1	
	初年次ゼミナール	1		演習	1	

基礎薬学英語	1		演習	2
医療薬学英語	1		演習	3
サイエンスコミュニケーション	1		講義	1
薬学対話演習	1		演習	2
基礎薬学総合演習	1		演習	4
卒業特別ゼミナール	1		演習	6
卒業特別講義	10		講義	6
化学物質の構造と性質	1		講義	1
溶液の性質と化学反応速度論	2		講義	2
熱力学と物理平衡	2		講義	2
医薬品分析化学	2		講義	1
臨床分析技術	2		講義	2
機器分析化学	2		講義	2
物理系薬学演習	1		演習	3
無機化学	1		講義	1
有機薬化学Ⅰ	2		講義	1
有機薬化学Ⅱ	2		講義	2
有機薬化学Ⅲ	2		講義	2
医薬品化学	1		講義	3
天然物化学	2		講義	1
生薬学	1		講義	2
化学系薬学演習	1		演習	3
生化学Ⅰ	2		講義	1
生化学Ⅱ	2		講義	2
生体情報化学	2		講義	2
免疫学	2		講義	2
分子生物学	2		講義	2
遺伝子工学	2		講義	3
微生物薬品化学	2		講義	2
臨床微生物学	2		講義	3
生物系薬学演習	1		演習	3
公衆衛生学	2		講義	2
衛生化学	2		講義	2
食品衛生学演習	1		演習	3
環境毒性学	2		講義	3
環境衛生学	2		講義	4
衛生薬学演習	1		演習	4
人体構成学Ⅰ	2		講義	2
人体構成学Ⅱ	1		講義	2
病態生理学Ⅰ	2		講義	3
病態生理学Ⅱ	2		講義	3
薬理学Ⅰ	2		講義	2
薬理学Ⅱ	2		講義	3
薬理学Ⅲ	2		講義	3
薬理学演習	1		演習	4
薬物治療学Ⅰ	2		講義	3
薬物治療学Ⅱ	2		講義	4
薬物治療学演習	1		演習	4
生物薬剤学	2		講義	2
物理薬剤学	2		講義	3
薬物動態学	2		講義	3
薬物代謝学	2		講義	3
製剤学	2		講義	4
製剤機能論	1		講義	4

薬剤学演習	1		演習	4
薬事関係法規	2		講義	4
新薬開発論	2		講義	4
医療統計学	2		講義	3
医薬品情報学	2		講義	3
薬局管理学演習	1		演習	3
臨床コミュニケーション演習	1		演習	3
薬剤師職能論	1		講義	4
調剤学	2		講義	3
医療薬学演習	1		演習	4
処方解析学Ⅰ	2		講義	4
処方解析学Ⅱ	2		講義	4
臨床薬学総合演習	1		演習	4
基礎薬学実習(物理系・化学系)	1		実習	2
生命薬学実習Ⅰ(生化学・免疫学)	1		実習	2
生命薬学実習Ⅱ(衛生・微生物)	1		実習	3
医療薬学実習(薬理・薬剤)	1		実習	3
実務実習事前学習	2		実習	4
病院・薬局実務実習	20		実習	5
卒業特別研究	10		実習	4-6
薬剤師と地域医療		1	講義	4
臨床心理学		1	講義	2
看護学概論		1	講義	3
研究開発入門		1	講義	4
医療放射化学		1	講義	3
創薬化学		1	講義	3
細胞工学		1	講義	3
病態生化学		1	講義	3
生体機能調節学		1	講義	3
生体防御科学		1	講義	3
ゲノム科学		1	講義	3
感染症予防学		1	講義	4
未病薬学		1	講義	4
環境遺伝学		1	講義	4
免疫薬理学		1	講義	4
漢方薬学Ⅰ		1	講義	4
漢方薬学Ⅱ		1	講義	5
臨床疫学		1	講義	4
臨床動態学		1	講義	4
香粧品科学		1	講義	4
バイオ医薬品開発論		1	講義	5
レギュラトリーサイエンス		1	講義	5
専門薬剤師概論Ⅰ		1	講義	5
専門薬剤師概論Ⅱ		1	講義	5
フィジカルアセスメント		1	講義	5
薬学海外研修		2	実習	3
合計	157	27		

別表(12) 教職(中・高)に関する科目(人文科学部各学科共通)

授業科目の区分	授業科目	単位数		授業形態	履修学年	備考
		必修	選択			
教職に関する科目	教職論		2	講義	1	教職必修
	教育学概論		2	講義	1	教職必修
	教育心理学(教育・学校心理学)		2	講義	2	教職必修

学校制度論		2	講義	3	教職必修
特別ニーズ教育総論		2	講義	2	教職必修
教育課程論		2	講義	2	教職必修
教科教育法(国語) I		2	講義	2	教職必修 (表現文化学科)
教科教育法(国語) II		2	講義	3	教職必修 (表現文化学科)
教科教育法(国語) III		2	講義	3	教職必修 (表現文化学科中一種)
教科教育法(国語) IV		2	講義	3	教職必修 (表現文化学科中一種)
教科教育法(英語) I		2	講義	2	教職必修 (実践英語学科)
教科教育法(英語) II		2	講義	3	教職必修 (実践英語学科)
教科教育法(英語) III		2	講義	3	教職必修 (実践英語学科中一種)
教科教育法(英語) IV		2	講義	3	教職必修 (実践英語学科中一種)
教科教育法(社会・地理歴史) I		2	講義	2	教職必修 (総合歴史学科)
教科教育法(社会・地理歴史) II		2	講義	3	教職必修 (総合歴史学科)
教科教育法(社会) III		2	講義	3	教職必修 (総合歴史学科中一種)
教科教育法(社会・地理歴史) IV		2	講義	3	教職必修 (総合歴史学科中一種)
道徳の指導法		2	講義	2	教職必修 (中一種)
総合的な学習の時間の指導法		1	講義	3	教職必修
特別活動の指導法		2	講義	3	教職必修
教育方法論		2	講義	3	教職必修
ICT活用の理論と方法		1	講義	2	教職必修
生徒・進路指導論		2	講義	3	教職必修
教育相談		2	講義	2	教職必修
事前・事後指導		1	講義	3・4	教職必修
教育実習 I		2	実習	4	教職必修
教育実習 II		2	実習	4	教職必修 (中一種)
教職実践演習 (中・高)		2	演習	4	教職必修
計		55			

別表 (13) 特別支援学校教諭に関する科目 (教育学部初等教育学科)

授業科目の区分	授 業 科 目	単位数		授業形態	履修学年	備 考
		必修	選択			
特別支援学校教諭に関する科目	特別支援教育総論		2	講義	1	特別支援必修
	特別支援教育の制度と歴史		2	講義	2	
	知的障害の心理学 (障害者・障害児心理学B)		2	講義	1	特別支援必修
	知的障害児の生理・病理		1	講義	1	特別支援必修
	肢体不自由児の心理 (障害者・障害児心理学A)		1	講義	1	特別支援必修
	肢体不自由児の生理・病理		1	講義	2	特別支援必修
	病弱児の心理		1	講義	2	特別支援必修
	病弱児の生理・病理		1	講義	2	特別支援必修
	知的障害児教育 I		2	講義	2	特別支援必修
	知的障害児教育 II		2	講義	2	特別支援必修
	肢体不自由児教育		2	講義	3	特別支援必修
	病弱児教育		2	講義	3	特別支援必修
	特別支援教育各論		2	講義	2	特別支援 2 単位選択必修
	障害児心理学各論		2	講義	2	
	発達障害の心理学		2	講義	2	特別支援必修
	発達障害児の生理・病理		1	講義	1	特別支援必修
	重複障害児の心理		1	講義	2	特別支援必修
	重複障害児の生理・病理		1	講義	2	特別支援必修
	視覚障害児教育総論		1	講義	2	特別支援必修
	聴覚障害児教育総論		1	講義	2	特別支援必修
	発達障害児教育		2	講義	3	特別支援必修
	重複障害児教育		2	講義	3	特別支援必修
	特別支援教育実習指導		1	実習	3	特別支援必修

特別支援教育実習		2	実習	3	特別支援必修
計		37			

別表(14) 博物館に関する科目(人文科学部・教育学部各学科共通)

授業科目の区分	授業科目	単位数		授業形態	履修学年	備考
		必修	選択			
博物館に関する科目	生涯学習概論Ⅰ		2	講義	1	8単位博物館必修
	博物館概論		2	講義	1	
	博物館経営論		2	講義	2	
	博物館資料論		2	講義	3	
	博物館資料保存論		2	講義	4	
	博物館展示論		2	講義	3	
	博物館実習Ⅰ		1	実習	4	
	博物館実習Ⅱ		1	実習	4	
	博物館実習Ⅲ		1	実習	4	
	博物館情報・メディア論		2	講義	2	
	博物館教育論		2	講義	2	
	日本文化論1		2	講義	1	
	日本文化論2		2	講義	1	
	古文書学の基礎		2	講義	1	
	古文書解読		2	講義	1	
	人類学の世界と歴史		2	講義	1	
	日本美術史		2	講義	1	
	西洋美術史		2	講義	1	
	東洋美術史		2	講義	1	
	考古学の基礎		2	講義	1	
	考古学の現在		2	講義	1	
アジアの民族誌		2	講義	1		
計			41			

別表(15) 図書館に関する科目(人文科学部・教育学部各学科共通)

授業科目の区分	授業科目	単位数		授業形態	履修学年	備考
		必修	選択			
図書館に関する科目	生涯学習概論Ⅰ		2	講義	1	5科目中2科目 図書館必修
	図書館概論		2	講義	1	
	図書館制度・経営論		2	講義	3	
	図書館情報技術論		2	講義	2	
	図書館サービス概論		2	講義	1	
	情報サービス論		2	講義	1	
	児童サービス論		2	講義	2	
	情報サービス演習Ⅰ		1	演習	2	
	情報サービス演習Ⅱ		1	演習	2	
	図書館情報資源概論		2	講義	1	
	情報資源組織論		2	講義	2	
	情報資源組織演習Ⅰ		1	演習	2	
	情報資源組織演習Ⅱ		1	演習	2	
	図書館基礎特論		1	講義	2	
	図書館サービス特論		1	講義	1	
	図書館情報資源特論		1	講義	2	
	図書・図書館史		1	講義	1	
	図書館施設論		1	講義	1	
	計			27		

別表(16) 司書教諭に関する科目(人文科学部・教育学部各学科共通)



授業科目の区分	授 業 科 目	単位数		授業形態	履修学年	備 考
		必修	選択			
司書教諭に関する科目	学校経営と学校図書館		2	講義	2	司書教諭必修
	学校図書館メディアの構成		2	講義	2	司書教諭必修
	学習指導と学校図書館		2	講義	2	司書教諭必修
	読書と豊かな人間性		2	講義	2	司書教諭必修
	情報メディアの活用		2	講義	2	司書教諭必修
	計		10			

別表(17) 社会教育に関する科目(人文科学部・教育学部各学科共通)

授業科目の区分	授 業 科 目	単位数		授業形態	履修学年	備 考
		必修	選択			
社会教育に関する科目	生涯学習概論Ⅰ		2	講義	1	社会教育必修
	生涯学習概論Ⅱ		2	講義	1	
	生涯学習支援論Ⅰ		2	講義	2	
	生涯学習支援論Ⅱ		2	講義	2	
	社会教育経営論Ⅰ		2	講義	2	
	社会教育経営論Ⅱ		2	講義	2	
	社会教育実習		1	実習	3	
	社会教育演習Ⅰ		1	演習	3	
	社会教育演習Ⅱ		1	演習	3	
	社会教育課題研究Ⅰ		1	演習	3	
	社会教育課題研究Ⅱ		1	演習	3	
	情報と社会		2	講義	1	社会教育必修
	共生社会と社会教育		2	講義	2	
	博物館概論		2	講義	1	
	図書館概論		2	講義	1	
	図書館情報技術論		2	講義	2	
	博物館情報・メディア論		2	講義	2	
	教育学概論		2	講義	1	
	考古学の基礎		2	講義	1	
	考古学の現在		2	講義	1	
	死生観の歴史		2	講義	1	
	人権の現代的課題		2	講義	1	社会教育必修
	現代都市の魅力診断		2	講義	1	
環境と生命		2	講義	1		
健康・スポーツと社会		2	講義	1		
現代人とこころの障害		2	講義	1		
社会福祉Ⅰ		2	講義	1		
計		49				

別表(18) 医療秘書に関する科目(人文科学部・教育学部・経営学部各学科共通)

授業科目の区分	授 業 科 目	単位数		授業形態	履修学年	備 考
		必修	選択			
医療秘書に関する科目	衛生学		2	講義	2	医療秘書必修
	現代の哲学と思想		2	講義	1	医療秘書必修
	人体の構造と機能1(人体の構造と機能及び疾病Ⅰ)		2	講義	1	医療秘書必修
	人体の構造と機能2		2	講義	1	医療秘書必修
	臨床検査と薬の知識		2	講義	1	医療秘書必修
	医療にかかわる用語		2	講義	1	医療秘書必修
	コミュニケーション論		1	講義	1	医療秘書必修
	医療秘書概論		2	講義	1	医療秘書必修
	医療秘書実務Ⅰ		1	演習	1	医療秘書必修
	医療秘書実務Ⅱ		1	演習	2	医療秘書必修

医療情報処理学		2	講義	1	医療秘書必修
医療情報処理 I		1	演習	1	医療秘書必修
医療情報処理 II		1	演習	1	医療秘書必修
医療関係法規概論		2	講義	2	医療秘書必修
実務研修		3	実習	2	医療秘書必修
実務演習 I		1	演習	1	医療秘書必修
実務演習 II		1	演習	1	医療秘書必修
実務演習 III		1	演習	1	医療秘書必修
計		29			

(2) 変更事項を記載した書類

<変更の事由>

1. 2022年度より、経営学部経営学科において入学定員を60名増加させて160名、収容定員を240名増加させて640名とする。

<変更点>

1. 第3条(学部・学科及び収容定員)  
経営学部経営学科の入学定員を160名、収容定員を640名とする。

2. 上記の変更に伴い、以下のとおり附則に所要の記載を加える。

附 則

1. この改正学則は、令和5年4月1日から施行し、令和5年度入学生から適用する。
2. 令和5年度から令和7年度において、入学定員及び収容定員は、改正後の学則第3条の規定にかかわらず、次のとおりとする。

		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
学部	学科	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
経営学部	経営学科	160名	460名	160名	520名	160名	580名

3. 別表(8)及び別表(9)を(3)変更部分の新旧対照表の通り変更する。

(3) 変更部分の新旧対照表

新（改正後）				旧（現行）				
（学部・学科及び収容定員） 第3条 本学に設置する学部、学科及びその収容定員は次のとおりとする。				（学部・学科及び収容定員） 第3条 本学に設置する学部、学科及びその収容定員は次のとおりとする。				
学部	学科	入学定員	収容定員	学部	学科	入学定員	収容定員	
人文科学部	表現文化学科	80名	320名	人文科学部	表現文化学科	80名	320名	
	実践英語学科	75名	300名		人文科学部	実践英語学科	75名	300名
	総合歴史学科	80名	320名			総合歴史学科	80名	320名
教育学部	初等教育学科	75名 3年次編入5名	310名	教育学部	初等教育学科	75名 3年次編入5名	310名	
	教育心理学科	62名	248名		教育心理学科	62名	248名	
経営学部	経営学科	<u>160名</u>	<u>640名</u>	経営学部	経営学科	<u>100名</u>	<u>400名</u>	
薬学部	薬学科	100名	600名	薬学部	薬学科	100名	600名	
新（改正案）								
附 則 1 この改正学則は、令和5年4月1日から施行し、令和5年度入学生から適用する。 2 令和5年度から令和7年度において、入学定員及び収容定員は、改正後の学則第3条の規定にかかわらず、次のとおりとする。								
		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
学部	学科	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	
経営学部	経営学科	160名	460名	160名	520名	160名	580名	
旧（現行）								
(追加)								

新 (改正後)					旧 (現行)								
別表 (8) 総合教養教育科目・外国語教育科目 (経営学部経営学科)					別表 (8) 総合教養教育科目・外国語教育科目 (経営学部経営学科)								
授業科目の区分	授 業 科 目	単位数		授業形態	履修学年	備 考	授業科目の区分	授 業 科 目	単位数		授業形態	履修学年	備 考
		必修	選択						必修	選択			
総合教養教育科目	スタートアップ就実		2	講義	1		スタートアップ就実		2	講義	1		
	教理・データサイエンス基礎	1		講義	1		教理・データサイエンス基礎	1		講義	1		
	情報リテラシー	1		講義	1		情報リテラシー	1		講義	1		
	現代都市の魅力診断		2	講義	1		現代都市の魅力診断		2	講義	1		
	自然地理学		2	講義	1		自然地理学		2	講義	1		
	人類学の世界と歴史		2	講義	1		人類学の世界と歴史		2	講義	1		
	アジアの民族誌		2	講義	1		アジアの民族誌		2	講義	1		
	心理学 1		2	講義	1		心理学 1		2	講義	1		
	心理学 2		2	講義	1		心理学 2		2	講義	1		
	現代の哲学と思想		2	講義	1		現代の哲学と思想		2	講義	1		
	現代の倫理		2	講義	1		現代の倫理		2	講義	1		
	日本文化論 1		2	講義	1		日本文化論 1		2	講義	1		
	日本文化論 2		2	講義	1		日本文化論 2		2	講義	1		
	女性の生活と歴史		2	講義	1		女性の生活と歴史		2	講義	1		
	現代の女性環境		2	講義	1		現代の女性環境		2	講義	1		
	漢詩文の表現と心		2	講義	1		漢詩文の表現と心		2	講義	1		
	漢詩文の表現と思想		2	講義	1		漢詩文の表現と思想		2	講義	1		
	ポピュラー音楽の歴史		2	講義	1		ポピュラー音楽の歴史		2	講義	1		
	世界の文学		2	講義	1		世界の文学		2	講義	1		
	20世紀史		2	講義	1		20世紀史		2	講義	1		
	ことばの科学		2	講義	1		ことばの科学		2	講義	1		
	キャリアデザイン論		2	講義	1		キャリアデザイン論		2	講義	1		
	人権の現代的課題		2	講義	1		人権の現代的課題		2	講義	1		
	法学		2	講義	1		法学		2	講義	1		
	日本国憲法		2	講義	1		日本国憲法		2	講義	1		
	社会学の世界と歴史		2	講義	1		社会学の世界と歴史		2	講義	1		
	社会学概論		2	講義	1		社会学概論		2	講義	1		
	基礎経営論		2	講義	1		基礎経営論		2	講義	1		
	基礎経済学		2	講義	1		基礎経済学		2	講義	1		
	経済学概論		2	講義	1		経済学概論		2	講義	1		
	労働と社会		2	講義	1		労働と社会		2	講義	1		
	政治学概論		2	講義	1		政治学概論		2	講義	1		
	現代教育の諸問題		2	講義	1		現代教育の諸問題		2	講義	1		
	健康と衛生		2	講義	1		健康と衛生		2	講義	1		
	健康と栄養		2	講義	1		健康と栄養		2	講義	1		
	環境と地球		2	講義	1		環境と地球		2	講義	1		
	環境と生命		2	講義	1		環境と生命		2	講義	1		
	化学の世界と歴史		2	講義	1		化学の世界と歴史		2	講義	1		
	現代生活と化学		2	講義	1		現代生活と化学		2	講義	1		
	からだの構造と機能		2	講義	1		からだの構造と機能		2	講義	1		
からだの化学と生物学		2	講義	1		からだの化学と生物学		2	講義	1			
生命機能のプログラム		2	講義	1		生命機能のプログラム		2	講義	1			
地球と宇宙のサイエンス		2	講義	1		地球と宇宙のサイエンス		2	講義	1			
日本伝統の折紙の科学		2	講義	1		日本伝統の折紙の科学		2	講義	1			
身体運動と健康の科学		2	講義	1		身体運動と健康の科学		2	講義	1			
健康・スポーツと社会		2	講義	1		健康・スポーツと社会		2	講義	1			
スポーツ 1		1	演習	1		スポーツ 1		1	演習	1			

スポーツ2		1	演習	1
スポーツ3		1	演習	1
スポーツ4		1	演習	1
こころの健康科学		2	講義	1
現代人とこころの障害		2	講義	1
プログラミング入門		1	講義	1
情報と表現		2	講義	1
情報と文化		2	講義	1
情報と社会		2	講義	1
情報処理演習1		2	講義	1
情報処理演習2		2	講義	1
アジアの世界と文化		2	講義	1
欧米の世界と文化		2	講義	1
コラボレーション学修1		2	講義	1
コラボレーション学修2		2	講義	1
茶道1		1	演習	1
茶道2		1	演習	1
書道1		1	演習	1
書道2		1	演習	1
インターンシップ1		1	実習	3
インターンシップ2		1	実習	3
漢字検定1		1	演習	1
漢字検定2		1	演習	1
異文化コミュニケーション1		2	講義	1
異文化コミュニケーション2		2	講義	1
異文化コミュニケーション3		2	講義	1
異文化コミュニケーション4		2	講義	1
日本事情1		2	講義	1
日本事情2		2	講義	1
日本事情3		2	講義	1
日本事情4		2	講義	1

外国人留学生・  
帰国子女適用

計 2 139

外国語教育科目

General English 1		1	演習	1
General English 2		1	演習	1
General English 3		1	演習	1
General English 4		1	演習	1
General English 5		1	演習	1
General English 6		1	演習	1
General English 7		1	演習	1
General English 8		1	演習	1
中国語入門1		1	演習	1
中国語入門2		1	演習	1
中国語入門3		1	演習	1
中国語入門4		1	演習	1
留学対策講座(英語)1		1	演習	2
留学対策講座(英語)2		1	演習	2
留学対策講座(英語)3		1	演習	2
留学対策講座(英語)4		1	演習	2
留学対策講座(中国語)1		1	演習	2
留学対策講座(中国語)2		1	演習	2
留学対策講座(中国語)3		1	演習	2

4単位以上選択必修

国際経営は  
4単位選択必修

スポーツ2		1	演習	1
スポーツ3		1	演習	1
スポーツ4		1	演習	1
こころの健康科学		2	講義	1
現代人とこころの障害		2	講義	1
プログラミング入門		1	講義	1
情報と表現		2	講義	1
情報と文化		2	講義	1
情報と社会		2	講義	1
情報処理演習1		2	講義	1
情報処理演習2		2	講義	1
アジアの世界と文化		2	講義	1
欧米の世界と文化		2	講義	1
コラボレーション学修1		2	講義	1
コラボレーション学修2		2	講義	1
茶道1		1	演習	1
茶道2		1	演習	1
書道1		1	演習	1
書道2		1	演習	1
インターンシップ1		1	実習	3
インターンシップ2		1	実習	3
漢字検定1		1	演習	1
漢字検定2		1	演習	1
異文化コミュニケーション1		2	講義	1
異文化コミュニケーション2		2	講義	1
異文化コミュニケーション3		2	講義	1
異文化コミュニケーション4		2	講義	1
日本事情1		2	講義	1
日本事情2		2	講義	1
日本事情3		2	講義	1
日本事情4		2	講義	1

外国人留学生・  
帰国子女適用

計 2 139

外国語教育科目

General English 1		1	演習	1
General English 2		1	演習	1
General English 3		1	演習	1
General English 4		1	演習	1
General English 5		1	演習	1
General English 6		1	演習	1
General English 7		1	演習	1
General English 8		1	演習	1
中国語入門1		1	演習	1
中国語入門2		1	演習	1
中国語入門3		1	演習	1
中国語入門4		1	演習	1
留学対策講座(英語)1		1	演習	2
留学対策講座(英語)2		1	演習	2
留学対策講座(英語)3		1	演習	2
留学対策講座(英語)4		1	演習	2
留学対策講座(中国語)1		1	演習	2
留学対策講座(中国語)2		1	演習	2
留学対策講座(中国語)3		1	演習	2

4単位以上選択必修

GBは4単位選択必修

留学対策講座(中国語) 4		1	演習	2	
ドイツ語文法入門 1		1	演習	1	
ドイツ語文法入門 2		1	演習	1	
ドイツ語講読入門 1		1	演習	1	
ドイツ語講読入門 2		1	演習	1	
フランス語文法入門 1		1	演習	1	
フランス語文法入門 2		1	演習	1	
フランス語講読入門 1		1	演習	1	
フランス語講読入門 2		1	演習	1	
ハングル文法入門 1		1	演習	1	
ハングル文法入門 2		1	演習	1	
ハングル講読入門 1		1	演習	1	
ハングル講読入門 2		1	演習	1	
日本語 1		1	演習	1	外国人留学生・ 帰国子女適用
日本語 2		1	演習	1	
日本語 3		1	演習	1	
日本語 4		1	演習	1	
計	4	32			
合計	6	171			

(削除)

留学対策講座(中国語) 4		1	演習	2	
ドイツ語文法入門 1		1	演習	1	
ドイツ語文法入門 2		1	演習	1	
ドイツ語講読入門 1		1	演習	1	
ドイツ語講読入門 2		1	演習	1	
フランス語文法入門 1		1	演習	1	
フランス語文法入門 2		1	演習	1	
フランス語講読入門 1		1	演習	1	
フランス語講読入門 2		1	演習	1	
ハングル文法入門 1		1	演習	1	
ハングル文法入門 2		1	演習	1	
ハングル講読入門 1		1	演習	1	
ハングル講読入門 2		1	演習	1	
日本語 1		1	演習	1	外国人留学生・ 帰国子女適用
日本語 2		1	演習	1	
日本語 3		1	演習	1	
日本語 4		1	演習	1	
計	4	32			
合計	6	171			

※GB：グローバル・ビジネス・マネジメントコース

別表(9) 専門教育科目(経営学部経営学科)

授業科目の区分	授業科目	単位数		授業形態	履修学年	備考
		必修	選択			
専門基礎科目	データサイエンス入門	2		講義	1	8単位選択必修
	会計学入門	2		講義	1	
	マーケティング入門	2		講義	1	
	経営学入門	2		講義	1	
	マーケティングリサーチ入門	2		講義	1	
	経済学入門	2		講義	1	
	社会統計学	2		講義	2	
	思考・発想法入門	2		講義	1	
	初級簿記	2		講義	1	
	中級簿記Ⅰ	2		講義	1	
	中級簿記Ⅱ	2		講義	1	
	英文ビジネスプレゼンテーション入門	2		講義	1	
	国際ビジネス入門	2		講義	1	
	商業学入門	2		講義	1	
	農業経済学入門	2		講義	1	
	ホスピタリティ入門	2		講義	1	
	経済史入門	2		講義	1	
	経営戦略論入門	2		講義	1	
	経営哲学入門	2		講義	1	
	金融概論	2		講義	1	
証券市場論入門	2		講義	1		
専門発展科目	企業倫理	2		講義	2	(削除)
	コーポレートガバナンス論	2		講義	2	
	経営管理	2		講義	2	
	企業と社会	2		講義	2	
	外国経営史	2		講義	3	
	日本経営史	2		講義	3	

マネジメント系から

別表(9) 専門教育科目(経営学部経営学科)

授業科目の区分	授業科目	単位数		授業形態	履修学年	備考	
		必修	選択				
専門基礎科目	データサイエンス入門	2		講義	1	8単位選択必修	
	会計学入門	2		講義	1		
	マーケティング入門	2		講義	1		
	経営学入門	2		講義	1		
	マーケティングリサーチ入門	2		講義	1		
	経済学入門	2		講義	1		
	社会統計学	2		講義	2		
	思考・発想法入門	2		講義	1		
	初級簿記	2		講義	1		
	中級簿記	2		講義	2		
	(新設)	(新設)	(新設)	(新設)			
	英文ビジネスプレゼンテーション入門	2		講義	1		
	国際ビジネス入門	2		講義	1		
	商業学入門	2		講義	1		
	農業経済学入門	2		講義	1		
	ホスピタリティ入門	2		講義	1		
	経済史入門	2		講義	1		
	経営戦略論入門	2		講義	1		
	経営哲学入門	2		講義	1		
	金融概論	2		講義	1		
証券市場論入門	2		講義	1			
専門発展科目	イノベーション・マネジメント	2		講義	3	GL選択必修	
	財務会計	2		講義	2		
	管理会計	2		講義	2		
	経営管理	2		講義	2		
	ビジネス・エコノミクス	2		講義	2		
	(新設)	(新設)	(新設)	(新設)			

経営組織論 I	2	講義	3	8 単位選択必修
経営組織論 II	2	講義	3	
経営戦略論	2	講義	3	(削除)
リーダーシップ論	2	講義	2	(削除)
生産システム論	2	講義	3	
人的資源管理論	2	講義	3	(削除)
知的所有権	2	講義	3	
税法概論	2	講義	3	(削除)
マーケティング戦略論	2	講義	3	
(削除)	(削除)	(削除)	(削除)	(削除)
(削除)	(削除)	(削除)	(削除)	
消費者行動論	2	講義	3	マーケティング系から
商業学	2	講義	3	
広告論	2	講義	2	6 単位選択必修
サービス・マーケティング	2	講義	3	
製品戦略論	2	講義	3	(削除)
地域マーケティング論	2	講義	3	
市場情報分析	2	講義	3	(削除)
(削除)	(削除)	(削除)	(削除)	
イノベーション・マネジメント	2	講義	3	(削除)
財務会計	2	講義	2	
管理会計	2	講義	3	経営情報系から
経営分析	2	講義	3	
原価計算	2	講義	2	8 単位選択必修
上級簿記 I	2	講義	3	
上級簿記 II	2	講義	3	(削除)
ミクロ経済学	2	講義	3	
マクロ経済学	2	講義	3	(削除)
ビジネス・エコノミクス	2	講義	2	
法と経済	2	講義	3	(削除)
経済統計分析	2	講義	3	
金融政策論	2	講義	3	(削除)
価値開発工学論	2	講義	3	
ビジネス・プランニング	2	講義	3	(削除)
アジア企業論	2	講義	3	
アジアの農業と経済	2	講義	3	(削除)
(削除)	(削除)	(削除)	(削除)	
第 6 次産業論	2	講義	3	(削除)
(削除)	(削除)	(削除)	(削除)	
(削除)	(削除)	(削除)	(削除)	グローバル系から
農業経済学	2	講義	3	
サービスデザイン	2	講義	3	8 単位選択必修
観光マネジメント	2	講義	3	
中小企業論	2	講義	3	(削除)
岡山経済論	2	講義	2	
岡山産業論	2	講義	2	(削除)
Introduction to Management	2	講義	2	
Advanced Management	2	講義	3	(削除)
フィールド調査論 I	2	演習	3	
(削除)	(削除)	(削除)	(削除)	(削除)
フィールド調査論 II	2	演習	3	

サービス・マーケティング	2	講義	3	G L 選択必修
企業倫理	2	講義	2	
マーケティング・コミュニケーション	2	講義	2	G L 選択必修
リーダーシップ論	2	講義	2	
アジアの農業と経済	2	講義	3	G L 選択必修
(新設)	(新設)	(新設)	(新設)	
価値開発工学論	2	講義	3	G L 選択必修
企業と社会	2	講義	2	
企業論	2	講義	2	G L 選択必修
技術戦略論	2	講義	3	
協同組合論	2	講義	3	G L 選択必修
経営戦略論	2	講義	3	
経営組織論 I	2	講義	3	G L 選択必修
経営組織論 II	2	講義	3	
経済史	2	講義	3	G L 選択必修
経済統計分析	2	講義	3	
サービス人材論	2	講義	3	G L 選択必修
企業財務分析論	2	講義	3	
国際会計学	2	講義	3	G L 選択必修
原価計算	2	講義	3	
市場情報分析	2	講義	3	G L 選択必修
商業学	2	講義	3	
消費者行動論	2	講義	3	G L 選択必修
新製品開発論	2	講義	3	
(新設)	(新設)	(新設)	(新設)	G L 選択必修
(新設)	(新設)	(新設)	(新設)	
生産システム論	2	講義	3	G L 選択必修
地域マーケティング論	2	講義	3	
中国企業論	2	講義	3	G L 選択必修
中小企業論	2	講義	3	
特別講義 I	2	講義	2	G L 選択必修
特別講義 II	2	講義	3	
農業経営論	2	講義	3	G L 選択必修
農業経済学	2	講義	3	
フィールド調査論 I	2	演習	3	G L 選択必修
フィールド調査論 II	2	演習	3	
ビジネス・シミュレーション	2	講義	3	G L 選択必修
ビジネス・プランニング	2	講義	3	
ブランド戦略論	2	講義	3	G L 選択必修
プロジェクト・マネジメント	2	講義	3	
マーケティング戦略論	2	講義	3	G L 選択必修
マクロ経済学	2	講義	3	
ミクロ経済学	2	講義	3	G L 選択必修
観光マネジメント	2	講義	3	
(新設)	(新設)	(新設)	(新設)	G L 選択必修
(新設)	(新設)	(新設)	(新設)	
(新設)	(新設)	(新設)	(新設)	G L 選択必修
(新設)	(新設)	(新設)	(新設)	
税法概論	2	講義	3	G L 選択必修
E U 経済論	2	講義	3	
知的所有権	2	講義	3	G L 選択必修



特別講義 I		2	講義	2	
特別講義 II		2	講義	3	
導入ゼミナール I	2		演習	1	
導入ゼミナール II	2		演習	1	
専門ゼミナール I	2		演習	2	
専門ゼミナール II		2	演習	2	地域経営・経営実践必修
専門ゼミナール III	2		演習	3	
専門ゼミナール IV	2		演習	3	
専門ゼミナール V	2		演習	4	
専門ゼミナール VI	2		演習	4	
留学プログラム		8	実習	2	国際経営必修
長期インターンシップ		8	実習	2	地域経営必修
PBL実習 1		2	実習	2	経営実践必修
PBL実習 2		2	実習	2	経営実践必修
PBL実習 3		2	実習	2	経営実践必修
PBL実習 4		2	実習	2	経営実践必修
卒業研究	4		演習	4	
合計	34	156			

(削除)

(削除)

(削除)

金融政策論		2	講義	3	
法と経済		2	講義	3	
導入ゼミナール I	2		演習	1	
導入ゼミナール II	2		演習	1	
専門ゼミナール I	2		演習	2	
専門ゼミナール II		2	演習	2	RB必修
専門ゼミナール III	2		演習	3	
専門ゼミナール IV	2		演習	3	
専門ゼミナール V	2		演習	4	
専門ゼミナール VI	2		演習	4	
留学プログラム		8	実習	2	GB必修
長期インターンシップ		8	実習	2	RB必修
(新設)		(新設)	(新設)	(新設)	(新設)
(新設)		(新設)	(新設)	(新設)	(新設)
(新設)		(新設)	(新設)	(新設)	(新設)
(新設)		(新設)	(新設)	(新設)	(新設)
卒業研究	4		演習	4	
合計	34	144			

※GB必修:グローバル・ビジネス・マネジメントコース必修

※RB必修:リージョナル・ビジネス・マネジメントコース必修

※GL選択必修:グローバル専門発展科目 10単位以上選択必修

学則の  
変更の趣旨等を記載した書類

## 目次

1. 学則変更（収容定員変更）の内容 .....	2
2. 学則変更（収容定員変更）の必要性 .....	2
(1) 就実大学の沿革 .....	2
(2) 学則変更（収容定員変更）を必要とする理由 .....	2
3. 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容 .....	5
(1) 教育課程の変更内容 .....	5
① 経営学部経営学科の人材育成及びその他の教育研究上の目的 .....	5
② 教育課程等の概要 .....	6
(2) 教育方法及び履修指導方法の変更内容 .....	9
(3) 教員組織の変更内容 .....	11
(4) 大学全体の施設・設備の変更内容 .....	11
① 校地・運動場 .....	11
② 施設・設備 .....	12

## 学則の変更の趣旨等を記載した書類

### 1. 学則変更（収容定員変更）の内容

就実大学（以下「本学」という。）は、経営学部経営学科において、令和5(2023)年度より、入学定員及び収容定員を以下のとおり変更する【表1】。

【表1 入学定員及び収容定員変更の新旧対照表】

(単位：人)

学部	学科	開設前年度 (令和4(2022)年度)		開設年度 (令和5(2023)年度) (予定)	
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
経営学部	経営学科	100名	400名	160名	640名

### 2. 学則変更（収容定員変更）の必要性

#### (1) 就実大学の沿革

本学は、昭和54(1979)年に文学部(平成15年、人文科学部に名称変更)の単科大学として開学し、以来薬学部、教育学部及び経営学部を順次開設し、時代と地域の要請に応じて教育を充実させてきた。今日では、大学4学部、大学院3研究科、短大2学科の教学組織を構成し、2,843人(令和3(2021)年5月1日現在)の学生を擁する総合大学に発展している。

本学は令和6(2024)年の学園の創設120年を迎えるに当たって、中期計画「就実ビジョン120」を作成した。教育・研究・学生支援では、学生の主体的参加を促す授業方法やICTを活用した教育システムの導入、時代の変化に対応した教育改革、学生の学習成果の可視化、研究活動の活性化等、力強く社会を生き抜く人材の育成に取り組んでいる。また、社会貢献では子育て支援、防災支援、地域交流事業への参加や、公開講座等、教育研究成果を社会に還元し、地域から信頼される大学を目指す取り組みを行っている。

#### (2) 学則変更（収容定員変更）を必要とする理由

経営学部経営学科は昨今の進学需要や人材需要の動向を踏まえ、グローバルな視点を持ちつつ経営的能力である情報収集力、分析力、決断力をもった世界に通用する人材及び地域が求める人材の育成を目的とし入学定員80名、収容定員320名の規模で平成26(2014)年4月に開設した。

開設後は、既設学部における教育プログラムの改革・改善や、入試改革などの取り組みの成果もあって、入試における一定の入学志願者数を維持してきた。過去5年間の入試における全学部の総志願倍率【資料1】を比較しても、全学平均で平成29(2017)年度が5.15倍、平成30(2018)年度が5.47倍、令和元(2019)年度が6.36倍、令和2(2020)年度が6.07倍、令和3(2021)年度が5.44倍であり、5倍を超える高い競争倍率を維持している。

特に経営学部経営学科は高い志願倍率を保っていたため、令和2(2020)年度より収容定員の変更を行い経営学部の入学定員を80名から20名増やし100名とし、地元の岡山県を中心に地域社会からのニーズへの対応を図ってきた。経営学部の過去5年間の入試における志願倍率【資料1】を比較すると、平成29(2017)年度が8.01倍、平成30(2018)年度が9.26倍、令和元(2019)年度が9.78倍、令和2(2020)年度が6.85倍、令和3(2021)年度が6.42倍であり、収容定員変更後も依然として高校生からの進学需要は高い状態であるといえる。令和3(2021)年度において、入試区分ごとに経営学部の志願倍率【資料2】を比較すると、総合型選抜は8.33倍、学校推薦選抜は5.38倍(指定校推薦選抜、併設校選抜を含む)、一般選抜は6.79倍、共通テスト利用選抜は6.38倍であり、どの入試区分においても倍率は5倍以上で多様な高校生からの進学需要があるといえる。また、令和元(2019)年度より学生の定員管理を厳格化し、入学定員での学生受け入れを実施してきた。その結果、合格者数を抑えたため本学の入試が難化し、進学需要への対応が十分ではなくなっている。そのことは株式会社進研アドの過去5年分の本学経営学部のB判定値【資料3】を比較しても、平成29(2017)年度が偏差値50、平成30(2018)年度が偏差値53、令和元(2019)年度が偏差値57、令和2(2020)年度が偏差値57、令和3(2021)年度が偏差値60であり、5年間で10ポイント上昇したことから見て取れる。

以上のことから、高校生の進学需要について本学経営学部経営学科は十分にあると認識している。

次に、本学経営学部経営学科で育成する人材が地域社会から期待されているのかを確認するため、株式会社進研アドを通じて、岡山県、広島県、香川県を中心に本学学生の採用実績がある企業や卒業生就職先として想定される企業の人事関連業務に携わっている人を対象に採用意向のアンケート調査を行った。アンケート調査の概要は次のとおりである。

調査対象	企業の採用担当者	
調査エリア	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県	
調査方法	郵送調査	
調査対象数	依頼数	1,100 企業
	回収数 (回収率)	457 企業(41.5%)
調査時期	2021年11月26日(金)～2021年12月20日(月)	
回答方法	添付の資料を読み、調査票に記入し回答	
調査実施機関	株式会社 進研アド	

各調査の項目【資料4】について確認していくと、回答者の人事採用への関与度を聴取する項目では「採用の決裁権があり、選考にかかわっている」の割合は26.0%、「採用の決裁権はないが、選考にかかわっている」の割合は65.0%と、採用や選考にかかわる人事担当者からの意見を聴取できていると考えられる。採用したい学問分野を複数回答で聴取する項目では、「学んだ学問分野にはこだわらない」の割合が51.9%で最も高い。次いで、本学経営学部経営学科の学びに関連のある「経済・経営・商学」の割合が34.1%だった。

経営学部経営学科の3つの特色に対する魅力を聴取する項目では、「とても魅力を感じる、ある程度魅力を感じる」と回答した割合(以下、魅力度)がすべての項目に置いて8割を超えている。最も魅力度が高いのは、「B. 1年次からスタートする4年間の徹底した少人数ゼミナール制で、学びの基礎から経営学の専門分野、プレゼンテーションやディスカッションの作法まで丁寧に学ぶ」の割合が95.2%である。次に魅力度が高いのは、「C. 統計学などを用いて、調査分析手法からさまざまなデータを用いた課題解決までを実践的に学ぶデータサイエンス教育を受けられる」の割合が92.3%、さらに「A. 2年次から3つのコースに分かれて学び、2年次後期には各コース独自のカリキュラム(国際経営コース:長期留学・国際インターンシップ、地域経営コース:長期インターンシップ、課題解決コース:PBLプログラム\*)がある\*PBLプログラム:学生がゼミ活動を通じて、自主的に協働し課題解決に取り組み、実用的な能力を

高めるプログラム」の割合が 89.3%と続く。このことから本学経営学部経営学科の卒業生の就職先と想定される企業における、「経済・経営・商学」の学問系統の需要が十分にあり、本学経営学部経営学科の魅力度は高いことが分かる。

本学経営学部経営学科の社会的必要性を聴取する項目では、94.7%（457 企業中、433 企業）が「必要だと思う」と回答しており、多くの企業からこれからの社会にとって必要な学部・学科であると評価されていることがうかがえる。本学経営学部経営学科の卒業生を採用したいか聴取する項目では 88.6%（457 企業中、405 企業）が卒業生を「採用したいと思う」と回答していた。さらに本学経営学部経営学科の卒業生の採用を毎年何名程度想定しているか聴取する項目では、採用想定人数の合計が 590 名で、予定している入学定員数 160 名を 3 倍以上上回っていた。このことから、本学経営学部経営学科は地域社会からの期待も十分に高く、安定した人材需要があることが確認できた。

なお、コース名称については、後述する定員充足の根拠となる客観的なデータの岡山県・香川県・広島県の高等学校 2 年生に対する進学意向調査結果本学経営学部経営学科に受験意向かつ入学意向がある者の、最も興味のあるコースの割合が「国際経営コース」が 41.4%、「地域経営コース」が 39.4%、「課題解決コース」が 15.7%であったため、「課題解決コース」という名称では志願者に魅力が伝わりにくいと判断し、学内で検討の結果、アンケート実施時は「課題解決コース」という名称であったが「経営実践コース」へ名称を変更した。教育課程等はアンケート調査実施時から変更しない。

以上のことから、安定的な志願者数と入学者数を確保している経営学部経営学科において、地域社会からの期待にさらに対応するために入学定員を 100 名から 60 名増員し 160 名にすることとした。

### 3. 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

#### (1) 教育課程の変更内容

##### ① 経営学部経営学科の人材育成及びその他の教育研究上の目的

経営学部経営学科では「グローバルに物事を考えながら、地域の社会や経済の発展に貢献できるグローバル人材を育成する」という教育理念を実現するために、世界の多様な現実についての知識と理解に基づいたグローバルな視野を持ち、地域への関心や諸課題に立ち向かうチャレンジ精神と、経営学の専門知識・技能を身につけた人材を育成することとしている。今回の定員変更において、この人材育成及びその他教育研究上の目的の変更は行わない。

教育課程についても変更は行わず、履修上の充実を行うこととしている。この人材育成目標に向け、別記様式第2号（その2の1）「教育課程等の概要」で示すとおり、「総合教養教育科目」78科目、「外国語教育科目」36科目、「専門基礎科目」20科目、「専門発展科目、長期実習、卒業研究」68科目からなり、卒業要件単位は「総合教養教育科目」20単位、「外国語教育科目」8単位、「専門教育科目」82単位及びその他科目から「自由選択科目」14単位の合計124単位を履修することとしている。

今回の定員変更に伴い、経営学部経営学科では現状の履修モデルを2コース制から新たに1コース加えた① 国際経営コース、② 地域経営コース、③ 経営実践コースからなる3コース制に変更をすることで学生の希望と社会要請に応えられるよう充実した教育内容を提供する。① 国際経営コースでは、グローバルな視野と経営学の知識・技能をあわせ持ち、外国語での実践的なコミュニケーション能力を駆使して海外との取引や交渉にあたるなど、企業の中核でグローバル戦略や海外展開を担えるグローバルな人材育成を目的とする。② 地域経営コースでは地域からの視点に経営学の知識・技能を融合させ、多面的な視野からローカルなニーズや課題に取り組み、地域企業や行政、NPOやNGO、医療・福祉機関などの幅広い分野で中核的役割を担えるグローバルな人材育成を目的とする。③ 経営実践コースではグローバルな視野を持ち、調査分析手法やマネジメント、データサイエンスの知識を駆使して地域企業や行政、NPOやNGO、医療・福祉機関などの幅広い分野においてデータに基づいた課題解決のための立案が行えるグローバルな人材育成を目的とする。

「総合教養教育科目」は、グローバル社会で活躍できるよう学問の裾野を広げ、様々な角度から物事を見ることのできる能力、自主的、総合的に考え的確に判断する論理的思考力と問題解決力並びに豊かな人間性を養い、自分の知識や人生を社会との関係で位置づけることのできる人材を育てることを目標とし、初年次教育科目、人文科学系科目、社会科学系科目、自然科学系科目、健康・スポーツ科目、情報科目、語学・グローバル科目、学際領域科目、導入科目・技能科目・その他に分類している。各科目においてラーニングアウトカムズを設定しており、① 異文化・多文化への理解、② 幅広い教養的知識、③ コミュニケーション・スキル、④ 情報リテラシー、⑤ 論理的思考力、⑥ 問題解決力、⑦ 自己管理能力、⑧ チームワーク・リーダーシップ、⑨ 倫理観、⑩ 市民としての社会的責任、⑪ 生涯学習力の11項目がどの科目に対応しているかをカリキュラムマップとして公開している。

## ② 教育課程等の概要

「総合教養教育科目」を構成する学問分野ごとの授業科目数と単位数は、初年次教育科目に3科目4単位、人文科学系科目に18科目36単位、社会科学系科目に12



科目 24 単位、自然科学系科目に 11 科目 22 単位、健康・スポーツ科目に 8 科目 12 単位、情報科目に 6 科目 11 単位、語学・グローバル科目に 2 科目 4 単位、学際領域科目に 2 科目 4 単位、導入科目・技能科目・その他に 16 科目 24 単位としており、総合教養科目全体として 78 科目 141 単位を配置している。

「外国語教育科目」における科目ごとの授業科目数と単位数は、英語の科目を 12 科目 12 単位、中国語の科目を 8 科目 8 単位、ドイツ語の科目を 4 科目 4 単位、フランス語の科目を 4 科目 4 単位、ハンガルの科目を 4 科目 4 単位、日本語の科目を 4 科目 4 単位としており、外国語科目全体として 36 科目 36 単位を配置している。

「専門基礎科目」、「専門発展科目」では、専門的な知識に加え①問題発見・認識力②知識・理解力③分析・判断力④実行・コミュニケーション力の養成も目標としており、ビジネスで必要な PDCA サイクル (Plan:学ぶ/Do:実践/Check:フィードバック/Act:改善) を実践しながら専門科目を体系的に学べるよう科目の配置をしている。特色の 1 つである 2 年次後期のカリキュラム、長期留学・長期インターンシップ・PBL 実習に向けて、初年次からゼミナール科目を配置し丁寧なサポートをしている。「専門基礎科目」における科目ごとの授業科目数と単位数は、必修 8 科目 16 単位、選択 12 科目 24 単位としており、「専門基礎科目」全体として 20 科目 40 単位を配置している。「専門発展科目」は①マネジメント系②マーケティング系③経営情報系④グローバル系の 4 系統に分類しており、各コースの履修モデルを公開している。「専門発展科目」は、履修上の充実を行うために科目を新設する予定である。新設予定の科目は、岡山経済論、岡山産業論、Introduction to Management、Advanced Management、中級簿記Ⅱ、上級簿記Ⅰ、上級簿記Ⅱ、日本経営史、人的資源管理論、PBL 実習 1-4 である。

岡山経済論は、岡山県を始め中国地方の経済動向に関する知識及びマクロ経済理論を修得することにより、PBL 型学習をより有効なものにすることを一つの目的として設置するものである。この科目の修得により、岡山県統計年報や農林水産統計年報などの県統計データを活用しながら、地域経済の実態とそこに内在する諸課題を把握・理解することができるようにする。

岡山産業論は、岡山県を始め中国地方の個別産業史に焦点を当て、その産業の歴史と現状に関する知識及び産業政策論を修得することを意図して設置するものである。これにより、PBL 型学習をより有効なものにすることを目的の一つとしている。この科目の修得により、繊維産業を始め岡山県固有の産業動向やその経路依存性を把握し、その実態と諸課題を把握・理解することができるようにする。

Introduction to Management は国際経営コースを選択する学生を主たる受講者と

して想定し、留学前の英語教育をさらに充実させる目的で設置する科目である。授業は英語で行う。この科目の修得により、企業経営や国際ビジネスに関する基本的な概念や理論を英語を通して理解するとともに、留学校での専門科目の授業がより容易に理解できるようにする。

Advanced Management は国際経営コースを選択する学生を主たる受講者として想定し、留学後の英語教育をさらに充実させる目的で設置する科目である。授業は英語で行う。この科目の修得により、企業経営や国際ビジネスに関する専門的な概念や理論を英語を通して理解するとともに、ビジネスを取り巻く環境を分析し英語を活用したプレゼンテーション等ができるようにする。

中級簿記Ⅱは初級簿記・中級簿記Ⅰに続く簿記会計科目であり、主として日商簿記検定試験2級に合格できるだけの力を身に付けることを目標とする。日商簿記検定試験区分の幅の広がりや試験の難化を受け、現在の中級簿記という科目だけでは、試験範囲の全ての範囲をカバーすることが難しいため、講義科目を改変・新設する。

上級簿記Ⅰ・上級簿記Ⅱは初級簿記・中級簿記Ⅰに続く簿記会計科目であり、日商簿記検定1級に合格できるだけの力を身に付けることを目標とする。特に商業高校出身の学生にとっては、中級簿記までは商業高校において学習してきた内容であり、それ以上の簿記会計知識を身につけたいという一定のニーズが存在している。そこで、上級簿記Ⅰ・上級簿記Ⅱを開講し、初級簿記・中級簿記といった関連科目と連続した教育体系を構築することで、将来会計専門職として活躍する人材の育成を目指す。

日本経営史は外国経営史と併せて設置し、マネジメント系科目のさらなる充実を図る目的で設置する。アメリカやイギリスを始めとする諸外国の経営史だけではなく、日本の近代以降の経営史、さらには岡山を始めとする中国地方における経営史・産業史に関する知識を修得することにより、地域経済や企業の歴史と現状をより深く理解することができるようにする。

人的資源管理論は多くの経営学系の学部で設置されている標準的な科目であり、マネジメント系科目の教育内容のさらなる充実を図る目的で設置する。この科目の修得により、企業組織における経営資源としてのヒトの管理や評価、育成に関する実態と理論を理解することができるようにする。

PBL 実習 1-4 は、経営実践コースを選択する学生を受講者として想定し、プロジェクト課題の設定から課題解決までの一連のプロセスを実行できる人材、すなわちデータ分析に基づき課題解決のための立案を担う人材の育成を目的として設置する。その際、まずデータサイエンス実習、経営分析、ロジカルトレーニング等を通

して、課題解決のために必要となる基本的なデータ分析の作法や手法を学ぶ。さらに提携企業や団体からの課題提示を受け、これに関する現状分析・調査を実施し、その結果を分析するとともに、成果としての解決案を報告書として作成する。

## (2) 教育方法及び履修指導方法の変更内容

経営学部経営学科では、3つのコースがそれぞれ目指す人材を養成するために、体系的なカリキュラムを整備する。学生の体系的な知識の獲得を促すために、教育方法は(1)講義、(2)演習、(3)長期実習(長期インターンシップ・留学プログラム・課題解決型学習:PBL実習)、という3つのタイプの授業を配置し、学年に合わせた授業内容で進めていく。(1)講義は「総合教養教育科目」と「外国語教育科目」、「専門基礎科目」、「専門発展科目」の4つに分類され、(2)演習は、1年次の「導入ゼミナール」と2年次以降の「専門ゼミナール」の2つに分類される。2年次後期に行われる(3)長期実習はコースによって、既存の国際経営コース(留学プログラム)及び地域経営コース(長期インターンシップ)、新設の経営実践コース(PBL実習)の3つに分類される。

設定基準に関しては、(1)講義、(2)演習、(3)長期実習の3つのタイプの授業において、ある事象や理論の意味内容の理解、学説の理解を主たる目的とする教育内容は、(1)講義による授業形態を採用する。また、修得した知識や技能に基づき実践に応用する能力・自ら課題を発見し解決策を導出する能力の修得を主たる目的とする教育内容は、(2)演習及び(3)長期実習による授業形態を採用する。

各科目の配当年次について、1年次では、経営学に関する幅広い知識の修得を目的として基礎的な科目を配置し、年次を増すごとに高い専門性の養成を目的とした科目を配置するなど、4年次の卒業研究に至るまで段階的かつ体系的な学修が可能になるように教育課程を構成している。必修科目として「経営学入門」「会計学入門」「データサイエンス入門」「経済学入門」などをはじめ、経営学を深く理解するために必要な知識を修得するための科目が配置されている。また、選択必修科目として「国際ビジネス入門」「商業学入門」「金融概論」「経営戦略論入門」「初級簿記」など、3年次以降の学び(専門発展科目)に必要な入門科目を配置している。なお、経営学部では、必修科目と選択必修科目を「専門基礎科目」と位置づけ、経営学に関する幅広い知識の修得を目的とした教育課程を構成している。

2年次では、3つのコース(①国際経営コース、②地域経営コース、③経営実践コース)に分かれて、それぞれのコースに特化した学びを深めていく。いずれのコースも、後期に配当されている「長期実習」を必修とし、①国際経営コースは「留学プログラ

ム)、②地域経営コースは「長期インターンシップ」、③経営実践コースは「PBL 実習」を通じ、理論と実践の両面の学びを深めていく。なお、新設予定の経営実践コースにおいては、「PBL 実習」の完遂に求められるスキルや能力を養うために、データサイエンス、ロジカルシンキング、ファイナンスなどを学ぶ演習科目を配置している。

1年次における「専門基礎科目」を通じた学び（理論）と、2年次における実習を通じた学び（実践）を踏まえ、3年次からはより高い専門性の養成を目的とした科目（専門発展科目）が配置されている。「専門発展科目」の中には、2年次から履修が可能な科目も含まれているが、多くは3・4年次配当となっている。また、専門教育においては各分野の教育内容ごとに、知識・技能・応用といった授業の内容と科目間の関係と履修の順序に留意しつつ、単位制度の4年間における制度設計の観点を踏まえて、特定の学年や学期において偏りのある履修登録がなされないように教育課程を構成している。

経営学部経営学科では各科目の授業において、専門的な知識の修得だけでなく、主体性を持って経営学的課題に取り組む能力、自らの考えをまとめて表現する能力など、社会で求められる実践的な能力の育成に努めている。そのため開設する授業においては、講義形式のものだけでなく、グループワーク、グループディスカッションなどの教授方法を採用することによって能動的学修が可能になるような形式の授業を開講している。さらに、前述の通り1年次から少人数体制のゼミナール制度を設け、2年次後期の3コースから成る長期実習や3年次以降の専門ゼミナールでは、学生と教員の双方向性を考慮し1クラス10名以下の学生数に設定し、経営学分野で必要な課題解決型学修や学生の主体的な課題学修が可能となるような体制を整えている。

授業内容に応じた学生数の設定は、授業内容や授業の方法、設備の状況など教育上の諸条件を考慮し、収容定員の増加前と比較して同等以上の内容が担保されるよう設定している。「専門基礎科目」及び「専門発展科目」は、特定の学年や学期において偏りのある履修登録がなされないような教育課程の構成をおこなうことで、特定の科目に履修者が集中しないよう配慮し、また、外国語科目などはクラス増により収容定員の増加前の水準（1クラス40名程度）を維持する予定である。さらに、ゼミナール（1年次の導入ゼミナール及び2年次以降の専門ゼミナール）では、少人数教育（1ゼミあたり学生8名～10名程度）における教育効果を保持すべく、専門の専任教員を19名で構成する計画である。

履修指導方法は大幅な変更を予定しておらず、従来以上の指導体制の充実に努めることとする。学期ごとに学年別の履修ガイダンスを実施し、学部の目指す人材育成の目標や、経営学部3つのポリシー（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、

アドミッション・ポリシー) に対する理解を促すとともに、各学年で修得すべき単位数及び科目を指示するなど、4 年間での体系的な学修が可能になるような科目履修が可能となるような指導を行っている。また、履修登録の事前段階においては、各ゼミ担当の教員が履修登録表を確認し適宜適切なアドバイスをすることによって、個別の履修指導も併せて実施している。また、単位制度の実質化の観点を踏まえたうえで、卒業要件は 124 単位以上としているが CAP 制として学生が年間に履修できる単位数の上限を 48 単位としている。

学生の学習意欲の向上、担任教員や科目担当教員の適切な支援・指導のために GPA 制度も導入し成績評価を行っており、教育の質の担保は図られている。

以上により、収容定員の増加に対して、変更前の内容と比較して同等以上の内容が担保されている。今後とも必要に応じて教育方法及び履修指導方法はよりよい制度の整備を目指す。

### (3) 教員組織の変更内容

経営学部経営学科では、入学定員の増加に対し、専門の専任教員 19 名で構成する計画である。大学設置基準上必要とされている専門の専任 14 名はすでに充たしている【資料 5】。

また、収容定員増加時における職位別の配置状況として計画では教授 8 名、准教授 5 名、講師 6 名とし、教育研究水準の維持向上や教育研究の活性化に支障がないように配慮した教員組織を計画している。

経営学部経営学科の教員補充が計画通りに進行した場合は、令和 8(2026)年の大学全体の教員数は 133 名で ST 比は約 20.7、経営学部で見ると教員は 19 名となり、ST 比は約 33.7 となる【資料 6】。本学の ST 比の妥当性を検討するために近隣の競合校のデータを確認することとした。競合校は本学の経営学部と併願されることが多く、規模も近い大学を岡山県、広島県から 6 校選んだ。令和 3(2021)年度の競合校の ST 比と比較すると、6 校の大学全体平均値約 24.8、6 校の経営系学部平均値約 35.1 に対して本学の ST 比は高くない数値であるため ST 比の面からも適正と考える【資料 7】。

以上より、「専門教育科目」におけるクラス数の増設及び履修科目増設に対応する専任教員を増員しており、教員組織にあっては、変更前の内容と比較して、同等以上の内容を担保している。

### (4) 大学全体の施設・設備の変更内容

#### ① 校地・運動場

本学の西川原キャンパス（岡山県岡山市中区西川原）は、JR 岡山駅の北東 2km、岡山後楽園から旭川沿い北 1km に位置し、岡山駅から 1 駅にある最寄り駅の JR「西川原・就実」駅からは徒歩 1 分という場所にある。「西川原・就実駅」から大学の正

面玄関へ続くプロムナードが令和3(2021)年1月に完成し、利便性がアップした。

校地面積は、短期大学との共用部分も含めて40,089.42㎡を有しており、学内の中心地に位置するスクエアコモンズを中心に、学生の休息できる場所が多く確保され大学教育にふさわしい環境を整えている。基準校地面積は大学・短大合計で30,980㎡に対し基準を満たしている。【資料8】

運動場は、西川原キャンパスから300mほどのところに位置するサブグラウンド(4,474.87㎡)と、2kmのところに位置する祇園グラウンドがあり、サブグラウンドは、主に授業で使用し、照明設備を完備した野球場、多目的に使用できる人工芝の陸上競技場、3面のテニスコートを整備している祇園グラウンド(47,011.81㎡)は、主に課外活動に利用している。

## ② 施設・設備

本学では、平成27(2015)年8月から3期に分けて耐震改築を行い令和3(2021)年1月にすべて完了し12棟の校舎となった。平成25年度改築前33,028㎡であった校舎面積は、これからの大学の新しい展開を視野に、講義室の拡張・充実を行い、50,561.93㎡とした。各サイズ(大・中・小)の教室には、一部のセミナー室を除き、プロジェクター、書画カメラ(OHC)、DVD再生装置等を設置しており、大・中教室には大型のスクリーンや視聴覚設備、学生証ICカードによる出席管理システムを配備している。大学・短大合計の基準校舎面積は21,914.5㎡であるため、基準を大きく上回っている。

学内のネットワークは、S館3Fにあるサーバー室を中心に学内全域で、Wi-Fiが利用できるネットワーク環境を整備し、学生や教職員は情報教室(8室、総面積1,309.39㎡)のパソコン429台を設置している。

学生の学修・協働・発信・交流スペースとしては、学内の各所にコモンズを配備し、3期に完成したA館には、ひかりてらす、情報ラウンジ、学習室等、学生が思い思いに活用できる場が充実している。

また、本学の図書館では、これまで図書等の資料を、計画的かつ継続的な整備に努めてきており専門図書、学術雑誌等を含め約370,400冊の整備がなされている。これらを有効的に利用することにより、教育に支障をきたすことはないと考えている。

12棟の校舎、図書館以外に、学生食堂を設けた学生会館(3,624㎡)、トレーニングルームが充実した体育館(2,820.41㎡)を整備し、学生の福利厚生・環境整備の充実に努めている。

昨今の新型コロナウイルス感染拡大防止のための活動制限指針を定め、教室のCO2測定を基に換気機能の強化し、教室の環境整備に努めている。

これらのことから、収容定員を変更した場合でも、教育・研究上の支障はないものと考えているが、今後とも必要に応じて施設・設備の継続的な整備と充実に努める。

教育課程等の概要																
(経営学部経営学科) 国際経営コース、地域経営コース、課題解決コース																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
総合教養教育科目	スタートアップ就実	1前		2		○								兼2	1年次必修、オムニバス	
	数理・データサイエンス基礎	1前	1			○								兼2		
	情報リテラシー	1後	1			○								兼2		
	現代都市の魅力診断	1前		2		○								兼1		
	自然地理学	1後		2		○								兼1		
	人類学の世界と歴史	1前		2		○								兼1		
	アジアの民族誌	1後		2		○								兼1		
	心理学1	1前		2		○								兼1		
	心理学2	1後		2		○								兼1		
	現代の哲学と思想	1後		2		○								兼2		オムニバス
	現代の倫理	1前		2		○								兼1		
	日本文化論1	1前		2		○								兼1		
	日本文化論2	1後		2		○								兼1		
	女性の生活と歴史	1前		2		○								兼1		
	現代の女性環境	1後		2		○								兼1		
	漢詩文の表現と心	1前		2		○								兼1		
	漢詩文の表現と思想	1後		2		○								兼1		
	ポピュラー音楽の歴史	1前		2		○								兼1		
	世界の文学	1後		2		○								兼3		隔年、オムニバス
	20世紀史	1後		2		○								兼3		隔年、オムニバス
	ことばの科学	1後		2		○								兼1		
	キャリアデザイン論	1後		2		○								兼1		
	人権の現代的課題	1後		2		○								兼1		
	法学	1後		2		○								兼1		
	日本国憲法	1前		2		○								兼1		
	社会学の世界と歴史	1前		2		○								兼1		
	社会学概論	1後		2		○								兼1		
	基礎経営論	1前		2		○					1			兼1		隔年
	基礎経済学	1前		2		○				1				兼1		隔年
	経済学概論	1前		2		○				1				兼1		隔年
	労働と社会	1後		2		○								兼1		
	政治学概論	1前		2		○								兼1		
	現代教育の諸問題	1前		2		○								兼1		
	健康と衛生	1前		2		○								兼3		オムニバス
	健康と栄養	1後		2		○								兼3		オムニバス
	環境と地球	1前		2		○								兼3		オムニバス
	環境と生命	1後		2		○								兼2		オムニバス
	化学の世界と歴史	1前		2		○								兼2		オムニバス
	現代生活と化学	1後		2		○								兼1		
	からだの構造と機能	1前		2		○								兼3		オムニバス
	からだの化学と生物学	1後		2		○								兼2		
	生命機能のプログラム	1前		2		○								兼1		
	地球と宇宙のサイエンス	1前		2		○								兼2		オムニバス
日本伝統の折紙の科学	1後		2		○								兼1			
身体運動と健康の科学	1前		2		○								兼1			
健康・スポーツと社会	1後		2		○								兼1			
スポーツ1	1前		1			○							兼2			
スポーツ2	1後		1			○							兼2			
スポーツ3	1前		1			○							兼2			
スポーツ4	1後		1			○							兼2			
こころの健康科学	1後		2		○								兼1			
現代人とこころの障害	1後		2		○								兼1			
プログラミング入門	1前		1		○								兼1			
情報と表現	1後		2		○								兼1			





教育課程等の概要																
(経営学部経営学科) 国際経営コース、地域経営コース、課題解決コース																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
外国語教育科目	フランス語講読入門2	1後		1				○							兼2	外国人留学生・ 帰国子女適用、1 と2、3と4を隔 年
	ハンブル文法入門1	1前		1				○							兼2	
	ハンブル文法入門2	1後		1				○							兼2	
	ハンブル講読入門1	1前		1				○							兼1	
	ハンブル講読入門2	1後		1				○							兼2	
	日本語1	1前		1				○							兼1	
	日本語2	1後		1				○							兼1	
	日本語3	1前		1				○							兼1	
	日本語4	1後		1				○							兼1	
小計(36科目)		—	4	32	0			—	0	0	0	0	0	0	兼14	
専門教育科目	データサイエンス入門	1前	2					○			1					隔年
	会計学入門	1前	2					○			1					
	マーケティング入門	1前	2					○			1					
	経営学入門	1前	2					○			1					
	マーケティングリサーチ入門	1後	2					○				1				
	経済学入門	1後	2					○			1					
	社会統計学	2前	2					○				1				
	思考・発想法入門	1前	2					○			1					
	初級簿記	1前	2					○					1			
	中級簿記Ⅰ	1前	2					○				1				
	中級簿記Ⅱ	1後	2					○				1				
	英文ビジネスプレゼンテーション入門	1前	2					○				1				
	国際ビジネス入門	1前	2					○					1			
	商業学入門	1後	2					○				1				
	農業経済学入門	1後	2					○			1					
	ホスピタリティ入門	1前	2					○			1					
	経済史入門	1後	2					○					1			
	経営戦略論入門	1前	2					○				1				
	経営哲学入門	1後	2					○					1			
	金融概論	1前	2					○							兼1	
証券市場論入門	1後	2					○							兼1		
企業倫理	2前	2					○					1			隔年	
コーポレートガバナンス論	2後	2					○					1				
経営管理	2前	2					○				1					
企業と社会	2前	2					○					1				
外国経営史	3前	2					○					1				
日本経営史	3後	2					○					1				
経営組織論Ⅰ	3前	2					○			1						
経営組織論Ⅱ	3前	2					○			1						
経営戦略論	3前	2					○					1				
リーダーシップ論	2前	2					○			1						
生産システム論	3前	2					○				1					
人的資源管理論	3前	2					○				1					
知的所有権	3前	2					○							兼9		
税法概論	3後	2					○							兼1		

教育課程等の概要															
(経営学部経営学科) 国際経営コース、地域経営コース、課題解決コース															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	専門発展科目(マーケティング系)	マーケティング戦略論	3前	2		○			1					兼1	
		消費者行動論	3前	2		○					1				
		商業学	3前	2		○				1					
		広告論	2前	2		○						1			
		サービス・マーケティング	3前	2		○			1						
		製品戦略論	3後	2		○					1				
		地域マーケティング論	3後	2		○			1						
		市場情報分析	3後	2		○			1						
		イノベーション・マネジメント	3後	2		○			1						
		専門発展科目(経営情報系)	財務会計	2前	2		○					1			
			管理会計	3前	2		○				1				隔年
			経営分析	3前	2		○					1			隔年
			原価計算	2前	2		○				1				
			上級簿記Ⅰ	3前	2		○					1			
			上級簿記Ⅱ	3後	2		○					1			
			ミクロ経済学	3前	2		○			1					
			マクロ経済学	3後	2		○			1					
			ビジネス・エコノミクス	2前	2		○				1				隔年
			法と経済	3後	2		○								兼1
			経済統計分析	3前	2		○								兼1
			金融政策論	3前	2		○								兼1
			価値開発工学論	3後	2		○			1					
			ビジネス・プランニング	3前	2		○			1					
		専門発展科目(グローバル系)	アジア企業論	3後	2		○					1			
			アジアの農業と経済	3後	2		○			1					隔年
			第6次産業論	3後	2		○			1					隔年
			農業経済学	3後	2		○			1					隔年
			サービスデザイン	3前	2		○			1					
			観光マネジメント	3後	2		○			1					隔年
			中小企業論	3後	2		○			1					
			岡山経済論	2前	2		○			1					
			岡山産業論	2後	2		○			1					
			Introduction to Management	2前	2		○			1					
		Advanced Management	3前	2		○			1						
		フィールド調査論Ⅰ	3前	2			○		2						
		フィールド調査論Ⅱ	3後	2			○		1						
		特別講義Ⅰ	2前	2		○				1	1			必修	
		特別講義Ⅱ	3前	2		○			1						
	専門ゼミ	導入ゼミナールⅠ	1前	2			○		8	5	6				
		導入ゼミナールⅡ	1後	2			○		8	5	6				
		専門ゼミナールⅠ	2前	2			○		8	5	6				
		専門ゼミナールⅡ	2後	2			○		8	5	6			地域経営・経営実践必修	
		専門ゼミナールⅢ	3前	2			○		8	5	6				
		専門ゼミナールⅣ	3後	2			○		8	5	6				
		専門ゼミナールⅤ	4前	2			○		8	5	6				
		専門ゼミナールⅥ	4後	2			○		8	5	6				
	長期実習	留学プログラム	2後	8			○		1	1				国際経営必修	
		長期インターンシップ	2後	8			○		4	2	4			地域経営必修	
		PBL実習1	2後	2			○		3	2	2			経営実践必修	
		PBL実習2	2後	2			○		3	2	2			経営実践必修	
		PBL実習3	2後	2			○		3	2	2			経営実践必修	
		PBL実習4	2後	2			○		3	2	2			経営実践必修	

教育課程等の概要														
(経営学部経営学科) 国際経営コース、地域経営コース、課題解決コース														
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
	卒業研究	4通	4					○	8	5	6			
	小計(88科目)	—	34	156	0			—	8	5	6	0	0	兼13
	合計(203科目)	—	40	327	0			—	8	5	6	0	0	兼91
学位又は称号		学士(経営学)		学位又は学科の分野				経済学関係						
卒業要件及び履修方法								授業期間等						
本学科を卒業するためには4年以上在学し、次に定める単位を含め124単位以上を修得すること。 総合教養養育科目から、必修2単位を含む20単位以上 外国語教育科目から、必修4単位を含む8単位以上(国際経営コースは12単位) 専門基礎科目から、必修16単位を含む24単位以上 専門発展科目・専門ゼミ・長期実習・卒業研究から、必修28単位(国際経営コースのみ26単位)を含む58単位以上 専門発展科目のうち、マネジメント系からは8単位、マーケティング系からは6単位 経営情報系からは8単位、グローバル系からは8単位以上を履修しなければならない。 (履修科目の登録の上限:48単位(年間))								1学年の学期区分		2学期				
								1学期の授業期間		15 週				
								1時限の授業時間		90 分				

## 目次

【資料1】就実大学の入学定員、志願者数等の推移(過去5か年) .....	2
【資料2】経営学部の入試区分ごとの入学定員、志願者数等の推移(過去5か年) .....	3
【資料3】株式会社進研アドの本学経営学部のB判定値 .....	4
【資料4】入学定員増に関するニーズ調査 結果報告書(企業対象調査) .....	5
【資料5】就実大学各学部学科の設置基準教員数.....	25
【資料6】本学における学生数とST比の推移(見込み) .....	26
【資料7】近隣の競合校の令和3年度ST比.....	27
【資料8】就実大学、就実短期大学の設置基準校地、校舎面積 .....	28

【資料1】就実大学の入学定員、志願者数等の推移(過去5か年)

		平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)
人文科学部	入学定員	225	225	225	235	235
	志願者数	865	1,029	1,226	1,273	1,078
	合格者数	541	618	491	559	620
	入学者数	277	293	227	227	231
	志願倍率	3.84	4.57	5.45	5.42	4.59
教育学部	入学定員	135	135	135	137	137
	志願者数	980	1022	1161	1132	990
	合格者数	380	411	391	441	402
	入学者数	146	159	138	159	138
	志願倍率	7.26	7.57	8.60	8.26	7.23
経営学部	入学定員	80	80	80	100	100
	志願者数	641	741	782	685	642
	合格者数	210	195	173	206	216
	入学者数	97	104	79	101	98
	志願倍率	8.01	9.26	9.78	6.85	6.42
薬学部	入学定員	120	120	120	100	100
	志願者数	400	273	394	383	400
	合格者数	326	213	323	328	332
	入学者数	94	63	94	83	82
	志願倍率	3.33	2.28	3.28	3.83	4.00
合計	入学定員	560	560	560	572	572
	志願者数	2,886	3,065	3,563	3,473	3,110
	合格者数	1,457	1,437	1,378	1,534	1,570
	県内高校3年生	16,986	17,334	17,041	16,568	-
	入学者数	614	619	538	570	549
	志願倍率	5.15	5.47	6.36	6.07	5.44

【資料2】経営学部の入試区分ごとの入学定員、志願者数等の推移(過去5か年)

< 経営学部 >

		平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)
総合型選抜 (A0入試)	募集定員	5	5	12	12	12
	志願者数	44	31	98	58	100
	合格者数	9	8	12	19	22
	入学者数	9	8	8	14	16
	志願倍率	8.80	6.20	8.17	4.83	8.33
学校推薦選抜 (推薦入試)	募集定員	34	34	27	37	37
	志願者数	202	178	202	193	199
	合格者数	78	82	57	87	90
	入学者数	53	66	47	59	60
	志願倍率	5.94	5.24	7.48	5.22	5.38
一般選抜 (一般入試)	募集定員	33	33	33	43	43
	志願者数	312	422	367	350	292
	合格者数	101	86	86	84	91
	入学者数	32	27	23	26	20
	志願倍率	9.45	12.79	11.12	8.14	6.79
共通テスト利用選抜 (センター試験利用入試)	募集定員	8	8	8	8	8
	志願者数	83	110	115	84	51
	合格者数	22	19	18	16	13
	入学者数	2	2	1	1	0
	志願倍率	10.38	13.75	14.38	10.50	6.38

# 【資料 3】 省略

---

## 1 (書類等の題名)

【資料 3】 株式会社進研アドの本学経営学部の B 判定値

## 2 (出典)

ベネッセホールディングス「進研模試合格可能性判定基準」

<https://manabi.benesse.ne.jp/daigaku/nyushi/hantei/2022/index.html>

## 3 (引用範囲)

平成 29 年度から令和 3 年度までの 6 月模試における本学の B 判定値

## 4 (その他の説明)

上記のデータを加工し、本学経営学部の情報のみを表にまとめた。

【資料4】入学定員増に関するニーズ調査 結果報告書（企業対象調査）

---

---

就実大学  
「経営学部 経営学科」  
入学定員増に関するニーズ調査  
結果報告書  
【企業対象調査】

---

---

令和4年2月  
株式会社 進研アド

© Shinken-Ad. Co., Ltd. All Rights Reserved.



# 企業対象 調査概要

## 1. 調査目的

2023年4月に入学定員増を構想中の就実大学「経営学部 経営学科」に関して、企業のニーズを把握する。

## 2. 調査概要

		企業対象調査
調査対象		企業の採用担当者
調査エリア		鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県
調査方法		郵送調査
調査対象数	依頼数	1,100企業
	回収数(回収率)	457企業(41.5%)
調査時期		2021年11月26日(金)～2021年12月20日(月)
調査実施機関		株式会社 進研アド

## 3. 調査項目

企業対象調査
<ul style="list-style-type: none"><li>・人事採用への関与度</li><li>・本社所在地</li><li>・業種</li><li>・従業員数</li><li>・正規社員の平均採用人数</li><li>・本年度の採用予定数</li><li>・採用したい学問分野</li><li>・就実大学「経営学部 経営学科」の特色に対する魅力度</li><li>・就実大学「経営学部 経営学科」の社会的必要性</li><li>・就実大学「経営学部 経営学科」卒業生に対する採用意向</li><li>・就実大学「経営学部 経営学科」卒業生の毎年の採用想定人数</li></ul>

## 企業対象 調査結果まとめ



## 企業対象 調査結果まとめ

### 回答企業(回答者)の属性

※本調査は、就実大学「経営学部 経営学科」に対する人材需要を確認するための調査として設計。就実大学「経営学部 経営学科」の卒業生就職先として想定される企業の人事関連業務に携わっている人を対象に調査を実施し、457企業から回答を得た。

- 回答者の人事採用への関与度を聞いたところ、「採用の決裁権があり、選考にかかわっている」人は26.0%、「採用の決裁権はないが、選考にかかわっている」人が65.0%と、採用や選考にかかわる人事担当者からの意見を聴取できていると考えられる。
- 回答企業の本社所在地は、就実大学の所在地である「岡山県」が63.5%を占め、最も多い。次いで「広島県」が14.9%、「香川県」が7.0%である。
- 回答企業の業種としては「卸売・小売業」が28.4%で最も多い。次いで「製造業」が23.9%、「サービス業」が9.6%である。
- 回答企業の従業員数(正規社員)は、「100名～500名未満」が48.6%で最も多い。次いで「50名～100名未満」が17.1%、「50名未満」が16.4%である。

### 回答企業の採用状況(過去3か年)／本年度の採用予定数／採用したい学問分野

- 回答企業の平均的な正規社員の採用人数は、「1名～5名未満」が36.3%で最も多い。次いで「5名～10名未満」が21.9%、「10名～20名未満」が19.7%である。毎年、正規社員を採用している企業がほとんどである。
- 回答企業の本年度の採用予定数は、「昨年度並み」が63.7%で最も多い。次いで「増やす」が19.3%、「未定」が10.7%である。未定も一定数あるものの、回答企業の多くで昨年と同等かそれ以上の採用が予定されている様子である。
- 回答企業の採用したい学問分野を複数回答で聴取したところ、「学んだ学問分野にはこだわらない」の割合が51.9%で最も高い。次いで「経営学部 経営学科」の学びに関連のある「経済・経営・商学」が34.1%である。さらに「工学」が24.3%と続く。

## 企業対象 調査結果まとめ

### 就実大学「経営学部 経営学科」の特色に対する魅力度

- 就実大学「経営学部 経営学科」の特色に対する魅力度(※)は、すべての項目で8割を超える。
- 最も魅力度が高いのは、「B. 1年次からスタートする4年間の徹底した少人数ゼミナール制で、学びの基礎から経営学の専門分野、プレゼンテーションやディスカッションの作法まで丁寧に学ぶ」(95.2%)である。

次に魅力度が高いのは、「C. 統計学などを用いて、調査分析手法からさまざまなデータを用いた課題解決までを実践的に学ぶデータサイエンス教育を受けられる」(92.3%)、さらに「A. 2年次から3つのコースに分かれて学び、2年次後期には各コース独自のカリキュラム(国際経営コース:長期留学・国際インターンシップ、地域経営コース:長期インターンシップ、課題解決コース:PBLプログラム\*)がある\*PBLプログラム:学生がゼミ活動を通じて、自主的に協働し課題解決に取り組み、実用的な能力を高めるプログラム」(89.3%)と続く。

※魅力度=「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した企業の合計値

## 企業対象 調査結果まとめ

### 就実大学「経営学部 経営学科」の社会的必要性

- 就実大学「経営学部 経営学科」の社会的必要性については、94.7% (457企業中、**433企業**)が「必要だと思う」と回答しており、多くの企業からこれからの社会にとって必要な学部・学科であると評価されていることがうかがえる。

### 就実大学「経営学部 経営学科」卒業生に対する採用意向・ 毎年の採用想定人数

- 就実大学「経営学部 経営学科」卒業生を「採用したいと思う」と答えた企業は、88.6% (457企業中、**405企業**)である。
- 就実大学「経営学部 経営学科」の卒業生を「採用したいと思う」と答えた405企業へ就実大学「経営学部 経営学科」卒業生の採用を毎年何名程度想定しているか聞いたところ、採用想定人数の合計は**590名**で、予定している入学定員数160名を3倍以上上回っている。このことから、安定した人材需要があることがうかがえる。

<属性別>

◇本社所在地別

- 「中国」エリアに本社がある企業からの採用意向は、89.3% (382企業中、**341企業**)。採用想定人数の合計は**500人**で、予定している入学定員数を3倍以上上回っている。「岡山県」に本社がある企業に絞ると、採用意向は88.3% (290企業中、**256企業**)。採用想定人数の合計は**379人**で、予定している入学定員数を2倍以上上回っている。

◇業種別

- 業種が「卸売・小売業」である企業からの採用意向は、91.5% (130企業中、**119企業**)。採用想定人数の合計は**221人**で、予定している入学定員数を上回っている。

## 企業対象 調査結果まとめ

---

### ◇従業員数別

- 従業員数にかかわらず、一定の採用意向がみられる。従業員数が「100名～500名未満」の企業では採用想定人数の合計が予定している入学定員数を上回っている。

### ◇本年度の採用予定数別

- 本年度の採用予定を「昨年度並み」と回答した企業からの採用意向は89.3% (291企業中、**260企業**)。採用想定人数の合計は**378人**で、予定している入学定員数を2倍以上上回っている。

### ◇採用したい学問分野別

- 就実大学「経営学部 経営学科」の学びに関連のある「経済・経営・商学」を学んだ学生を採用したいと回答した企業からの採用意向は91.7% (156企業中、**143企業**)。採用想定人数の合計は**214人**で、予定している入学定員数を上回っている。また、「学んだ学問分野にはこだわらない」と回答した企業からの採用意向は94.1% (237企業中、**223企業**)。採用想定人数の合計は**332人**で、予定している入学定員数を2倍以上上回っている。

### ◇就実大学「経営学部 経営学科」の特色に対する魅力度別

- 就実大学「経営学部 経営学科」の特色に魅力を感じている企業の採用意向は、いずれの特色でも9割を超えている。採用想定人数の合計もすべて550人以上と、予定している入学定員数を3倍以上上回っている。

### ◇社会的必要性別

- 就実大学「経営学部 経営学科」が社会的に「必要だと思う」と回答した企業からの採用意向は91.9% (433企業中、**398企業**)。採用想定人数の合計は**580人**で、予定している入学定員数を3倍以上上回っている。

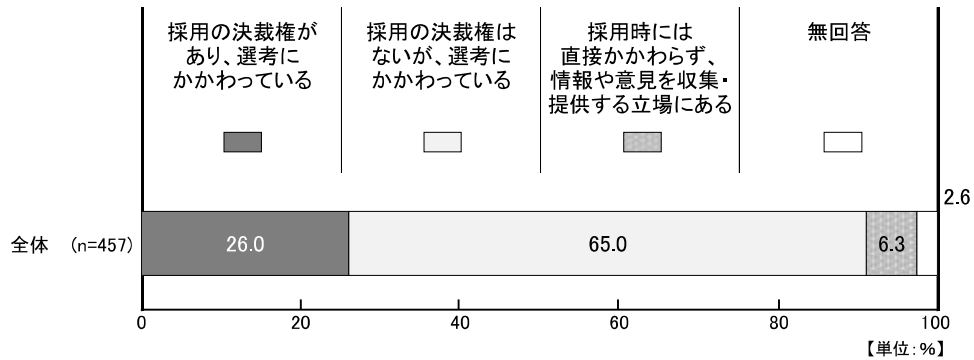
## 企業対象 調査結果



## 回答企業(回答者)の属性(人事採用への関与度/本社所在地)

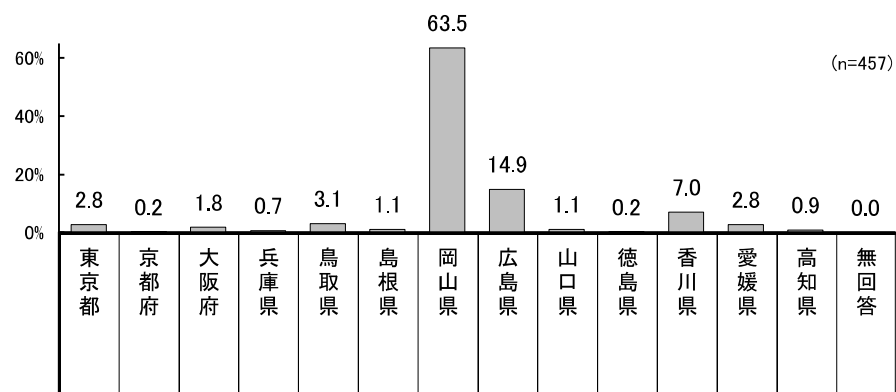
### ■人事採用への関与度

Q1. アンケートにお答えいただいている方の、人事採用への関与度をお教えてください。(あてはまる番号1つに○)



### ■本社所在地

Q2. 貴社・貴団体の本社(本部)所在地について、都道府県名をお教えてください。

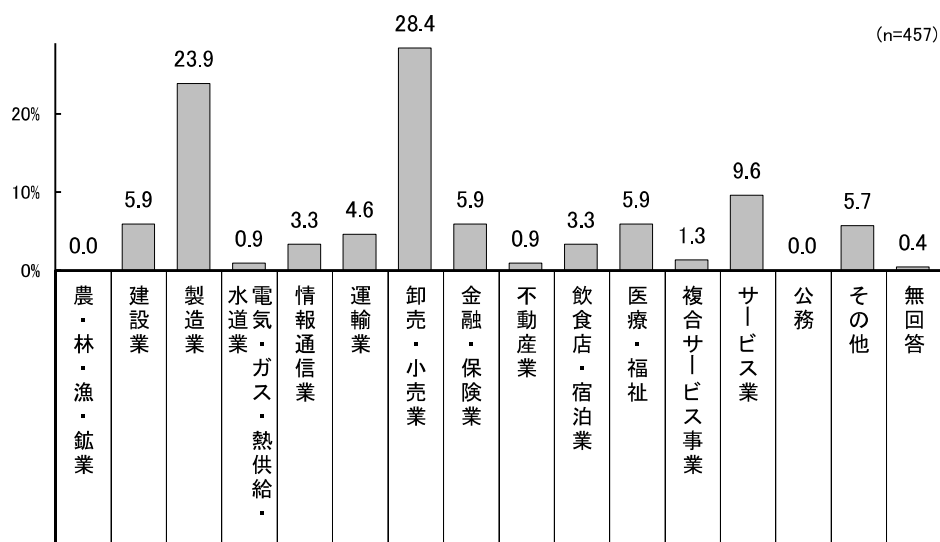




## 回答企業(回答者)の属性(業種/従業員数)

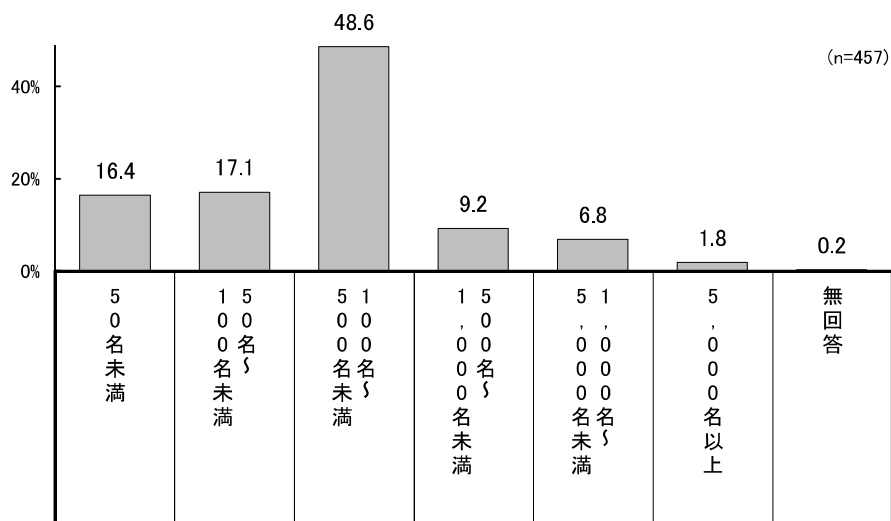
### ■業種

Q3. 貴社・貴団体の業種について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)



### ■従業員数

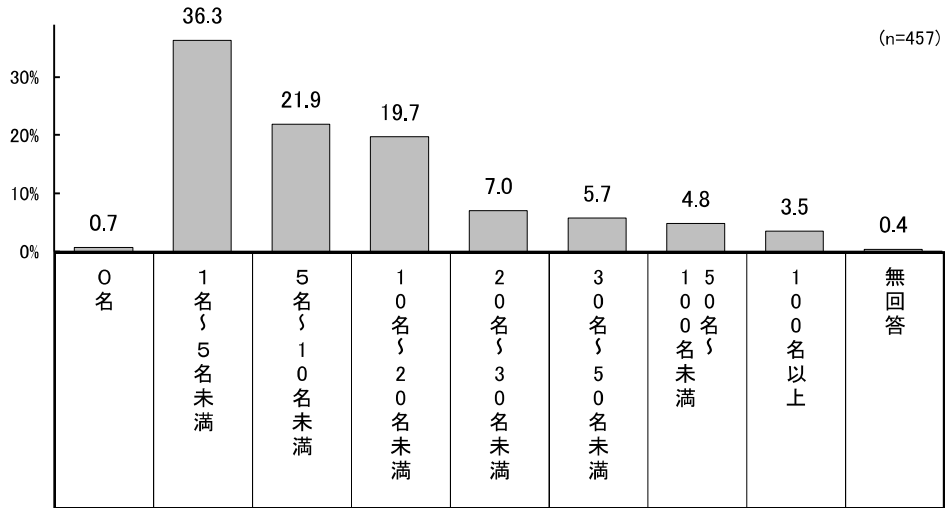
Q4. 貴社・貴団体の従業員数(正規社員)について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)



# 正規社員の平均採用人数／本年度の採用予定数

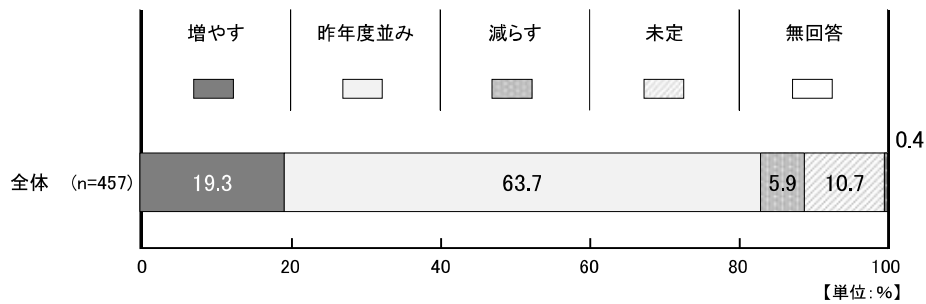
## ■正規社員の平均採用人数

Q5. 貴社・貴団体の過去3か年の平均的な正規社員の採用数について、お教えてください。(あてはまる番号1つに○)



## ■本年度の採用予定数

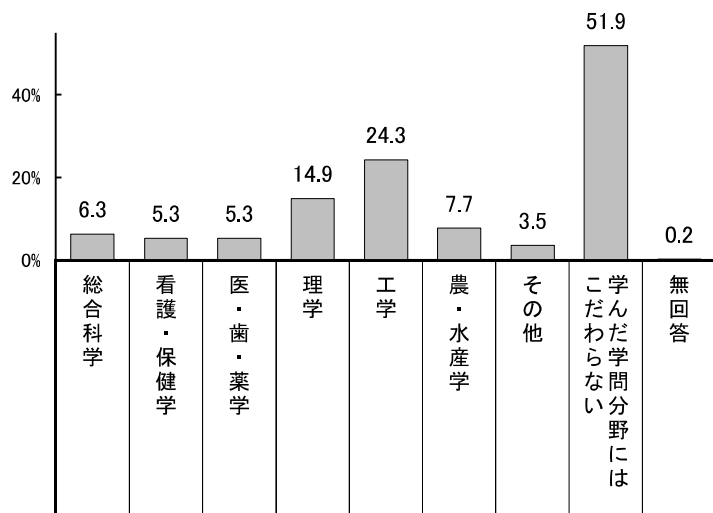
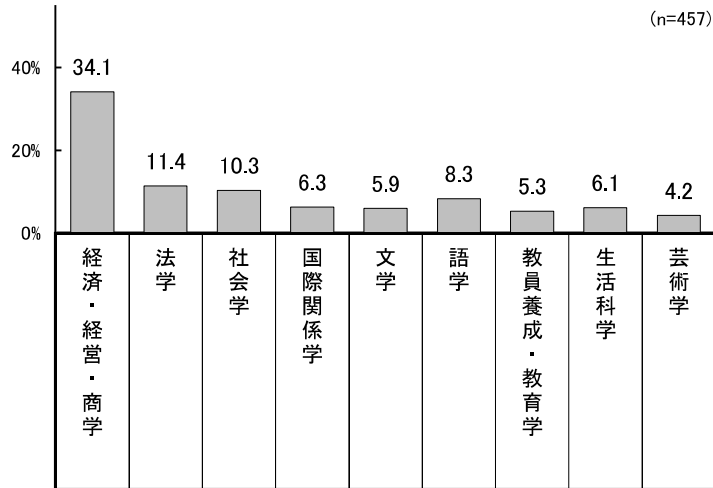
Q6. 貴社・貴団体の本年度の採用予定数は、昨年度と比較していかがですか。(あてはまる番号1つに○)



# 採用したい学問分野

## ■採用したい学問分野

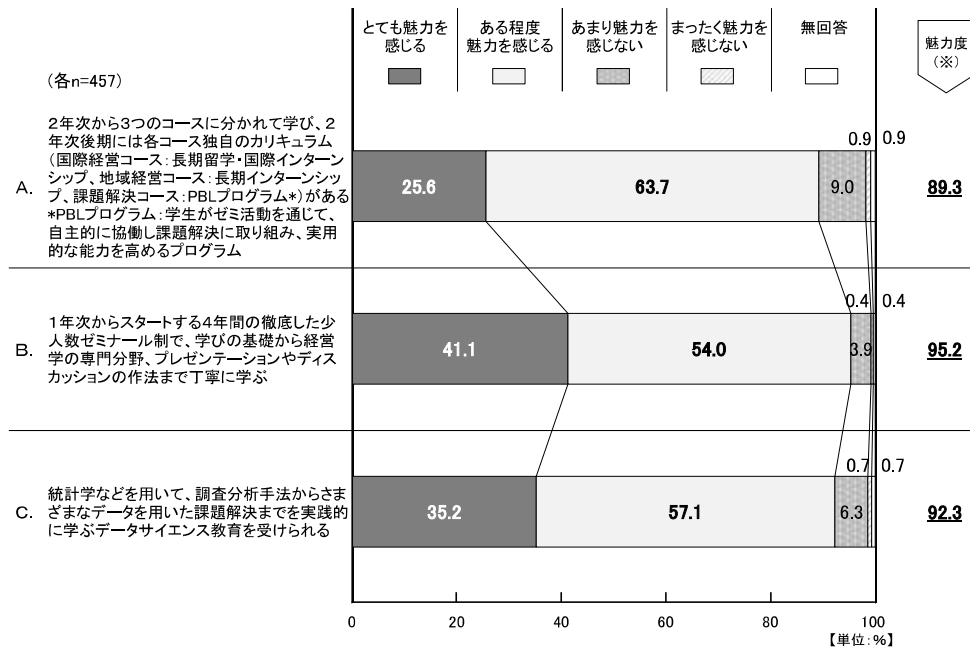
Q7. 貴社・貴団体では、今後、大学でどのような学問分野を学んだ人物を採用したいとお考えですか。  
(あてはまる番号すべてに○)



# 就実大学「経営学部 経営学科」の特色に対する魅力度

## ■就実大学「経営学部 経営学科」の特色に対する魅力度

Q8. 就実大学「経営学部 経営学科」(定員増構想中)には、以下のような特色があります。貴社・貴団体(ご回答者)にとって、これらの特色はそれぞれの程度魅力に感じますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)



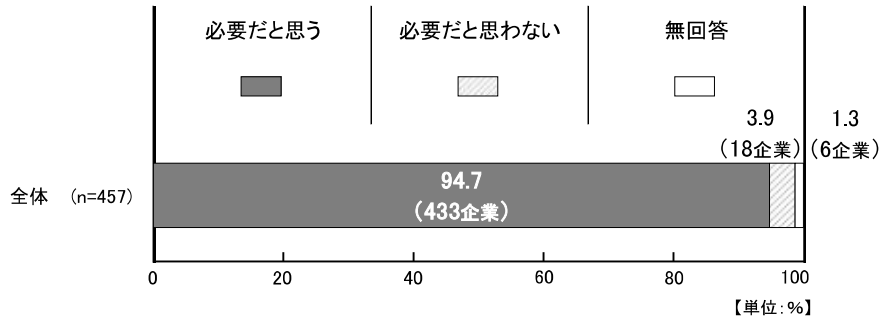
※魅力度=「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値

※魅力度は、人数をもとに%を算出し、小数点第二位を四捨五入しているため、「とても魅力を感じる」と「ある程度魅力を感じる」の合計値と必ずしも一致しない

# 就実大学「経営学部 経営学科」の社会的必要性／ 卒業生に対する採用意向／卒業生の毎年の採用想定人数

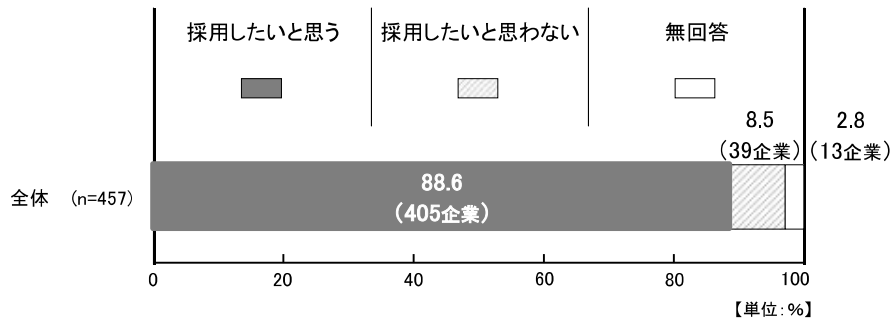
## ■就実大学「経営学部 経営学科」の社会的必要性

Q9. 貴社・貴団体(ご回答者)は、就実大学「経営学部 経営学科」(定員増構想中)は、これからの社会にとって必要だと思われませんか。(あてはまる番号1つに○)



## ■就実大学「経営学部 経営学科」卒業生に対する採用意向

Q10. 貴社・貴団体(ご回答者)では、就実大学「経営学部 経営学科」(定員増構想中)を卒業した学生について、採用したいと思われませんか。(あてはまる番号1つに○)



「採用したいと思う」と答えた405企業のみ抽出

## ■就実大学「経営学部 経営学科」卒業生の毎年の採用想定人数

Q11. Q10で「1. 採用したいと思う」と回答された方におたずねします。  
採用を考える場合、就実大学「経営学部 経営学科」(定員増構想中)を卒業した学生について、毎年何名程度の採用を想定されますか。(あてはまる番号1つに○)

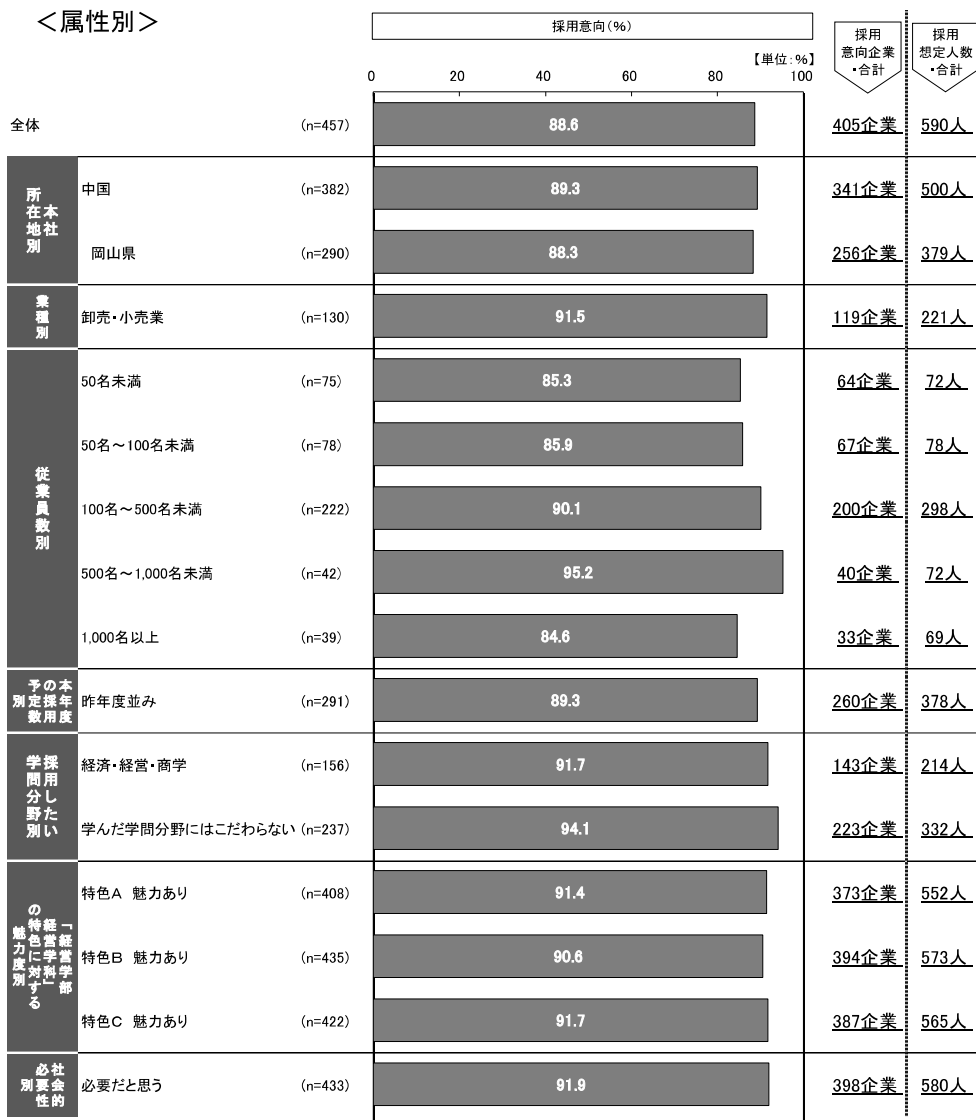
標本数	単位	1名	2名	3名	4名	5名 ～ 9名	10名 以上	計
		%	企業数	名	%	企業数	名	
全体	405	58.0%	22.5%	8.9%	0.0%	1.2%	1.0%	⇒ 371 590
		235	91	36	0	5	4	
		235	182	108	0	25	40	

※ 毎年の採用想定人数・計 「5名～9名」=5名、「10名以上」=10名 を代入し合計値を算出

## 就実大学「経営学部 経営学科」卒業生に対する採用意向／採用想定人数<属性別>

### ■就実大学「経営学部 経営学科」卒業生に対する採用意向／採用想定人数<属性別>

※就実大学「経営学部 経営学科」に対して、Q10で「採用したいと思う」と回答した企業を【採用意向企業】と定義し、さらに【採用意向企業】のうち、Q11で回答した企業が示す具体的な人数を【採用想定人数】と定義する。



※ 採用想定人数・合計 「5名～9名」=5名、「10名以上」=10名 を代入し合計値を算出

## 卷末資料 調査票



# 調査票

## 就実大学「経営学部 経営学科」に関するアンケート

就実大学では2023年(令和5年)4月より、「経営学部 経営学科」の入学定員増を構想しています。このアンケートは採用ご担当の皆様からご意見をお伺いし、より充実した大学や学部・学科にするための参考資料とさせていただきます。  
このアンケートで得られた情報や回答内容は、上記の目的のための統計資料としてのみ活用し、個人を特定することは一切ありません。  
つきましては、ぜひアンケートへのご協力をお願いいたします。

※このアンケートと同封した資料に記載されている「経営学部 経営学科」(定員増構想中)に関する事項はすべて予定であり内容が変更になる可能性があります。

はじめに、貴社・貴団体についてお伺いいたします。

Q1. アンケートにお答えいただいている方の、人事採用への関与度をお教えてください。

(あてはまる番号1つに○)

1. 採用の決裁権があり、選考にかかわっている
2. 採用の決裁権はないが、選考にかかわっている
3. 採用時には直接かかわらず、情報や意見を収集・提供する立場にある

Q2. 貴社・貴団体の本社(本部)所在地について、都道府県名をお教えてください。

本社(本部)所在地

都・道・府・県 ←1つに○

Q3. 貴社・貴団体の業種について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)

- |                  |             |              |
|------------------|-------------|--------------|
| 1. 農・林・漁・鉱業      | 6. 運輸業      | 11. 医療・福祉    |
| 2. 建設業           | 7. 卸売・小売業   | 12. 複合サービス事業 |
| 3. 製造業           | 8. 金融・保険業   | 13. サービス業    |
| 4. 電気・ガス・熱供給・水道業 | 9. 不動産業     | 14. 公務       |
| 5. 情報通信業         | 10. 飲食店・宿泊業 | 15. その他      |

Q4. 貴社・貴団体の従業員数(正規社員)について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)

- |               |                  |                    |
|---------------|------------------|--------------------|
| 1. 50名未満      | 3. 100名～500名未満   | 5. 1,000名～5,000名未満 |
| 2. 50名～100名未満 | 4. 500名～1,000名未満 | 6. 5,000名以上        |

Q5. 貴社・貴団体の過去3か年の平均的な正規社員の採用数について、お教えてください。

(あてはまる番号1つに○)

- |             |              |               |
|-------------|--------------|---------------|
| 1. 0名       | 4. 10名～20名未満 | 7. 50名～100名未満 |
| 2. 1名～5名未満  | 5. 20名～30名未満 | 8. 100名以上     |
| 3. 5名～10名未満 | 6. 30名～50名未満 |               |

Q6. 貴社・貴団体の本年度の採用予定数は、昨年度と比較していかがですか。(あてはまる番号1つに○)

- |          |        |
|----------|--------|
| 1. 増やす   | 3. 減らす |
| 2. 昨年度並み | 4. 未定  |

裏面へ続く→





認可申請構想中

(記載の内容はすべて仮称・構想中であり、変更される場合があります)

# 2023年4月、 就実大学 経営学部経営学科が 新しくなります。

社会経済の変化が激しい今日、自ら課題を発見し解決する能力が問われています。このような状況に対応するため、就実大学経営学部経営学科は、新しいコースを設け、地域の課題にチャレンジできる人材の育成を目指します。

## 経営学部 経営学科

2022年まで

グローバル・ビジネス・  
マネジメントコース 20名程度

リージョナル・ビジネス・  
マネジメントコース 80名程度



2023年から

国際経営コース 20名程度  
(グローバル・ビジネス・マネジメントコースから名称変更)

地域経営コース 80名程度  
(リージョナル・ビジネス・マネジメントコースから名称変更)

課題解決コース 60名程度  
(新設)

※名称はすべて仮称です。

### □ 国際経営コース

グローバルな視野と経営学の知識・技能をあわせ持ち、外国語でのコミュニケーション能力を駆使して企業のグローバル戦略や海外展開を担える人材を育てます。2年次後期にはアジアや欧米で長期留学・国際インターンシップを行い、実践的な語学の習得と異文化理解を目指します。

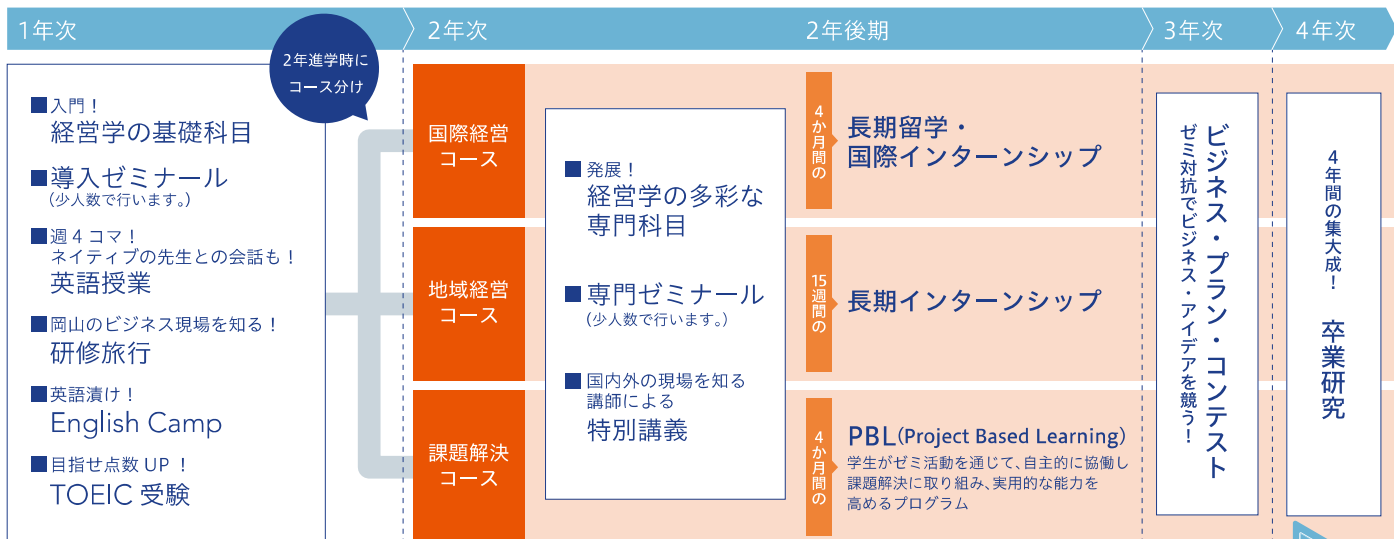
### □ 地域経営コース

地域の視点に経営学の知識・技能を融合させ、多面的な視野から地域の課題に取り組み、企業や行政、NPOやNGO、医療・福祉機関などの幅広い分野で活躍できる人材を育てます。2年次後期には県内の企業・団体に長期インターンシップを行い、企業経営や地域の課題について学びます。

### □ 課題解決コース

グローバルな視野を持ち、調査分析手法やマネジメント、データサイエンスの知識・技能を駆使して、データに基づいた地域の課題解決のための立案ができる人材を育てます。2年次後期には県内の自治体や企業などと連携し、実際の課題を用いて調査分析手法や課題解決について学びます。

# 4年間の学びの流れ



## これからの経営に必要なデータサイエンスを学ぶ

新しい経営学部経営学科では、データサイエンス教育に力を入れます。データサイエンスとは、データを分析して課題解決のためのアイデアや方法を導き出すこと。データに基づく調査分析手法とあわせて、クリティカルシンキングやファイナンスなどの知識も学びます。



## 経営学部データ

### ◆ 定員

国際経営コース	20名程度
地域経営コース	80名程度
課題解決コース	60名程度

※名称はすべて仮称です。

### ◆ 初年度納入金

	初年次合計
入学金	270,000
授業料	950,000
合計	1,220,000

※このほかに諸会費等を徴収。

### ◆ 類似する大学・学部・学科

- ・立命館大学 経営学部
- ・近畿大学 経営学部
- ・甲南大学 経営学部
- ・松山大学 経営学部
- ・広島修道大学 商学部経営学科

## ACCESS JR西川原・就実駅から徒歩1分



新幹線利用	岡山駅	西川原・就実駅	就実大学
福山駅	約15分	約30分	約3分
広島駅	約35分	約45分	約3分
新山口駅	約1時間10分	約1時間40分	約3分
小倉駅	約1時間25分	約3時間20分	約3分
博多駅	約1時間40分		約3分
鹿児島中央駅	約3時間		約3分

在来線利用	岡山駅	西川原・就実駅	就実大学
福山駅	約50分	約1時間10分	約3分
倉敷駅	約20分	約55分	約3分
総社駅	約30分		約3分



- 経営学部 — 経営学科
- 人文科学部 — 表現文化学科 / 実践英語学科 / 総合歴史学科
- 教育学部 — 初等教育学科 / 教育心理学科
- 薬学部 — 薬学科

【資料5】就実大学各学部学科の設置基準教員数

設置基準教員数一覧(令和5年度)

■大学											
学部	学科	収容定員	学部の種類	別表第一関係				別表第二関係			
				基準収容定員までの必要教員数	基準収容定員超過分の必要教員数【備考4】	合計	(内教員数)	収容定員800人までの必要教員数	収容定員800人超過分の必要教員数	合計	(内教授数)
人文学部	表現文化学科	320	文学	6	(400まで)	6	(3)	12	15	27	(14)
	実践英語学科	300	文学	6	(400まで)	6	(3)				
	総合歴史学科	320	文学	6	(400まで)	6	(3)				
	小計	940		18		18	(9)				
教育学部	初等教育学科	310	教育学	6	(400まで)	6	(3)				
	教育心理学科	248	教育学	6	(400まで)	6	(3)				
	小計	558		12		12	(6)				
経営学部	経営学科	640	経済学	14	(800まで)	14	(7)				
	小計	640		14		14	(7)				
薬学部	薬学科	600	薬学	28	(600まで)	28	(14)				
	小計	600		28		28	(14)				
大学合計		2,738				72	(36)			27	(14)
									総計	99	(50)

**【資料6】本学における学生数とST比の推移(見込み)**

**<経営学部>**

	令和3年度 (申請年度)	令和4年度 (収容定員変更前年度)	令和5年度 (収容定員変更年度)	令和6年度 (変更後2年目)	令和7年度 (変更後3年目)	令和8年度 (変更後4年目)
専任教員数(計画)	16	17	19	19	19	19
収容定員	360	380	460	520	580	640
ST比	22.5	22.4	24.2	27.4	30.5	33.7

**<大学全体>**

	令和3年度 (申請年度)	令和4年度 (収容定員変更前年度)	令和5年度 (収容定員変更年度)	令和6年度 (変更後2年目)	令和7年度 (変更後3年目)	令和8年度 (変更後4年目)
専任教員数(計画)	130	131	133	133	133	133
収容定員	2,514	2,526	2,598	2,638	2,698	2,758
ST比	19.3	19.3	19.5	19.8	20.3	20.7

# 【資料 7】 省略

---

## 1 (書類等の題名)

【資料 7】 近隣の競合校の令和 3 年度 ST 比

## 2 (出典)

旺文社「蛍雪時代特別編集 2021 年度用」

## 3 (引用範囲)

○近隣大学 (6 校) と本学の所在地、収容定員、専任教員数、ST 比

○近隣大学 (6 校) と本学の経営系学部の収容定員、専任教員数、ST 比

## 4 (その他の説明)

上記のデータを加工し、本学を除く大学の ST 比平均値を算出し、表にまとめた。

【資料8】就実大学、就実短期大学の設置基準校地、校舎面積

＜校地面積＞大学

学部	学科	収容定員	学部の種類	計算式	校地基準面積
人文学部	表現文化学科	320	文学関係	(合計収容定員)2,738名×10	27,380㎡
	実践英語学科	300			
	総合歴史学科	320			
	小計	940			
教育学部	初等教育学科	310	教育学・保育学関係		
	教育心理学科	248			
	小計	558			
経営学部	経営学科	640	経済学関係		
	小計	640			
薬学部	薬学科	600	薬学関係		
	小計	600			
合計		2,738			

＜校地面積＞短期大学

学科	収容定員	学部の種類	計算式	校地基準面積
幼児教育学科	200	教育学・保育学関係	(合計収容定員)360名×10	3,600㎡
生活実践科学科	160	家政関係		
合計		360		

校地基準面積合計 = 30,980 m<sup>2</sup>

＜校舎面積＞大学

学部	学科	収容定員	学部の種類	計算式(表イ)	最大値	計算式(表ハ)	校舎基準面積 (表イ最大値+表ハ)									
人文学部	表現文化学科	320	文学関係	801人以上的場合 (940-800)×1,322÷400+4,958	5,420.7	1,000人 までの場合 4,462	18,014.5㎡									
	実践英語学科	300														
	総合歴史学科	320														
	小計	940														
教育学部	初等教育学科	310	教育学・保育学関係					800人までの場合 (558-400)×1,653÷400+3,305	3,957.9	800人 までの場合 2,975						
	教育心理学科	248														
	小計	558														
経営学部	経営学科	640	経済学関係								800人までの場合 (640-400)×1,653÷400+3,305	4,296.8	800人 までの場合 3,801			
	小計	640														
薬学部	薬学科	600	薬学関係											800人までの場合 (600-400)×1,983÷400+5,785	6,776.5	○
	小計	600														
合計		2,738														

＜校舎面積＞短期大学

学科	収容定員	学部の種類	計算式	校地基準面積
幼児教育学科	200	教育学・保育学関係	2,350+1,550	3,900㎡
生活実践科学科	160	家政関係		
合計		360		

校舎基準面積合計 = 21,914.5 m<sup>2</sup>

# 目次

1.	学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況	2
(1)	学生の確保の見通し	2
①	定員充足の見込み	2
②	定員充足の根拠となる客観的なデータの概要	3
(2)	学生確保に向けた具体的な取組状況	7
①	入学試験制度の見直し	7
②	学生募集エリアの設定	7
③	オープンキャンパスの実施	7
④	出前授業の実施	7
⑤	進学相談会、高校内ガイダンスへの参加	8
⑥	大学見学会の実施	8
⑦	学生募集広報	8
2.	人材需要の動向等社会の要請	8
(1)	人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的	8
(2)	上記(1)が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠	9
①	既設学部・学科の求人状況等	9
②	本学におけるキャリア支援の取組	9
③	経営学部経営学科の就職実績	10
④	「就職先アンケート」結果の概要	11
⑤	人材需要の根拠となる調査結果の概要	11



## 学生の確保の見通し等を記載した書類

### 1. 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

#### (1) 学生の確保の見通し

##### ① 定員充足の見込み

就実大学（以下「本学」という。）は、経営学部経営学科において、令和5(2023)年度より、入学定員及び収容定員の増員を計画している。増員後の定員充足の見込みを説明する。

本学の過去5年間の入試における総志願倍率【資料1】を比較すると、全学平均で平成29(2017)年度が5.15倍、平成30(2018)年度が5.47倍、令和元(2019)年度が6.36倍、令和2(2020)年度が6.07倍、令和3(2021)年度が5.44倍であり、5倍を超える高い競争倍率を維持している。経営学部だけで見ると平成29(2017)年度が8.01倍、平成30(2018)年度が9.26倍、令和元(2019)年度が9.78倍、令和2(2020)年度が6.85倍、令和3(2021)年度が6.42倍であり、令和2(2020)年度の入学定員20名増員でも依然として高い志願倍率を維持しているため、高い進学需要が安定的にあるといえる。

本学のこれまでの進学需要に加え、本学経営学部経営学科増員時にあたる、令和5(2023)年度に大学へ進学予定の高校2年生の進学意向を確認するため、本学に進学実績がある岡山県、広島県、香川県にある高等学校の2年生にアンケート調査を実施した。配付数5,913件(39校)の内、4,408人(35校)から回答があった。興味のある学問系統では回答者の4,408人の内、1,562人が「経済・経営・商学」と回答し、本学経営学部経営学科に「入学したいと思う」と回答したのは1,188人だった。経営学部の3つの魅力の各魅力度を回答する問では「魅力を感じる」と回答した人数の平均は3,424人であり、全体の回答数の約78.3%となった。このことから本学経営学部経営学科の魅力は十分に伝わっていることが分かる。

より詳細に分析するために、高校卒業後の進路で「私立大学」を選択していて、興味のある学問系統に「経済・経営・商学」を選択していて、就実大学「経営学部経営学科」を「受験したいと思う」「入学したいと思う」を選択している人数をクロス集計したところ、増員後の入学定員としている160名の約2倍の331人からの入学意向があることが分かった。

以上のことから、入学定員を100名から160名に増員しても十分な志願者数、入学者数を見込むことができると考えている。

## ② 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

### ア 私学事業団のデータによる状況分析

日本私立学校振興・共済事業団「私学経営相談センター」が発行している「私立大学・短期大学等入学志願動向」に基づき、系統別に分けて平成 28（2016）年度から令和 3（2021）年度の 6 年間の私立大学の志願者数の推移状況を以下に示す。

本学で入学定員の増員を予定している学部・学科の系統別の志願者数推移状況【資料 2】を確認すると、社会科学系の志願者数が平成 28（2016）年には 1,264,475 名でその後、毎年志願者数は増え続け、令和元（2019）年には 1,665,089 名と 400,614 名増加しているのが分かる。しかしそこから令和 2（2020）年には 1,576,350 名、令和 3（2021）年には 1,379,159 名と減少している。経営学部の志願者数を確認すると、平成 28（2016）年度には 212,639 名でその後、毎年志願者数は増え続け、令和元（2019）年には 296,026 名と 83,387 名増加しているのが分かる。社会科学系の志願者数と同様に令和 2（2020）年、令和 3（2021）年と志願者は減少し、令和 3（2021）年は 252,916 名であり令和元（2019）年と比較すると 43,110 名減少した。

この減少が学問系統の社会的需要低下によるものなのか確かめるため私立大学全体の大学の規模別の志願者動向【資料 3】を確認すると、令和元（2019）年から令和 2（2020）年にかけて特に減少が大きい区分は、入学定員が 1,500 名以上の大規模な大学で 107,147 名減少している。この年度は定員管理の厳格化による合格者数の調整で、偏差値の高い私立大学が敬遠される出願傾向があった。受験生が安全志向で出願をして、一人あたりの併願校数が減少するなど、特に大規模な大学はその影響が考えられる。地域別の動向も確認すると、令和元年から令和 2（2020）年にかけて特に減少が大きい地区は、東京、大阪、兵庫といった大規模私立大学がある地区で、136,103 名減少している。

令和 2（2020）年度から令和 3（2021）年度の減少も、私立大学全体で規模別、地区別にみても、規模では 1,000 人以上の比較的大きな規模の大学で、419,393 名減少している。地区では東京、愛知、京都、大阪といった大規模私立大学がある地区で、379,928 名減少している。この年度は大学入試センター試験が廃止とされ、新テスト「大学入学共通テスト」が始まったことが大きな出来事として挙げられる。受験生には不安が広がり、安全志向とともに受験の早期化といった出願傾向があった。年内入試の総合型選抜や推薦選抜を受験し早めに入学先を確保しておき、一般選抜や共通テスト利用選抜で併願校を減らすなど、大規模校は特にその影響が大きかったと考えられる。

以上のことから、令和元(2019)年度から令和3(2021)年度までの社会科学系及び経営学部の志願者減少傾向は、学問系統の社会的需要の低下に関わる減少ではなく、18歳人口の減少に重なり、大規模校を中心とした一人当たりの併願校数の減少などの影響に起因する私立大学全体の傾向であると確認できる。

## イ 近隣の競合校の志願状況の分析

全国的な私立大学の全体の状況、社会学系統、経営学部系統の状況は前述したが、それらの減少傾向が本学にどのように関係するのかを、本学近隣の競合校における志願者数の推移状況を使いより詳細に確認をしていく。なお競合校は本学の経営学部経営学科と併願されることが多く、規模も近い大学を岡山県、広島県から6校選んだ。

【資料4】は、河合塾が令和3(2021)年に発行のガイドライン6月号を出典として、総合型選抜や学校推薦型選抜等の入試の志願者数を除く、一般選抜と共通テスト利用選抜の志願者数、受験者数、合格者数の推移状況をまとめた資料となる。入学総定員は、各大学の入学試験要項を出典としている。入学総定員は、各大学の入試区分別の募集人数が正確にわからないため総合型選抜や学校推薦型選抜を含めた数値としている。

本資料の「R1→R3 志願者増減」とは、令和3(2021)年度入試の志願者数から、令和元年(2019)年度入試の志願者数を減じたものである。「令和3年度実質倍率」とは、令和3(2021)年度入試の志願者数から、令和3(2021)年度入学試験の合格者数を除いたものである。

本学設置県の岡山県内の競合校において志願者数は減少傾向にあるが、広島県内の競合校は増加傾向にあると考えられる。本学の志願者数は減少傾向にあるが、近隣の競合校の中では令和3年度実質倍率が一番高い値であり進学需要は高いと分析できる。本学経営学部の減少傾向については、学問系統に関わるものではなく、偏差値の上昇による、出願の敬遠の影響が大きいと分析している。株式会社進研アドの過去5年分の本学経営学部のB判定値【資料5】を比較すると、平成29(2017年度)が偏差値50、平成30(2018年度)が偏差値53、令和元(2019年度)が偏差値57、令和2(2020年度)が偏差値57、令和3(2021年度)が偏差値60であり、5年間で10ポイント上昇した。それに伴い入試が相対的に難化し学力に不安を抱える高校生からの出願が大きく減っていることが判明している。

今回の増員により、進学需要への対応を図ることができれば必ず本学経営学部経営学科の志願者数は増加すると見込んでいる。そのことを確認するために、高校2年生に実施したアンケート調査について以下で分析する。

## ウ 岡山県・香川県・広島県の高等学校 2 年生に対する進学意向調査結果

本学のこれまでの進学需要に加え、経営学部経営学科増員時にあたる、令和 5(2023)年度に大学へ進学予定の高校 2 年生の進学意向を確認するため、株式会社進研アドを通じて、本学に進学実績がある岡山県、広島県、香川県にある高等学校の 2 年生にアンケート調査を行った。アンケート調査の概要は次のとおりである。

調査対象	高校 2 年生	
調査エリア	岡山県、広島県、香川県	
調査方法	高校留置き調査	
調査対象数	依頼数 (依頼校数)	5,913 人 (39 校)
	有効回収数 (回収校数)	4,372 人 (36 校) 有効回収率：73.9%
調査時期	2021 年 11 月 26 日 (金) ～2021 年 12 月 20 日 (月)	
回答方法	添付の資料を読み、調査票に記入し回答	
調査実施機関	株式会社 進研アド	

各調査項目の結果【資料 6】を確認していくと、興味のある学問系統を複数回答で聴取する項目では、経営学部経営学科の学びと関連する「経済・経営・商学」の割合が 35.7%で最も高かった。経営学部の 3 つの特色に対する魅力を聴取する項目では、「とても魅力を感じる、ある程度魅力を感じる」の割合（以下、魅力度）がすべての項目に置いて 7 割を超えている。最も魅力が高いのは、「B. 1 年次からスタートする 4 年間の徹底した少人数ゼミナール制で、学びの基礎から経営学の専門分野、プレゼンテーションやディスカッションの作法まで丁寧に学ぶ」の割合で 81.5%である。次に魅力度が高いのは、「A. 2 年次から 3 つのコースに分かれて学び、2 年次後期には各コース独自のカリキュラム（国際経営コース：長期留学・国際インターンシップ、地域経営コース：長期インターンシップ、課題解決コース：PBL プログラム）がある\*PBL プログラム：学生がゼミ活動を通じて、自主的に協働し課題解決に取り組み、実用的な能力を高めるプログラム」の割合で 79.9%、更に「C. 統計学などを用いて、調査分析手法からさまざまなデータを用いた課題解決までを実践的に学ぶデータサイエンス教育を受けられる」の割合が 73.6%と続く。このことから本学の学生募集エリアである高校の高校 2 年生は、「経済・経営・商学」の学問系統の需要が十分にあり、本学経営学部経営学科の魅力度は十分に高いことが分かる。

受験意向、入学意向を聴取する項目を確認すると、本学経営学部経営学科を「受験したいと思う」と回答した割合は 17.5%（4,372 人中、765 人）で、その内、本学経営学部経営学科に「入学したいと思う」の割合は 85.0%（650 人）であった。この 650 人のうち、私立大学進学希望者で、本学経営学部経営学科の学びと関連する「経済・経営・商学」の学問系統に興味がある回答者を確認すると 339 人であり、予定している入学定員数を 2 倍以上上回る入学意向者数だった。条件をより精緻に限定した場合でも、入学意向者の数は予定している入学定員数を上回っていることが分かった。

なお、本学経営学部経営学科に受験意向かつ入学意向がある者の、最も興味のあるコースの割合が「国際経営コース」が 41.4%、「地域経営コース」が 39.4%、「課題解決コース」が 15.7%であったため、「課題解決コース」という名称では志願者に魅力が伝わりにくいと判断し、学内で検討の結果、アンケート実施時は「課題解決コース」という名称であったが「経営実践コース」へ名称を変更した。教育課程等はアンケート調査実施時から変更しない。

## エ 学生流出入動態からみる学生確保の見通し

本学が位置する岡山県について、学生募集の観点から近隣の県との関係进行调查するために、令和 2（2020）年度の学校基本調査のデータを基に、中国地方・香川県・愛媛県別の学生流出入動態を調査した結果【資料 7】を以下に示す。

令和 2（2020）年度の本学近隣県の流入超過者数は鳥取県が▲697 名、島根県が▲1,030 名、広島県が▲1,364 名、山口県が▲600 名、香川県が▲2,795 名、愛媛県が▲2,275 名とマイナスであるが、本学キャンパスが位置する岡山県では 357 名のプラスとなっている。

岡山県の流出入状況をより詳細なデータ【資料 8】で確認すると、中国地方と香川県、愛媛県以外への流入超過状況は▲838 名であることが分かる。しかし、広島県からは 291 名、香川県からは 328 名、愛媛県からは 246 名と流入超過者がプラスであり近隣県で岡山県は、学生募集力がある地域といえる。

## (2) 学生確保に向けた具体的な取組状況

本学の学生確保に向けた具体的な取組状況を、入試と広報の面から説明する。

### ① 入学試験制度の見直し

本学では、学生募集広報状況や前年度の入試結果等を踏まえて、入学試験制度の見直しを行っている。実際に令和4年度入学試験より、経営学部では近隣の商業系学科高校生からの高い進学需要に対応するため総合型選抜（資格・検定型）を導入し本学が求める学生像に合致した受験者の獲得強化を目指し改善を行っている。

### ② 学生募集エリアの設定

本学では、学生募集エリアを学部ごとに設定し、それぞれの地域の高校の特性や志願状況等を踏まえた学生募集活動を行っている。具体的にはこのエリアに沿ってサテライト入試会場の設定、高校内ガイダンスや進学相談会への参加、高校訪問での前年度の入試結果の報告・在学生の活躍・新たな入試情報の案内等の実施、WEB広告の掲載内容・掲載先の決定等を行っている。学生募集エリアは、志願実績や近隣大学の動向等を踏まえ適宜見直している。

### ③ オープンキャンパスの実施

毎年6回程度（3・6・7・8月）、高校生や保護者を対象としたオープンキャンパスを開催している。令和2(2020)年度より、新型コロナウイルスへの対応で動画コンテンツ等を掲載したWEBでのオープンキャンパスも毎年実施している。令和3年度からは、通常のオープンキャンパスをLIVE型と来学型の両方を実施するハイブリッド型として開催し、高校生のニーズに合った参加が可能となっている。

また、令和元年度より予備校と協力し、本学の推薦選抜と一般選抜の入試対策講座を対面で実施しているが、令和2年度より新型コロナウイルスへの対応でWEBに期間限定で動画を掲載し期間中は何度も閲覧可能としている。これにより高校生のニーズに沿った参加が可能となった。

令和3(2021)年度の学生募集では、令和3(2021)年3月6日、6月20日、7月17-18日、8月21-22日の計6日、全学のオープンキャンパスを実施し、参加者は延べ2,399名だった。WEBオープンキャンパスページは令和3(2021)年4月～12月末までに19,241ユーザーからのアクセスがあった。

### ④ 出前授業の実施

高等学校からの依頼により、高校生への大学進学への動機づけや、主体的な進路

選択の参考になるような授業を各高校で実施している。令和 2(2020)年度からは、オンラインでの実施も対応可能としている。

#### ⑤ 進学相談会、高校内ガイダンスへの参加

高等学校で実施される進路ガイダンスや、各イベント会場で開催される進学相談会へ本学の教員や入試課職員が参加し、大学での学びや入試制度等の説明を行っている。本学の特色ある学びをより深く知ってもらうとともに、疑問の解消などの機会としても利用している。

#### ⑥ 大学見学会の実施

高等学校からの希望があれば、大学の見学会を実施している。大学ガイダンスや、実際の授業見学、食堂体験、在校生との交流会など多彩なメニューからなり、本学を実際に感じてもらう機会としている。また、高等学校からだけでなく、個人やグループでの申し込みも受け付けており、同様に対応している。

#### ⑦ 学生募集広報

コロナ禍での受験生の動向として、安全志向が挙げられる。岡山県内の高校生には特に推薦入試の段階から志望してもらえるように上記のようなオープンキャンパスや進学相談会、高校内ガイダンス、大学見学等のイベントを早い段階から実施している。

また令和 2(2020)年度より新型コロナウイルスへの対応するため WEB の積極的活用を進めている。公式 WEB サイトの充実、WEB イベントの実施や SNS の活用、オウンドメディアの公開（受験体験記、就活体験記など）、動画コンテンツの拡充と WEB 上だけでも十分な情報が得られるよう情報発信を行っている。

## 2. 人材需要の動向等社会の要請

### (1) 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的

今回、収容定員の変更を行う経営学部の教育研究上の目的は以下のとおりである。

<就実大学>

就実大学は、「去華就実」の建学の精神に基づく教育理念を掲げており、5つの「実践指針」を実践することによって基本目標である「実地有用」の人材を育成し、地域に密着した総合大学として、個性的で活力にあふれる大学の創造を目指している。

<経営学部>

経営学部における「グローバルに物事を考えながら、地域の社会や経済の発展に貢献できるグローバル人材を育成する」という教育理念を実現するために、世界の多様な現実についての知識と理解に基づいたグローバルな視野を持ち、地域への関心や諸課題に立ち向かうチャレンジ精神と、経営学の専門知識・技能を身につけた人材を育成する。

## (2) 上記(1)が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

### ① 既設学部・学科の求人状況等

本学における最近4年間の求人件数（薬学及び教職幼保の専門求人を除く。）の実績は、平成29(2017)年度は1,225件、平成30(2018)年度は1,114、令和元(2019)年度は1,058件、令和2(2020)年度は863件となっている。令和2(2020)年度はコロナ禍の影響により少し減少はしているが、最近4年間の平均は1,065件、また令和2(2020)年度の一人当たりの求人件数は2.15社となっており、高い数字を保っている。【資料9】

### ② 本学におけるキャリア支援の取組

#### ア キャリア支援を行うための体制

進路・就職担当部署（教職・幼保を除く。）となるキャリア支援・開発課には、キャリアカウンセラー資格を持つ4名を含む9名の職員が学生の対応にあっている。全般的な方針や問題処理に関しては、各学部・学科所属教員から選任された11名の委員とキャリア支援・開発部等の部課長からなるキャリア支援・開発委員会を設け、支援活動全体の方針や状況に応じた対策、全学的活動と学部・学科ごとの活動との調整、支援活動や成果の学内広報の在り方等の協議、また最新の学生の内定状況を共有するために、ほぼ毎月行っている。

#### イ キャリア教育の実施

本学では入学生全員が履修する「スタートアップ就実」(キャリア・ライフデザインを含む。)のほか、「キャリアデザイン論」「インターンシップ1・2」等を開講し、キャリアの基礎知識や自身のキャリアを考えるきっかけとしている。また、正規授業科目以外に、キャリア支援・開発課が「1年次キャリアガイダンス」「2年次キャリアガイダンス」も開講している。「キャリアデザイン論」等の授業を履修していない学生にもカバーできるよう、大学生活の目標設定とコミュニケーション能力の向上等を図っている。



## ウ 進路選択に関わる支援やガイダンスの実施

就職ガイダンスでは、一般就職を希望する学生全員対象のガイダンスは全 19 回、希望者対象のセミナーを全 16 回企画し、令和 2 年度は延べ 4,438 名の学生が出席している【資料 1 0】。なお最終の就職アンケートでは、88.3%の学生が「ガイダンスが役に立つ」「どちらかと言えば役に立つ」と回答している【資料 1 1】。

県外出身者に対しては、出身地での就職を希望する学生を対象に U・J・I ターン就職に特化したセミナーを実施するほか、出身者の多い鳥取県、島根県、香川県、愛媛県、高知県とは就職支援に関する協定を結び、地元企業情報の提供や就職説明会の開催、低年次学生の交流会を通じて地元就職の促進を図っている。

コロナ禍においては、ガイダンスや学生面談の方法が対面から WEB 化に大きく変化し、令和 2(2020)年度及び令和 3(2021)年度前期の就職ガイダンスは、概ね WEB に変更して開講した。また、学生面談も、その多くはリモート会議システムを活用して対応している。

### ③ 経営学部経営学科の就職実績

経営学部経営学科の就職率及び実就職率は次のとおりである。同学科は平成 26(2014)年度に開設され、これまで 4 期の学生を送り出してきたが、いずれの期の就職率、実就職率とも非常に高く、就職率の平均では 99.1%、実就職率の平均では 96.6%となっている【資料 1 2】。

また、令和 2(2020)年度卒業生の業種別進路の内訳は次のとおりとなっている【資料 1 3】。

進路の上位 3 業種は、①卸売小売業（株式会社本多、ライト電業株式会社、イオンリテール株式会社、株式会社天満屋ストア、株式会社仁科百貨店、株式会社日産サテリオ岡山など）、②金融業保険業（株式会社中国銀行、株式会社香川銀行、おokayama信用金庫、水島信用金庫、笠岡信用組合、丸三証券株式会社、第一生命保険株式会社、日本生命保険相互会社など）、③製造業（株式会社明石スクールユニフォームカンパニー、株式会社イタミアート、井原精機株式会社、サンワサプライ株式会社、ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社、シーピー化成株式会社など）となっており、民間企業を中心に幅広い業種への就職実績を有している。

このような求人件数や就職実績から、収容定員を増加した場合でも卒業後の進路は十分に見込まれるものと考えている。

#### ④ 「就職先アンケート」結果の概要

本学では、令和2年度から、卒業生の主な就職先に「求める人材像」等の調査を行い、その内容を本学のキャリア支援や教育内容の向上に反映させることを目的とした「就職先アンケート」【資料14】を行っている。初年度となる令和2(2020)年度は、一般就職関係の企業等126社に調査票を送り、60社から回答を得た(回答率47.6%)。

その結果、「本学の卒業生は、全体として貴社等の人材ニーズや期待に应付していると思えますか」との問いでは、90%を超える大多数の企業の方は、本学卒業生が会社の期待に应付していると評価している。次に「本学の卒業生の能力水準において、どう感じておられますか」の問いには、42社70%の多くの企業の方は、本学卒業生の能力水準を高いと評価している。また、「今後、本学卒業生の採用はどのようにお考えでしょうか」の問いには、58社96%の企業の方は、今後も本学学生を採用したいと回答している。なお今後本学学生を採用したくないという企業はなく、本学学生に一定の信頼度は築けているものと考えられる。

経営学部経営学科を含む大学全体の調査ではあるが、本学を卒業した学生への評価は高く採用意欲も確認できることから、定員増後の卒業生の進路も十分な見通しがあるものと考えられる。

#### ⑤ 人材需要の根拠となる調査結果の概要

本学経営学部経営学科で育成する人材が地域社会から期待されているのかを確認するため、株式会社進研アドを通じて、岡山県、広島県、香川県を中心に本学学生の採用実績がある企業や卒業生就職先として想定される企業の人事関連業務に携わっている人を対象に採用意向のアンケート調査を行った。アンケート調査の概要は次のとおりである。

調査対象	企業の採用担当者	
調査エリア	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県	
調査方法	郵送調査	
調査対象数	依頼数	1,100 企業
	回収数 (回収率)	457 企業(41.5%)
調査時期	2021年11月26日(金)～2021年12月20日(月)	
回答方法	添付の資料を読み、調査票に記入し回答	
調査実施機関	株式会社 進研アド	

各調査項目の結果【資料15】を確認していくと、回答者の人事採用への関与度を聴取する項目では「採用の決裁権があり、選考にかかわっている」の割合は26.0%、「採用の決裁権はないが、選考にかかわっている」の割合が65.0%と、採用や選考にかかわる人事担当者からの意見を聴取できていると考えられる。採用したい学問分野を複数回答で聴取する項目では、「学んだ学問分野にはこだわらない」の割合が51.9%で最も高い。次いで本学経営学部経営学科の学びに関連のある「経済・経営・商学」の割合が34.1%だった。経営学部経営学科の3つの特色に対する魅力を聴取する項目では、「とても魅力を感じる、ある程度魅力を感じる」の割合（以下、魅力度）がすべての項目に置いて8割を超えている。最も魅力度が高いのは、「B. 1年次からスタートする4年間の徹底した少人数ゼミナール制で、学びの基礎から経営学の専門分野、プレゼンテーションやディスカッションの作法まで丁寧に学ぶ」の割合で95.2%である。次に魅力度が高いのは、「C. 統計学などを用いて、調査分析手法からさまざまなデータを用いた課題解決までを実践的に学ぶデータサイエンス教育を受けられる」の割合で92.3%、更に「A. 2年次から3つのコースに分かれて学び、2年次後期には各コース独自のカリキュラム（国際経営コース：長期留学・国際インターンシップ、地域経営コース：長期インターンシップ、課題解決コース：PBLプログラム\*）がある\*PBLプログラム：学生がゼミ活動を通じて、自主的に協働し課題解決に取り組み、実用的な能力を高めるプログラム」の割合で89.3%と続く。このことから本学経営学部経営学科の卒業生の就職先と想定される企業における、「経済・経営・商学」の学問系統の需要が十分にあり、本学経営学部経営学科の魅力度は高いことが分かる。

本学経営学部経営学科の社会的必要性を聴取する項目では、94.7%（457企業中、433企業）が「必要だと思う」と回答しており、多くの企業からこれからの社会にとって必要な学部・学科であると評価されていることがうかがえる。本学経営学部経営学科の卒業生を採用したいか聴取する項目では88.6%（457企業中、405企業）が卒業生を「採用したいと思う」と回答していた。更に本学経営学部経営学科の卒業生の採用を毎年何名程度想定しているか聴取する項目では、採用想定人数の合計が590名で、予定している入学定員数160名を3倍以上上回っていた。このことから、本学経営学部経営学科は地域社会からの期待も十分に高く、安定した人材需要があることが確認できた。

なお、定員充足の根拠となる客観的なデータの岡山県・香川県・広島県の高等学校2年生に対する進学意向調査結果に記載した通りの理由で、アンケート実施時は「課題解決コース」という名称であったが「経営実践コース」へ名称を変更した。

以上の根拠から、本学経営学部経営学科の人材の育成に関する目的その他の教育研究上の目的は今までも地域社会の要請に添えており、この定員増員においても地域社会の人材需要の動向を十分に踏まえていると考える。

## 目次

【資料 1】	就実大学の入学定員、志願者数等の推移（過去5か年）	2
【資料 2】	私立大学・短期大学等入学志願動向系統別	3
【資料 3】	私立大学・短期大学等入学志願動向規模別、地域別	4
【資料 4】	近隣の競合校の志願状況（社会科学系：経済学、経営・商学系統）	8
【資料 5】	株式会社進研アドの本学経営学部の本判定値	9
【資料 6】	入学定員増に関するニーズ調査 結果報告書（高校生対象調査）	10
【資料 7】	中国地方と一部の四国地方の学生流出入状況（令和2年度）	34
【資料 8】	中国・四国の学生流出入状況（令和2年度）	35
【資料 9】	過去4年間の求人件数	36
【資料 10】	令和2年度就職ガイダンス出席数	37
【資料 11】	令和2年度就職ガイダンス 最終アンケート集計結果	38
【資料 12】	経営学部の過去4年間の就職率	39
【資料 13】	令和2年度経営学部卒業生の業種別進路	40
【資料 14】	卒業生就職先企業へのアンケート調査結果	41
【資料 15】	入学定員増に関するニーズ調査 結果報告書（企業対象調査）	42

【資料1】就実大学の入学定員、志願者数等の推移(過去5か年)

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
人文科学部	入学定員	225	225	225	235	235
	志願者数	865	1,029	1,226	1,273	1,078
	受験者数	859	1,028	1,221	1,267	1,075
	合格者数	541	618	491	559	620
	辞退者数	264	325	264	332	389
	入学者数	277	293	227	227	231
	志願倍率	3.84	4.57	5.45	5.42	4.59
	歩留率	0.51	0.47	0.46	0.41	0.37
教育学部	入学定員	135	135	135	137	137
	志願者数	980	1,022	1,161	1,132	990
	受験者数	974	1,015	1,152	1,124	987
	合格者数	380	411	391	441	402
	辞退者数	234	252	253	282	264
	入学者数	146	159	138	159	138
	志願倍率	7.26	7.57	8.60	8.26	7.23
	歩留率	0.38	0.39	0.35	0.36	0.34
経営学部	入学定員	80	80	80	100	100
	志願者数	641	741	782	685	642
	受験者数	634	736	777	681	640
	合格者数	210	195	173	206	216
	辞退者数	113	91	94	105	118
	入学者数	97	104	79	101	98
	志願倍率	8.01	9.26	9.78	6.85	6.42
	歩留率	0.46	0.53	0.46	0.49	0.45
薬学部	入学定員	120	120	120	100	100
	志願者数	400	273	394	383	400
	受験者数	393	264	389	379	397
	合格者数	326	213	323	328	332
	辞退者数	232	150	229	245	250
	入学者数	94	63	94	83	82
	志願倍率	3.33	2.28	3.28	3.83	4.00
	歩留率	0.29	0.30	0.29	0.25	0.25
合計	入学定員	560	560	560	572	572
	志願者数	2,886	3,065	3,563	3,473	3,110
	受験者数	2,860	3,043	3,539	3,451	3,099
	合格者数	1,457	1,437	1,378	1,534	1,570
	県内高校3年生	16,986	17,334	17,041	16,568	-
	辞退者数	843	818	840	964	1021
	入学者数	614	619	538	570	549
	志願倍率	5.15	5.47	6.36	6.07	5.44
	歩留率	0.42	0.43	0.39	0.37	0.35

## 【資料 2】 省略

---

### 1 (書類等の題名)

【資料 2】 私立大学・短期大学等入学志願動向系統別

### 2 (出典)

日本私立学校振興・共済事業団「私立大学・短期大学等入学志願動向」

### 3 (引用範囲)

平成 28 年度から令和 3 年度の社会科学系統と経営学部における集計学部数、入学定員、志願者、受験者、合格者、入学者、志願倍率、合格率、歩留率、入学定員充足率

### 4 (その他の説明)

上記のデータを加工し、表にまとめた。

# 【資料 3】 省略

---

## 1 (書類等の題名)

【資料 3】 私立大学・短期大学等入学志願動向規模別、地域別

## 2 (出典)

日本私立学校振興・共済事業団「私立大学・短期大学等入学志願動向」

## 3 (引用範囲)

○令和元年度から令和 2 年度の規模別集計データと地域別集計データにおける集計学校数、入学定員、志願者、受験者、合格者、入学者、志願倍率、合格率、歩留率、入学定員充足率

○令和 2 年度から令和 3 年度の規模別集計データと地域別集計データにおける集計学校数、入学定員、志願者、受験者、合格者、入学者、志願倍率、合格率、歩留率、入学定員充足率

## 4 (その他の説明)

とくになし。

# 【資料4】省略

---

## 1（書類等の題名）

【資料4】近隣の競合校の志願状況（社会科学系：経済学、経営・商学系統）

## 2（出典）

河合塾「Guideline6月号（2021）」

## 3（引用範囲）

令和元年度から令和3年度の近隣大学（6校15学科）と本学経営学部における志願者数、受験者数、合格者数

## 4（その他の説明）

上記のデータを加工し、令和元年から令和3年にかけての志願者の増減、令和3年度の実質倍率を算出し、表にまとめた。



# 【資料5】省略

---

## 1（書類等の題名）

【資料5】株式会社進研アドの本学経営学部のB判定値

## 2（出典）

ベネッセホールディングス「進研模試合格可能性判定基準」

<https://manabi.benesse.ne.jp/daigaku/nyushi/hantei/2022/index.html>

## 3（引用範囲）

平成29年度から令和3年度までの6月模試における本学のB判定値

## 4（その他の説明）

上記のデータを加工し、本学経営学部の情報のみを表にまとめた。

【資料6】入学定員増に関するニーズ調査 結果報告書（高校生対象調査）

---

---

就実大学  
「経営学部 経営学科」  
入学定員増に関するニーズ調査  
結果報告書  
【高校生対象調査】

---

---

令和4年2月  
株式会社 進研アド

© Shinken-Ad. Co., Ltd. All Rights Reserved.

# 高校生対象 調査概要

## 1. 調査目的

2023年4月に入学定員増を構想中の就実大学「経営学部 経営学科」に関して、高校生からの進学ニーズを把握する。

## 2. 調査概要

		高校生対象調査
調査対象		高校2年生
調査エリア		岡山県、広島県、香川県
調査方法		高校留置き調査
調査対象数	依頼数 (依頼校数)	5,913人(39校)
	有効回収数 (回収校数)	4,372人(36校) 有効回収率:73.9%
調査時期		2021年11月26日(金)～2021年12月20日(月)
調査実施機関		株式会社 進研アド

## 3. 調査項目

高校生対象調査
<ul style="list-style-type: none"><li>・性別</li><li>・高校種別</li><li>・高校所在地</li><li>・所属クラス</li><li>・高校卒業後の希望進路</li><li>・興味のある学問系統</li><li>・就実大学「経営学部 経営学科」の特色に対する魅力度</li><li>・就実大学「経営学部 経営学科」への受験意向</li><li>・就実大学「経営学部 経営学科」への入学意向</li><li>・就実大学「経営学部 経営学科」各コースの特色に対する興味度</li><li>・興味のあるコース</li></ul>

## 高校生対象 調査結果まとめ



## 高校生対象 調査結果まとめ

### 回答者の属性

※本調査は、就実大学の「経営学部 経営学科」に対する需要を確認するための調査として設計。就実大学の主な学生募集エリアである岡山県、広島県、香川県に所在する高校の高校2年生に調査を実施し、4,372人から回答を得た。

- 回答者の性別は、「男性」が37.8%、「女性」が62.0%である。
- 回答者の在籍高校種別は「公立」が80.6%、「私立」が19.4%である。
- 回答者の在籍高校所在地は、就実大学の所在地である「岡山県」が76.1%を占め、最も多い。次に「香川県」が18.8%、「広島県」が5.1%と続く。
- 回答者の所属クラスは「文系クラス(文系コース)」が60.0%で最も多い。次いで「その他」が22.6%、「コース選択はない」が10.4%と続く。

### 高校卒業後の希望進路や興味のある学問系統

- 回答者の高校卒業後の希望進路を複数回答で聴取したところ、「国公立大学に進学」の割合が47.9%で最も高い。次いで「私立大学に進学」が46.2%、「専門学校・専修学校に進学」が22.3%と続く。私立大学への進学志望者も多いことから、就実大学がターゲットとする対象に調査を実施出来ていると考えられる。
- 回答者の興味のある学問系統を複数回答で聴取したところ、「経営学部 経営学科」の学びと関連する「経済・経営・商学」が35.7%で最も高い。次いで「文学(心理学、考古学、地理学、歴史学、哲学など含む)」が18.0%、「教員養成・教育学」が17.6%と続く。

## 高校生対象 調査結果まとめ

### 就実大学「経営学部 経営学科」の特色に対する魅力度

- 就実大学「経営学部 経営学科」の特色に対する魅力度(※)は、すべての項目において7割を超える。
- 最も魅力度が高いのは、「B. 1年次からスタートする4年間の徹底した少人数ゼミナール制で、学びの基礎から経営学の専門分野、プレゼンテーションやディスカッションの作法まで丁寧に学ぶ」(81.5%)である。

次に魅力度が高いのは、「A. 2年次から3つのコースに分かれて学び、2年次後期には各コース独自のカリキュラム(国際経営コース:長期留学・国際インターンシップ、地域経営コース:長期インターンシップ、課題解決コース:PBLプログラム\*)がある \*PBLプログラム:学生がゼミ活動を通じて、自主的に協働し課題解決に取り組み、実用的な能力を高めるプログラム」(79.9%)、さらに「C. 統計学などを用いて、調査分析手法からさまざまなデータを用いた課題解決までを実践的に学ぶデータサイエンス教育を受けられる」(73.6%)と続く。

※魅力度=「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値

## 高校生対象 調査結果まとめ

### 就実大学「経営学部 経営学科」への受験意向・入学意向

- 就実大学「経営学部 経営学科」を「受験したいと思う」と答えた人は、17.5% (4,372人中、**765人**)である。
- 就実大学「経営学部 経営学科」を「受験したいと思う」と答えた765人のうち、就実大学「経営学部 経営学科」に「入学したいと思う」と回答した人は、85.0% (**650人**)である。

### 就実大学「経営学部 経営学科」への入学意向者数

※ここからは、就実大学「経営学部 経営学科」に対して、Q4で「受験したいと思う」と回答し、かつ、Q5で「入学したいと思う」と回答した人を入学意向者と定義し、分析を行う。

- 回答者全体における入学意向は14.9% (**650人**)で、予定している入学定員数160人を4倍以上上回る入学意向者がみられた。

<属性別>

◇性別

- 「男性」の入学意向は16.6% (1,654人中、**274人**)と、予定している入学定員数を上回る入学意向者がみられた。「女性」の入学意向は13.9% (2,711人中、**376人**)と、予定している入学定員数を2倍以上上回る入学意向者がみられた。

◇高校所在地別

- 就実大学の所在地である「岡山県」の高校在籍者からの入学意向は15.8% (3,327人中、**526人**)と、予定している入学定員数を3倍以上上回る入学意向者がみられた。

◇高校種別

- 高校種別が「公立」の回答者の入学意向は15.3% (3,525人中、**540人**)と、予定している入学定員数を3倍以上上回る入学意向者がみられた。

## 高校生対象 調査結果まとめ

---

### ◇所属クラス別

- 「文系クラス(文系コース)」に所属している回答者の入学意向は15.5%(2,625人中、**408人**)と、予定している入学定員数を2倍以上上回る入学意向者がみられた。

### ◇高校卒業後の希望進路別

- 「国公立大学に進学」を考えている回答者の入学意向は16.9%(2,094人中、**354人**)と、予定している入学定員数を2倍以上上回る入学意向者がみられた。また、就実大学を受験・入学する可能性が高い「私立大学に進学」を考えている回答者の入学意向は21.0%(2,022人中、**424人**)と、予定している入学定員数を2倍以上上回る入学意向者がみられた。

### ◇私立大学進学意向×興味のある学問系統別

- 私立大学進学希望者で、就実大学「経営学部 経営学科」の学びと関連する「経済・経営・商学」の学問系統に興味がある回答者の入学意向は38.5%(880人中、**339人**)と、予定している入学定員数を2倍以上上回る入学意向者がみられた。ターゲットの条件をより精緻に限定した場合でも、入学意向者の数は予定している入学定員数を上回っている。

### ◇就実大学「経営学部 経営学科」の特色に対する魅力度別

- 就実大学「経営学部 経営学科」の特色に魅力を感じている回答者の入学意向は、いずれの特色でも17%を超えており、入学意向者数はすべて、予定している入学定員数を3倍以上上回っている。

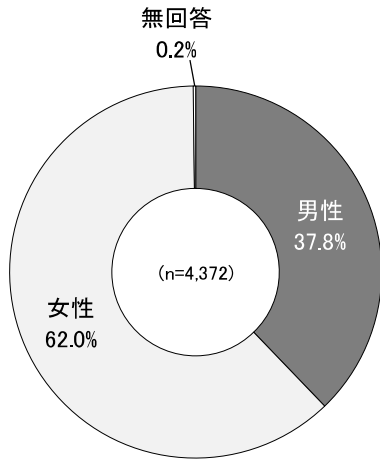


## 高校生対象 調査結果

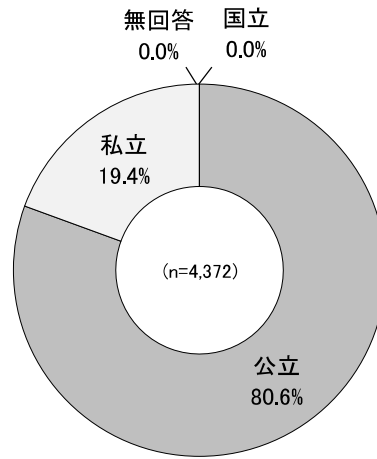


## 回答者の属性(性別／高校種別／高校所在地／所属クラス)

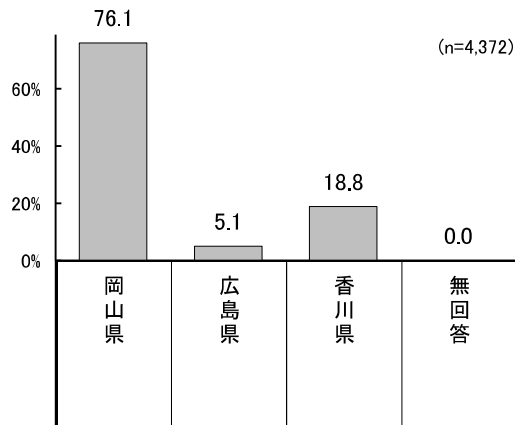
### ■性別



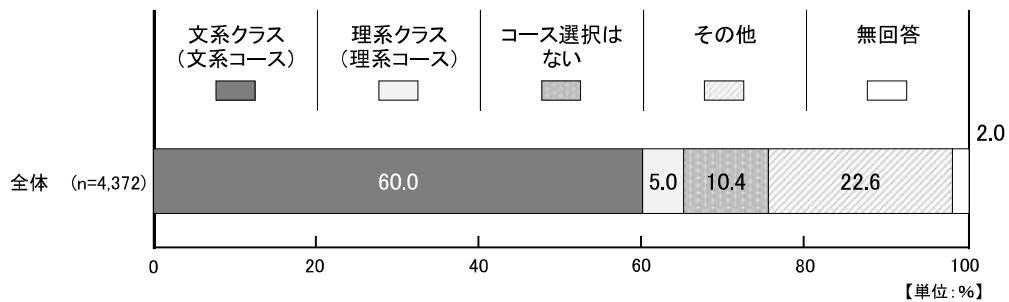
### ■高校種別



### ■高校所在地



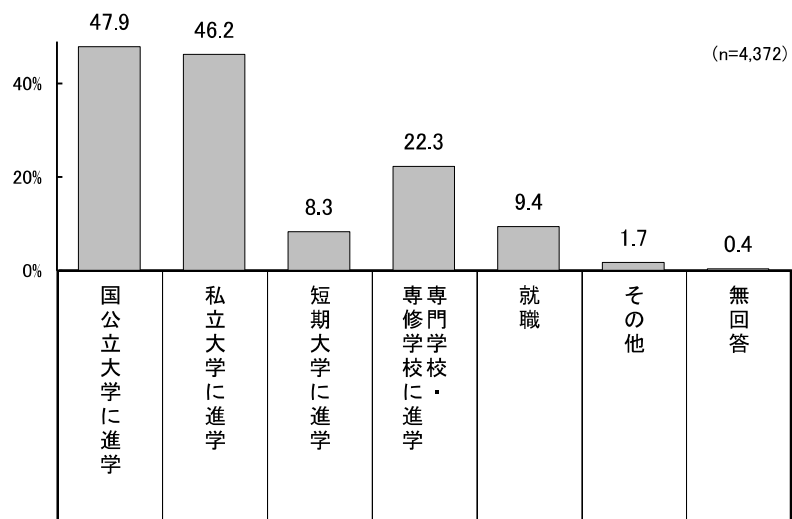
### ■所属クラス



# 高校卒業後の希望進路

## ■高校卒業後の希望進路

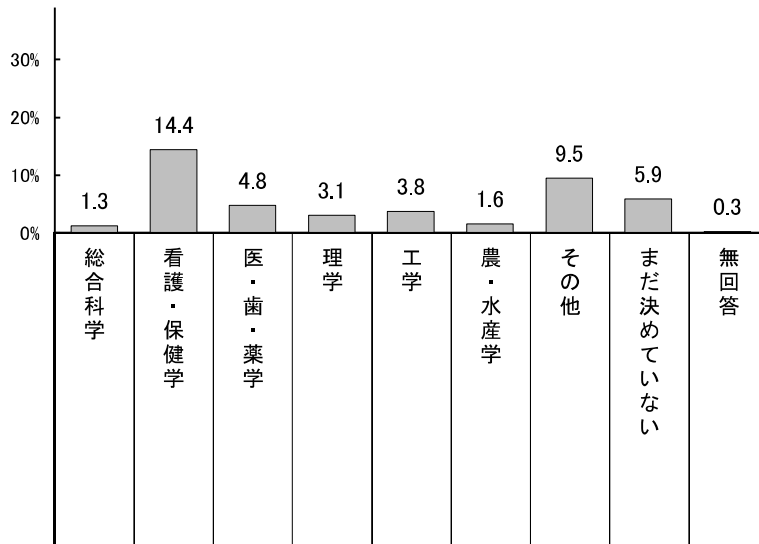
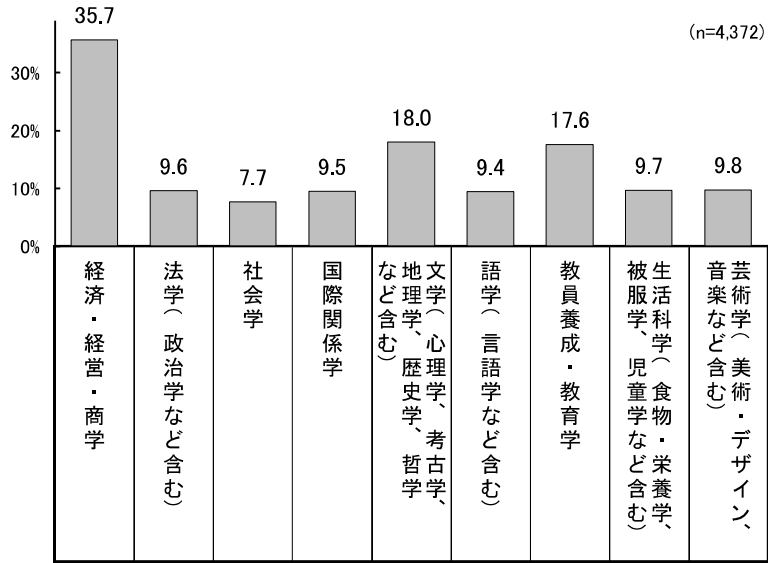
Q1. あなたは、高校卒業後の進路について、現時点ではどのように考えていますか。以下の項目から、あてはまる番号すべてに○をつけてください。(いくつでも)



# 興味のある学問系統

## ■興味のある学問系統

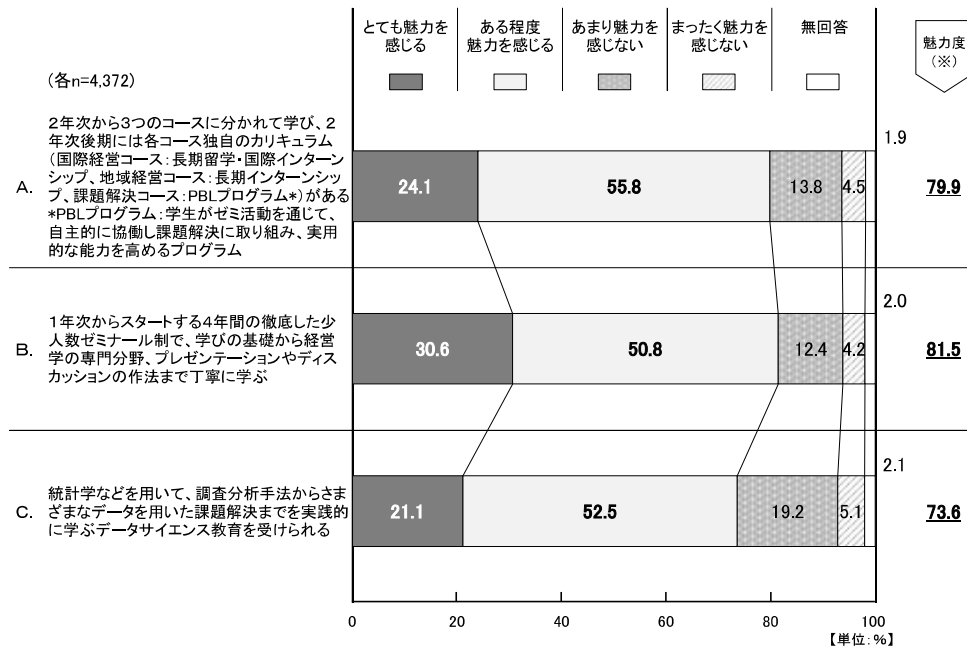
Q2. あなたは、どのような学問に興味がありますか。以下の項目から、興味のある学問系統の番号すべてに○をつけてください。(いくつでも)(現時点で進学を希望されていない方も、進学する場合を想像してお答えください。)



# 就実大学「経営学部 経営学科」の特色に対する魅力度

## ■就実大学「経営学部 経営学科」の特色に対する魅力度

Q3. 就実大学「経営学部 経営学科」(定員増構想中)には、以下のような特色があります。それぞれの特色について、あなたはどの程度魅力を感じますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)



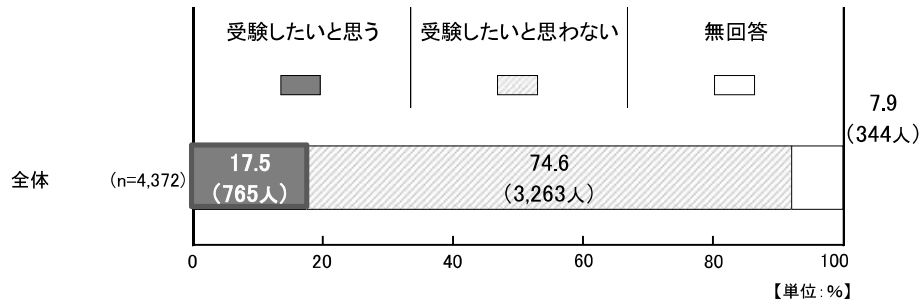
※魅力度=「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値

※魅力度は、人数をもとに%を算出し、小数点第二位を四捨五入しているため、「とても魅力を感じる」と「ある程度魅力を感じる」の合計値と必ずしも一致しない

# 就実大学「経営学部 経営学科」への受験意向／ 入学意向／受験意向別入学意向

## ■就実大学「経営学部 経営学科」への受験意向

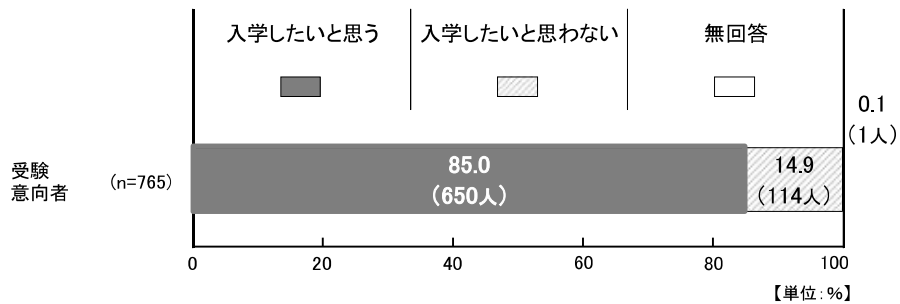
Q4. あなたは、就実大学「経営学部 経営学科」(定員増構想中)を受験してみたいと思いますか。あなたの気持ちに近い方の番号1つに○をつけてください。(1つだけ)



「受験したいと思う」と答えた765人のみ抽出

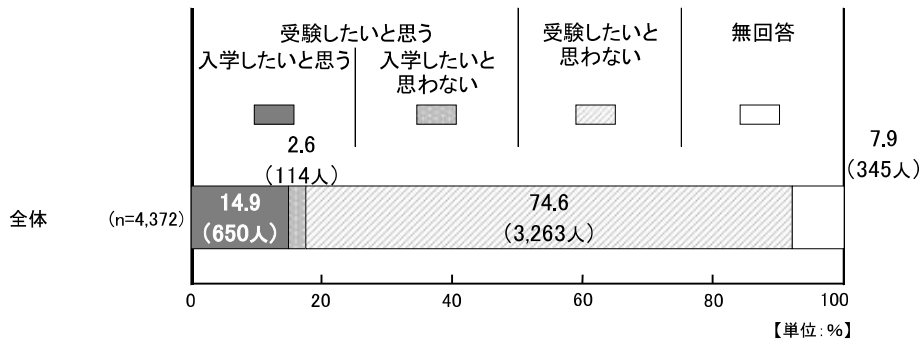
## ■就実大学「経営学部 経営学科」への入学意向

Q5. あなたは、就実大学「経営学部 経営学科」(定員増構想中)に合格したら、入学したいと思いますか。あなたの気持ちに近い方の番号1つに○をつけてください。(1つだけ)



「受験意向(Q4)」と「入学意向(Q5)」を  
かけあわせて集計(母数は全回答者)

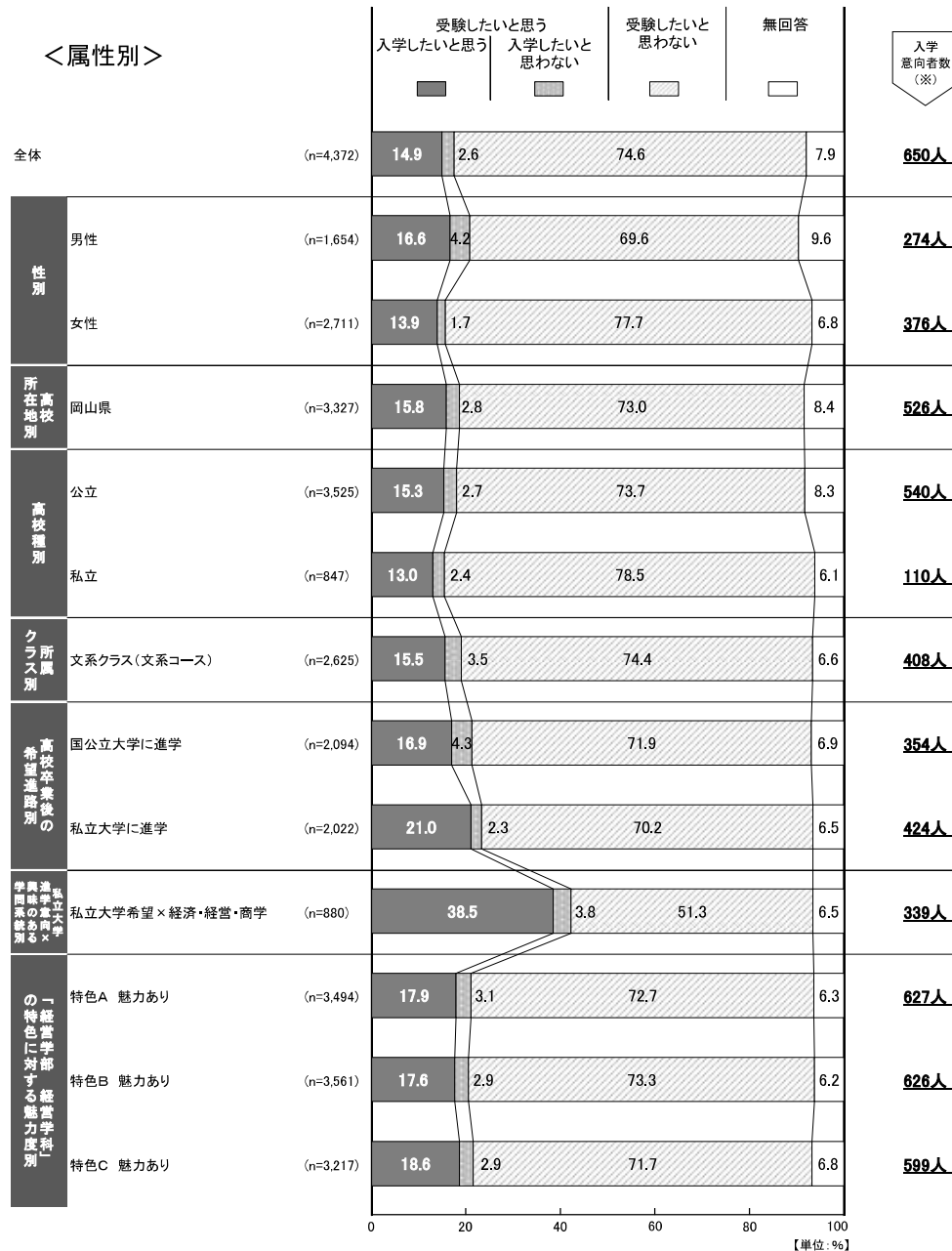
## ■就実大学「経営学部 経営学科」への受験意向別入学意向



# 就実大学「経営学部 経営学科」への受験意向別 入学意向<属性別>

## ■就実大学「経営学部 経営学科」への受験意向別入学意向<属性別>


※就実大学「経営学部 経営学科」に対して、Q4で「受験したいと思う」と回答し、かつ、Q5で「入学したいと思う」と回答した人を就実大学「経営学部 経営学科」の入学意向者と定義する。



※入学意向者数＝「受験したいと思う」かつ「入学したいと思う」と回答した人の人数

---

**高校生対象 調査結果まとめ・調査結果**  
**各コース\*の評価について**  
\*2年次以降に設定予定





## 高校生対象 調査結果まとめ

### 就実大学「経営学部 経営学科」各コースの特色に対する興味度

- 就実大学「経営学部 経営学科」各コースの特色に対する興味度(※)は、いずれのコースにおいても5割を超える。
- 最も興味度が高いのは、「A. 国際経営コース:グローバルな視野と経営学の知識をあわせ持ち、企業で海外との取引や交渉にあたることができる力を身につけられる」(62.1%)である。

次に興味度が高いのは、「B. 地域経営コース:地域からの視点に経営学の知識を融合させ、多面的な視野から地方の課題に取り組むことができる力を身につけられる」(59.1%)、さらに「C. 課題解決コース:グローバルな視野を持ち、調査分析手法やマネジメント、データサイエンスの知識を駆使できる力を身につけられる」(56.1%)と続く。

※興味度=「とても興味がある」「ある程度興味がある」と回答した人の合計値

### 「経営学部 経営学科」受験意向かつ入学意向者ベース

- 就実大学「経営学部 経営学科」受験意向かつ入学意向者に限定した場合、各コースの特色に対する興味度(※)は、いずれのコースにおいても8割を超える。
- 最も興味度が高いのは、「B. 地域経営コース:地域からの視点に経営学の知識を融合させ、多面的な視野から地方の課題に取り組むことができる力を身につけられる」(86.9%)である。

次に興味度が高いのは、「C. 課題解決コース:グローバルな視野を持ち、調査分析手法やマネジメント、データサイエンスの知識を駆使できる力を身につけられる」(83.8%)、さらに「A. 国際経営コース:グローバルな視野と経営学の知識をあわせ持ち、企業で海外との取引や交渉にあたることができる力を身につけられる」(81.1%)と続く。

※興味度=「とても興味がある」「ある程度興味がある」と回答した人の合計値

## 高校生対象 調査結果まとめ

---

### 興味のあるコース

- 回答者の最も興味のあるコースを聴取したところ、「国際経営コース」が42.5%で最も多い。次いで「地域経営コース」が34.8%、「課題解決コース」が17.1%と続く。

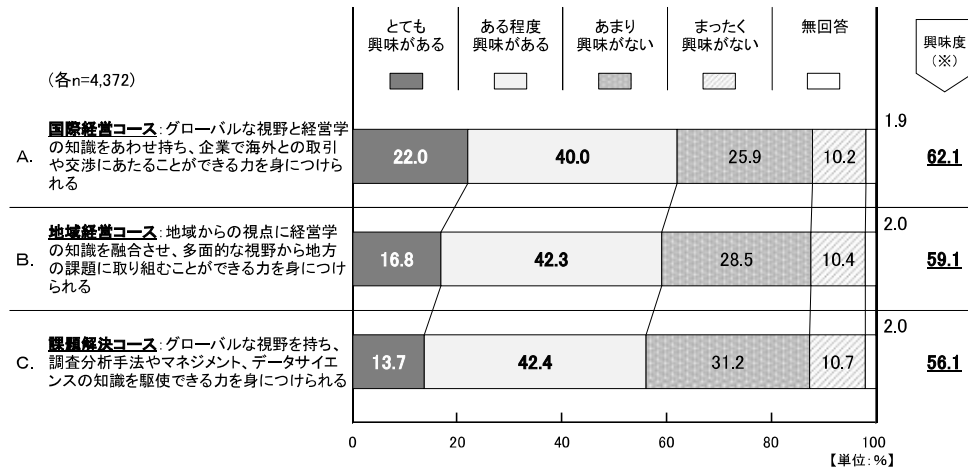
### 「経営学部 経営学科」受験意向かつ入学意向者ベース

- 就実大学「経営学部 経営学科」受験意向かつ入学意向者に限定した場合、「国際経営コース」が41.4%で最も多い。次いで「地域経営コース」が39.4%、「課題解決コース」が15.7%と続く。

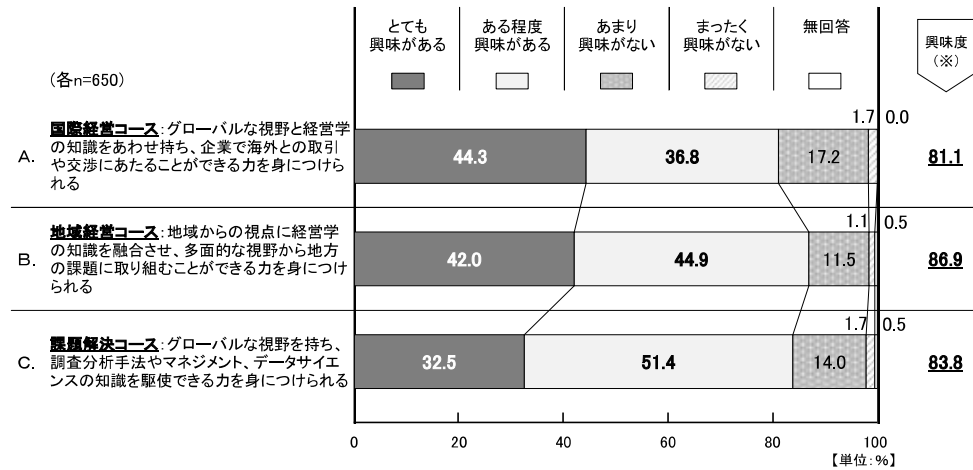
# 就実大学「経営学部 経営学科」各コースの特色に対する興味度

## ■就実大学「経営学部 経営学科」各コースの特色に対する興味度

Q6. 就実大学「経営学部 経営学科」(定員増構想中)では、2年次から以下の3つのコースに分かれて学ぶことを検討しています。それぞれのコースについて、あなたはどの程度興味がありますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)



## 「経営学部 経営学科」受験意向かつ入学意向者ベース



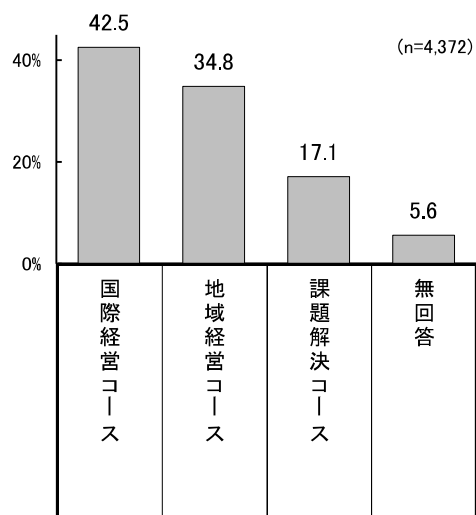
※興味度 = 「とても興味がある」「ある程度興味がある」と回答した人の合計値

※興味度は、人数をもとに%を算出し、小数点第二位を四捨五入しているため、「とても興味がある」と「ある程度興味がある」の合計値と必ずしも一致しない

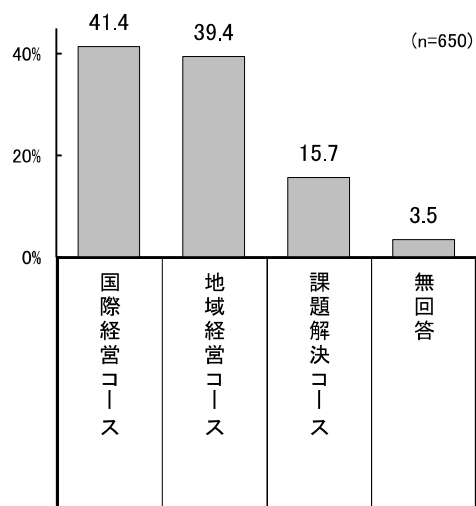
## 興味のあるコース

### ■興味のあるコース

Q7. 以下の3つのコースの中で、あなたが最も興味があるのはどのコースですか。あなたの気持ちに近い番号1つに○をつけてください。(1つだけ)



### 「経営学部 経営学科」受験意向かつ入学意向者ベース



## 卷末資料 調査票



# 調査票

## 就実大学 経営学部 経営学科 に関するアンケート

就実大学では2023年(令和5年)4月より、「経営学部 経営学科」の入学定員増を構想しています。  
このアンケートは、高校生みなさんの進路選択に対する考え方や、大学で学びたいことなどの意見をお伺いし、就実大学の教育をより充実したものにするための参考資料とさせていただきます。  
このアンケートで得られた情報や回答内容は、上記の目的のための統計資料としてのみ活用し、個人を特定することは一切ありません。  
つきましては、ぜひアンケートへのご協力をお願いいたします。

※ このアンケートや同封した資料に記載されている「経営学部 経営学科」(定員増構想中)に関する事項はすべて予定であり内容が変更になる可能性があります。

記入要領

1. 回答は、あてはまる番号に「○」印をつけてください。
2. この用紙は、電算処理しますので汚さないようにしてください。
3. 記入は、必ず鉛筆又はシャープペンシルで書くようにしてください。
4. 下記の【良い記入例】に沿って記入してください。  
特に、「○」印は、番号丸枠からはみ出さないようにつけてください。

ここに○印をつけてください

10/75

○ 経済・経営

良い記入例 ○ 経済・経営  
② 法学

悪い記入例 9 経済・経営  
法学

① 経済・経営  
② 法学

○ 経済・経営  
② 法学

○ 経済・経営  
② 法学

### ◆最初にあなた自身についてお聞きします。

性別 (1つに○)	<input type="radio"/> ① 男性 <input type="radio"/> ② 女性	学年 (1つに○)	<input type="radio"/> ① 1年生 <input type="radio"/> ② 2年生 <input type="radio"/> ③ 3年生
在籍している 高校名	高校所在地 [ ] 都・道・府・県		
	<input type="radio"/> ① 国立 <input type="radio"/> ② 公立 <input type="radio"/> ③ 私立 (←1つに○) [ ] 高等学校		
所属クラス (1つに○)	<input type="radio"/> ① 文系クラス (文系コース) <input type="radio"/> ② コース選択はない <input type="radio"/> ③ 理系クラス (理系コース) <input type="radio"/> ④ その他 ( )		

### ◆高校卒業後の進路や、興味のある学びについてお聞きします。

Q1 あなたは、高校卒業後の進路について、現時点ではどのように考えていますか。  
以下の項目から、あてはまる番号すべてに○をつけてください。(いくつでも)

① 国公立大学に進学  ② 短期大学に進学  ③ 就職  
 ④ 私立大学に進学  ⑤ 専門学校・専修学校に進学  ⑥ その他

Q2 あなたは、どのような学問に興味がありますか。  
以下の項目から、興味のある学問系統の番号すべてに○をつけてください。(いくつでも)  
(現時点で進学を希望されていない方も、進学する場合を想像してお答えください。)

① 経済・経営・商学  ⑦ 教員養成・教育学  ④ 理学  
 ② 法学(政治学など含む)  ⑧ 生活科学  ⑤ 工学  
 ③ 社会学  (食物・栄養学、被服学、児童学など含む)  ⑥ 農・水産学  
 ④ 国際関係学  ⑨ 芸術学(美術・デザイン、音楽など含む)  ⑦ その他  
 ⑤ 文学  ⑩ 総合科学  ⑧ まだ決めていない  
 (心理学、考古学、地理学、歴史学、哲学など含む)  ⑪ 看護・保健学  
 ⑫ 語学(言語学など含む)  ⑬ 医・歯・薬学

1

# 調査票

## ◆就実大学「経営学部 経営学科」(定員増構想中)についてお聞きします。

就実大学では、現在高校2年生のみなさんが大学生となる2023年(令和5年)4月に、「経営学部 経営学科」の定員増を構想しています。

※ ここからは、アンケートに同封している資料を見てからお答えください ※

Q3 就実大学「経営学部 経営学科」(定員増構想中)には、以下のような特色があります。それぞれの特色について、あなたはどの程度魅力を感じますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

		とても魅力を感じる	ある程度魅力を感じる	あまり魅力を感じない	まったく魅力を感じない
例. ○○である。	→	①	○	③	④
2年次から3つのコースに分かれて学び、2年次後期には各コース独自のカリキュラム(国際経営コース:長期留学・国際インターンシップ、地域経営コース:長期インターンシップ、課題解決コース:PBLプログラム*)がある	→	①	②	③	④
A. *PBLプログラム:学生がゼミ活動を通じて、自主的に協働し課題解決に取り組み、実用的な能力を高めるプログラム	→	①	②	③	④
B. 1年次からスタートする4年間の徹底した少人数ゼミナール制で、学びの基礎から経営学の専門分野、プレゼンテーションやディスカッションの作法まで丁寧に学ぶ	→	①	②	③	④
C. 統計学などを用いて、調査分析手法からさまざまなデータを用いた課題解決までを実践的に学ぶデータサイエンス教育を受けられる	→	①	②	③	④

Q4 あなたは、就実大学「経営学部 経営学科」(定員増構想中)を受験してみたいと思いますか。あなたの気持ちに近い方の番号1つに○をつけてください。(1つだけ)

- ① 受験したいと思う      ② 受験したいと思わない

Q5 あなたは、就実大学「経営学部 経営学科」(定員増構想中)に合格したら、入学したいと思いますか。あなたの気持ちに近い方の番号1つに○をつけてください。(1つだけ)

- ① 入学したいと思う      ② 入学したいと思わない

Q6 就実大学「経営学部 経営学科」(定員増構想中)では、2年次から以下の3つのコースに分かれて学ぶことを検討しています。それぞれのコースについて、あなたはどの程度興味がありますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

		とても興味がある	ある程度興味がある	あまり興味がない	まったく興味がない
※コース名・内容は構想中のものです。変更になる可能性があります。					
例. ○○コース:○○○	→	①	○	③	④
A. 国際経営コース:グローバルな視野と経営学の知識をあわせ持ち、企業で海外との取引や交渉にあたることができる力を身につけられる	→	①	②	③	④
B. 地域経営コース:地域からの視点に経営学の知識を融合させ、多面的な視野から地方の課題に取り組むことができる力を身につけられる	→	①	②	③	④
C. 課題解決コース:グローバルな視野を持ち、調査分析手法やマネジメント、データサイエンスの知識を駆使できる力を身につけられる	→	①	②	③	④

Q7 以下の3つのコースの中で、あなたが最も興味があるのはどのコースですか。あなたの気持ちに近い番号1つに○をつけてください。(1つだけ)

- ① 国際経営コース      ② 地域経営コース      ③ 課題解決コース

\*\*\* 質問は以上です。ご協力ありがとうございました。\*\*\*

認可申請構想中

(記載の内容はすべて仮称・構想中であり、変更される場合があります)

# 2023年4月、 就実大学 経営学部経営学科が 新しくなります。

社会経済の変化が激しい今日、自ら課題を発見し解決する能力が問われています。このような状況に対応するため、就実大学経営学部経営学科は、新しいコースを設け、地域の課題にチャレンジできる人材の育成を目指します。

## 経営学部 経営学科

2022年まで

グローバル・ビジネス・  
マネジメントコース 20名程度

リージョナル・ビジネス・  
マネジメントコース 80名程度



2023年から

国際経営コース 20名程度  
(グローバル・ビジネス・マネジメントコースから名称変更)

地域経営コース 80名程度  
(リージョナル・ビジネス・マネジメントコースから名称変更)

課題解決コース 60名程度  
(新設)

※名称はすべて仮称です。

### □ 国際経営コース

グローバルな視野と経営学の知識・技能をあわせ持ち、外国語でのコミュニケーション能力を駆使して企業のグローバル戦略や海外展開を担える人材を育てます。2年次後期にはアジアや欧米で長期留学・国際インターンシップを行い、実践的な語学の習得と異文化理解を目指します。

### □ 地域経営コース

地域の視点に経営学の知識・技能を融合させ、多面的な視野から地域の課題に取り組み、企業や行政、NPOやNGO、医療・福祉機関などの幅広い分野で活躍できる人材を育てます。2年次後期には県内の企業・団体で長期インターンシップを行い、企業経営や地域の課題について学びます。

### □ 課題解決コース

グローバルな視野を持ち、調査分析手法やマネジメント、データサイエンスの知識・技能を駆使して、データに基づいた地域の課題解決のための立案ができる人材を育てます。2年次後期には県内の自治体や企業などと連携し、実際の課題を用いて調査分析手法や課題解決について学びます。



# 4年間の学びの流れ



## これからの経営に必要なデータサイエンスを学ぶ

新しい経営学部経営学科では、データサイエンス教育に力を入れます。データサイエンスとは、データを分析して課題解決のためのアイデアや方法を導き出すこと。データに基づく調査分析手法とあわせて、クリティカルシンキングやファイナンスなどの知識も学びます。



## 経営学部データ

### ◆ 定員

国際経営コース	20名程度
地域経営コース	80名程度
課題解決コース	60名程度

※名称はすべて仮称です。

### ◆ 初年度納入金

	初年次合計
入学金	270,000
授業料	950,000
合計	1,220,000

※このほかに諸会費等を徴収。

### ◆ 類似する大学・学部・学科

- ・立命館大学 経営学部
- ・近畿大学 経営学部
- ・甲南大学 経営学部
- ・松山大学 経営学部
- ・広島修道大学 商学部経営学科

## ACCESS JR西川原・就実駅から徒歩1分



新幹線利用	岡山駅	西川原・就実駅	就実大学
福山駅	約15分	約30分	新神戸駅
広島駅	約35分	約45分	新大阪駅
新山口駅	約1時間10分	約1時間40分	名古屋駅
小倉駅	約1時間25分	約3時間20分	東京駅
博多駅	約1時間40分		
鹿児島中央駅	約3時間		
在来線利用	福山駅	約50分	津山駅
倉敷駅	約20分	約1時間10分	高松駅
総社駅	約30分	約55分	

岡山駅 西川原・就実駅 徒歩 約1分



- 経営学部 — 経営学科
- 人文科学部 — 表現文化学科 / 実践英語学科 / 総合歴史学科
- 教育学部 — 初等教育学科 / 教育心理学科
- 薬学部 — 薬学科

# 【資料 7】 省略

---

## 1（書類等の題名）

【資料 7】 中国地方と一部の四国地方の学生流入出状況（令和 2 年度）

## 2（出典）

学校基本調査「出身高校の所在地県別 入学者数」

## 3（引用範囲）

中国地方と一部の四国地方の県（岡山県、鳥取県、島根県、広島県、山口県、香川県、愛媛県）における出身高校の所在地県別 入学者数

## 4（その他の説明）

上記のデータを加工し、中国 5 県、四国 2 県の学生流入出状況を表にまとめた。

## 【資料 8】 省略

---

### 1（書類等の題名）

【資料 8】 中国・四国の学生流出入状況（令和 2 年度）

### 2（出典）

学校基本調査「出身高校の所在地県別 入学者数」

### 3（引用範囲）

中国地方と一部の四国地方の県（岡山県、鳥取県、島根県、広島県、山口県、香川県、愛媛県）における出身高校の所在地県別 入学者数

### 4（その他の説明）

上記のデータを加工し、中国 5 県、四国 2 県の学生流入出状況を図にまとめた。

**【資料9】過去4年間の求人件数**

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
(a) 求人件数	1225	1114	1058	863
人文科学部卒業生数	234	226	259	239
教育心理学科卒業生数	71	83	61	65
経営学部卒業生数	72	81	75	97
(b) 卒業生数合計	377	390	395	401
1人当たり((a)/(b))	3.2493369	2.8564103	2.678481	2.1521197

平均
1065
2.734087

※求人件数は薬学及び教職幼保の専門求人を除いた数

※教育学部初等教育学科は教職幼保の専門職に就くケースがほとんどのため

一人当たりの求人件数算定からは除外している。

**【資料10】令和2年度就職ガイダンス出席数  
(延べ数)**

ガイダンス名	参加者数
プレ就職ガイダンス (5/13～5/31公開)	319
第2回就職ガイダンス (6/3～6/17)	280
第3回就職ガイダンス (6/17～7/30)	248
第4回就職ガイダンス (7/1～7/30)	343
第5回就職ガイダンス (7/15～7/30)	164
★9/15 就職セミナー	43
★9/16 エアラインセミナー	9
9/23 第7回就職ガイダンス	301
★10/3 自己分析ワークショップセミナー	36
10/7・10/14 第8回就職ガイダンス	354
★10/14 就職セミナー (論作文を書いてみよう)	9
10/21 第9回就職ガイダンス (業界研究会①)	249
10/23 業界研究会in就実大学	23
10/28 第9回就職ガイダンス (業界研究会②)	226
11/4 第10回就職ガイダンス (人)	153
11/11 第10回就職ガイダンス (教・営・科)	98
★11/18 就職セミナー (UIJターン)	11
11/18 第11回就職ガイダンス (卒業生と語る会)	62
11/25 第12回就職ガイダンス (就職活動体験報告会)	145
12/2 第13回就職ガイダンス (就職マナー講座) (人文)	137
12/9 第13回就職ガイダンス (就職マナー講座) (教・営・科)	57
12/16 第14回就職ガイダンス (履歴書・ESフォローアップ) (人文)	100
★12/16 就職セミナー (服装・身だしなみ・ネクタイ) (男子対象)	4
12/23 第14回就職ガイダンス (履歴書・ESフォローアップ) (教・営・科)	43
★12/23 就職セミナー (服装・身だしなみ・メイク) (女子対象)	37

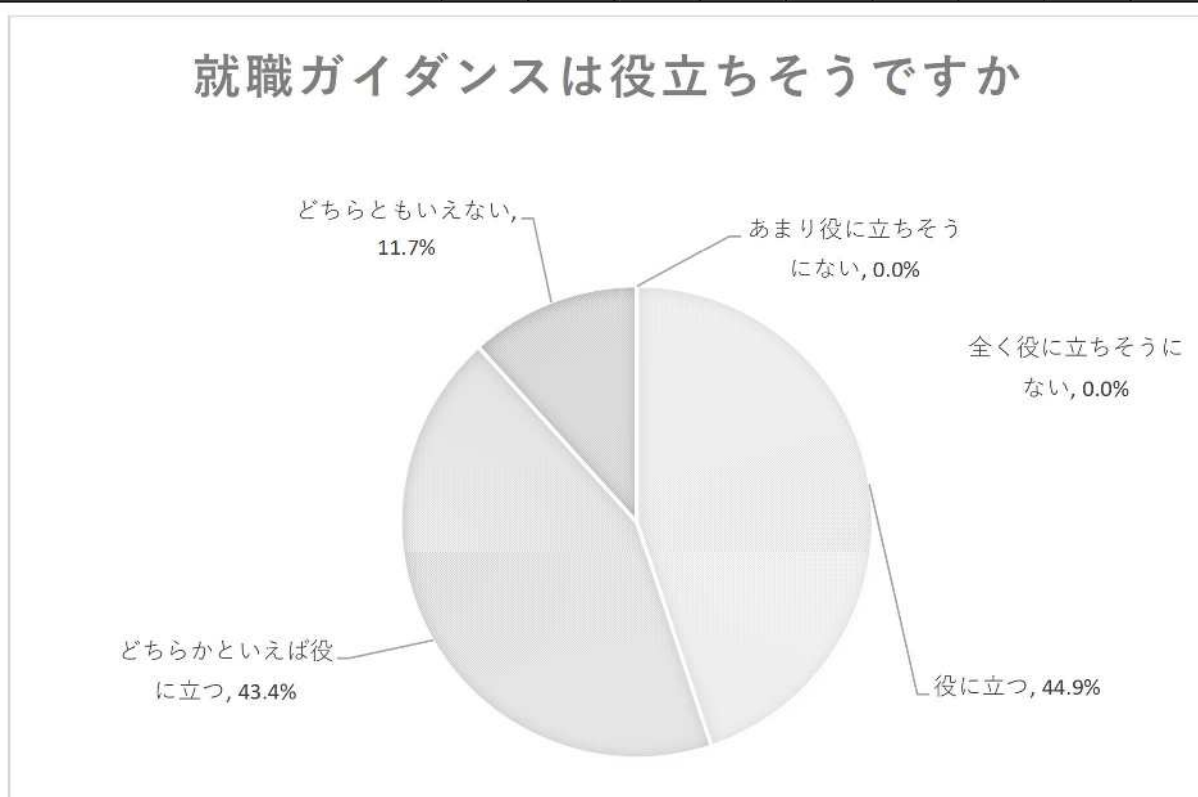
ガイダンス名	参加者数
1/6 第15回就職ガイダンス (合同企業説明会の歩き方講座) (人文)	66
1/13 第15回就職ガイダンス (合同企業説明会の歩き方講座) (教・営・科)	48
★1/18 就職セミナー (履歴書・ES) 【リク・マイ】	16
★1/19 就職セミナー (履歴書・ES) 【マイナビ】	16
★1/20 就職セミナー (履歴書・ES) 【ディスコ】	15
1/20 第16回就職ガイダンス (企業情報公開～選考までの流れ)	138
2/3 AM 第17回就職ガイダンス (合同企業説明会)	107
2/3 PM 第17回就職ガイダンス (合同企業説明会)	57
2/4 AM 第17回就職ガイダンス (合同企業説明会)	65
2/4 PM 第17回就職ガイダンス (合同企業説明会)	39
2/5 AM 第17回就職ガイダンス (合同企業説明会)	59
2/5 PM 第17回就職ガイダンス (合同企業説明会)	83
★2/8 就職セミナー (面接体験)	14
★2/9 就職セミナー (面接体験)	12
★2/10 就職セミナー (面接体験)	12
最終ガイダンス (4/2経営、4/5教育、4/6人文)	240

延べ参加者合計	4438
---------	------

【資料11】令和2年度就職ガイダンス 最終アンケート集計結果

Q.就職ガイダンスは役立ちそうですか

	表現	歴史	英語	経営	初等	心理	科学	学部未選択	合計
<input type="checkbox"/> 役に立つ	12	12	7	14	5	12	30	0	92
<input type="checkbox"/> どちらかといえば役に立つ	21	11	11	22	3	2	19	0	89
<input type="checkbox"/> どちらともいえない	5	1	1	13	1	1	2	0	24
<input type="checkbox"/> あまり役に立ちそうにない	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/> 全く役に立ちそうにない	0	0	0	0	0	0	0	0	0

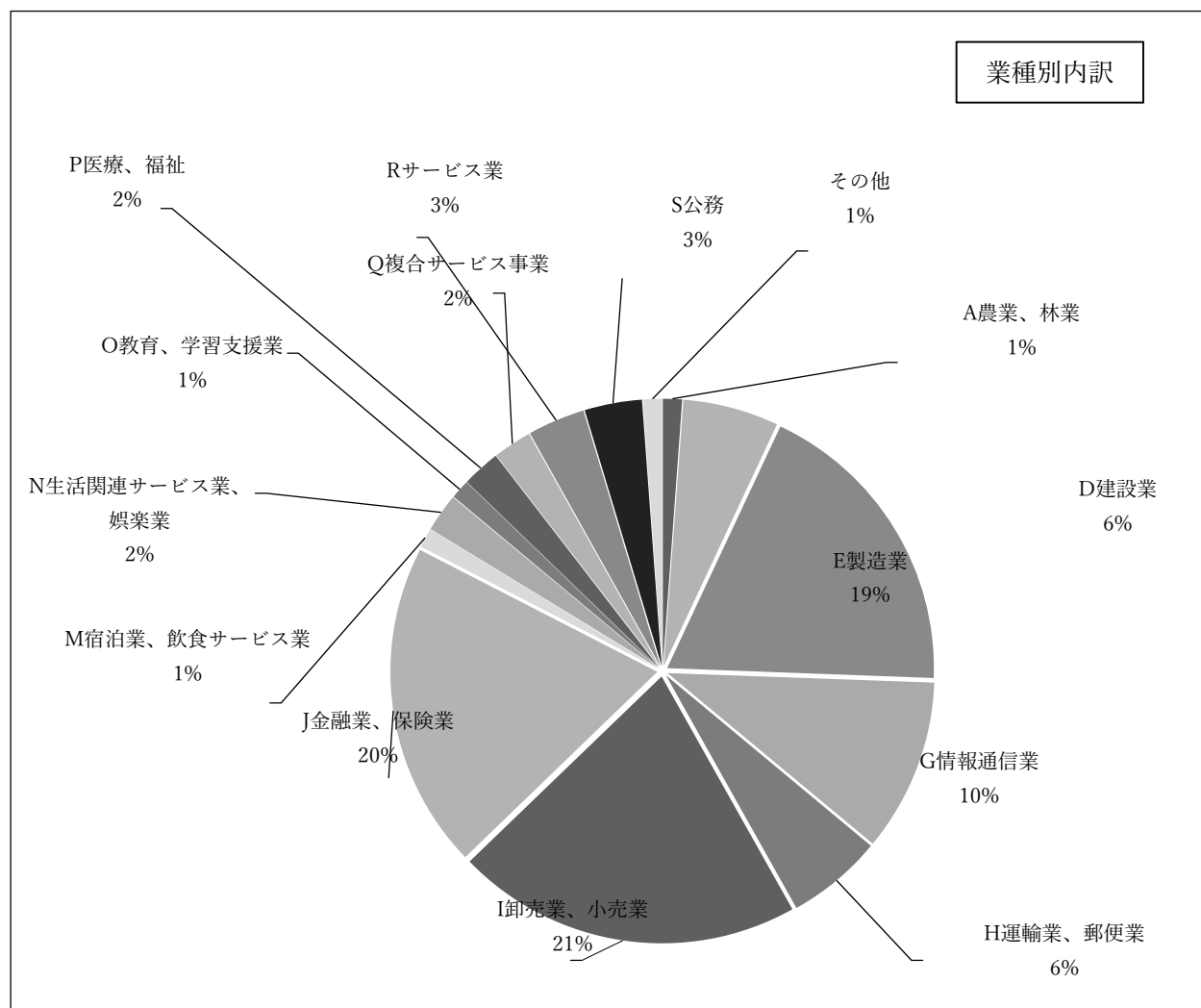


【資料12】経営学部の過去4年間の就職率

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
卒業者数(a)	72	81	75	97
進学者数(b)	2	1	1	3
進学を除く卒業者数 (c)	70	80	74	94
就職希望者数(d)	70	79	72	88
就職者数(e)	70	78	72	86
就職希望者の就職率(e/d)	100.0%	98.7%	100.0%	97.7%
実就職率 (e/c)	100.0%	97.5%	97.3%	91.5%

	平均
就職希望者の就職率(e/d)	99.1%
実就職率 (e/c)	96.6%

【資料13】令和2年度経営学部卒業生の業種別進路



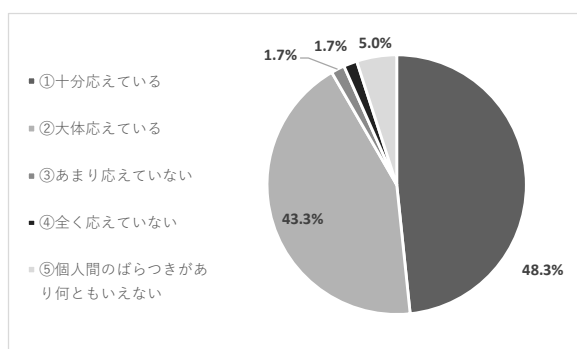


## 【資料14】卒業生就職先企業へのアンケート調査結果

### 調査概要

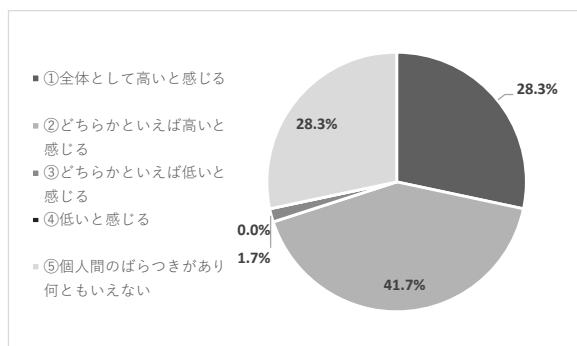
調査目的	卒業生の主な就職先に「求める人材像」等の調査を行い、その内容を本学のキャリア支援や教育内容の向上に反映させることを目的とする。
調査対象	本学一般（専門職でない）学生を定期的に採用し、過去5年間で3人以上採用した企業 126社
調査回答数	60社（回答率47.6%）
調査時期	2020年8月～9月
調査方法	学内イベント管理システムを活用したアンケート方式

### 【採用について】Q1.本学の卒業生は、全体として貴社等の人材ニーズや期待に答えていると思われませんか



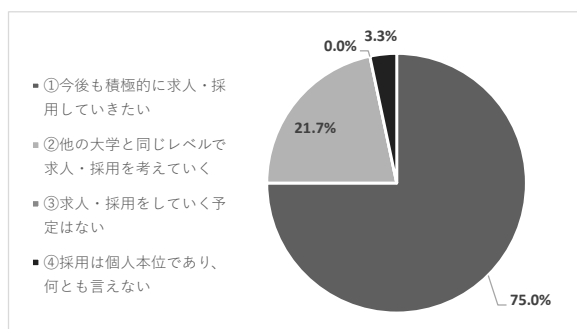
項目	回答数	%
①十分答えている	29	48.3%
②大体答えている	26	43.3%
③あまり答えていない	1	1.7%
④全く答えていない	1	1.7%
⑤個人間のばらつきがあり何ともいえない	3	5.0%
計	60	100.0%

### Q2.本学の卒業生の能力水準において、どう感じておられますか



項目	回答数	%
①全体として高いと感じる	17	28.3%
②どちらかといえば高いと感じる	25	41.7%
③どちらかといえば低いと感じる	1	1.7%
④低いと感じる	0	0.0%
⑤個人間のばらつきがあり何ともいえない	17	28.3%
計	60	100.0%

### Q6.今後、本学卒業生の採用はどのようにお考えでしょうか



項目	回答数	%
①今後も積極的に求人・採用していきたい	45	75.0%
②他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく	13	21.7%
③求人・採用をしていく予定はない	0	0.0%
④採用は個人本位であり、何ともいえない	2	3.3%
計	60	100.0%

【資料15】入学定員増に関するニーズ調査 結果報告書（企業対象調査）

---

---

就実大学  
「経営学部 経営学科」  
入学定員増に関するニーズ調査  
結果報告書  
【企業対象調査】

---

---

令和4年2月  
株式会社 進研アド

© Shinken-Ad. Co., Ltd. All Rights Reserved.

# 企業対象 調査概要

## 1. 調査目的

2023年4月に入学定員増を構想中の就実大学「経営学部 経営学科」に関して、企業のニーズを把握する。

## 2. 調査概要

		企業対象調査
調査対象		企業の採用担当者
調査エリア		鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県
調査方法		郵送調査
調査対象数	依頼数	1,100企業
	回収数(回収率)	457企業(41.5%)
調査時期		2021年11月26日(金)～2021年12月20日(月)
調査実施機関		株式会社 進研アド

## 3. 調査項目

企業対象調査
<ul style="list-style-type: none"><li>・人事採用への関与度</li><li>・本社所在地</li><li>・業種</li><li>・従業員数</li><li>・正規社員の平均採用人数</li><li>・本年度の採用予定数</li><li>・採用したい学問分野</li><li>・就実大学「経営学部 経営学科」の特色に対する魅力度</li><li>・就実大学「経営学部 経営学科」の社会的必要性</li><li>・就実大学「経営学部 経営学科」卒業生に対する採用意向</li><li>・就実大学「経営学部 経営学科」卒業生の毎年の採用想定人数</li></ul>

## 企業対象 調査結果まとめ



## 企業対象 調査結果まとめ

### 回答企業(回答者)の属性

※本調査は、就実大学「経営学部 経営学科」に対する人材需要を確認するための調査として設計。就実大学「経営学部 経営学科」の卒業生就職先として想定される企業の人事関連業務に携わっている人を対象に調査を実施し、457企業から回答を得た。

- 回答者の人事採用への関与度を聞いたところ、「採用の決裁権があり、選考にかかわっている」人は26.0%、「採用の決裁権はないが、選考にかかわっている」人が65.0%と、採用や選考にかかわる人事担当者からの意見を聴取できていると考えられる。
- 回答企業の本社所在地は、就実大学の所在地である「岡山県」が63.5%を占め、最も多い。次いで「広島県」が14.9%、「香川県」が7.0%である。
- 回答企業の業種としては「卸売・小売業」が28.4%で最も多い。次いで「製造業」が23.9%、「サービス業」が9.6%である。
- 回答企業の従業員数(正規社員)は、「100名～500名未満」が48.6%で最も多い。次いで「50名～100名未満」が17.1%、「50名未満」が16.4%である。

### 回答企業の採用状況(過去3か年)／本年度の採用予定数／採用したい学問分野

- 回答企業の平均的な正規社員の採用人数は、「1名～5名未満」が36.3%で最も多い。次いで「5名～10名未満」が21.9%、「10名～20名未満」が19.7%である。毎年、正規社員を採用している企業がほとんどである。
- 回答企業の本年度の採用予定数は、「昨年度並み」が63.7%で最も多い。次いで「増やす」が19.3%、「未定」が10.7%である。未定も一定数あるものの、回答企業の多くで昨年と同等かそれ以上の採用が予定されている様子である。
- 回答企業の採用したい学問分野を複数回答で聴取したところ、「学んだ学問分野にはこだわらない」の割合が51.9%で最も高い。次いで「経営学部 経営学科」の学びに関連のある「経済・経営・商学」が34.1%である。さらに「工学」が24.3%と続く。

## 企業対象 調査結果まとめ

### 就実大学「経営学部 経営学科」の特色に対する魅力度

- 就実大学「経営学部 経営学科」の特色に対する魅力度(※)は、すべての項目で8割を超える。
- 最も魅力度が高いのは、「B. 1年次からスタートする4年間の徹底した少人数ゼミナール制で、学びの基礎から経営学の専門分野、プレゼンテーションやディスカッションの作法まで丁寧に学ぶ」(95.2%)である。

次に魅力度が高いのは、「C. 統計学などを用いて、調査分析手法からさまざまなデータを用いた課題解決までを実践的に学ぶデータサイエンス教育を受けられる」(92.3%)、さらに「A. 2年次から3つのコースに分かれて学び、2年次後期には各コース独自のカリキュラム(国際経営コース:長期留学・国際インターンシップ、地域経営コース:長期インターンシップ、課題解決コース:PBLプログラム\*)がある\*PBLプログラム:学生がゼミ活動を通じて、自主的に協働し課題解決に取り組み、実用的な能力を高めるプログラム」(89.3%)と続く。

※魅力度=「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した企業の合計値

## 企業対象 調査結果まとめ

### 就実大学「経営学部 経営学科」の社会的必要性

- 就実大学「経営学部 経営学科」の社会的必要性については、94.7% (457企業中、**433企業**)が「必要だと思う」と回答しており、多くの企業からこれからの社会にとって必要な学部・学科であると評価されていることがうかがえる。

### 就実大学「経営学部 経営学科」卒業生に対する採用意向・ 毎年の採用想定人数

- 就実大学「経営学部 経営学科」卒業生を「採用したいと思う」と答えた企業は、88.6% (457企業中、**405企業**)である。
- 就実大学「経営学部 経営学科」の卒業生を「採用したいと思う」と答えた405企業へ就実大学「経営学部 経営学科」卒業生の採用を毎年何名程度想定しているか聞いたところ、採用想定人数の合計は**590名**で、予定している入学定員数160名を3倍以上上回っている。このことから、安定した人材需要があることがうかがえる。

<属性別>

◇本社所在地別

- 「中国」エリアに本社がある企業からの採用意向は、89.3% (382企業中、**341企業**)。採用想定人数の合計は**500人**で、予定している入学定員数を3倍以上上回っている。「岡山県」に本社がある企業に絞ると、採用意向は88.3% (290企業中、**256企業**)。採用想定人数の合計は**379人**で、予定している入学定員数を2倍以上上回っている。

◇業種別

- 業種が「卸売・小売業」である企業からの採用意向は、91.5% (130企業中、**119企業**)。採用想定人数の合計は**221人**で、予定している入学定員数を上回っている。

## 企業対象 調査結果まとめ

---

### ◇従業員数別

- 従業員数にかかわらず、一定の採用意向がみられる。従業員数が「100名～500名未満」の企業では採用想定人数の合計が予定している入学定員数を上回っている。

### ◇本年度の採用予定数別

- 本年度の採用予定を「昨年度並み」と回答した企業からの採用意向は89.3% (291企業中、**260企業**)。採用想定人数の合計は**378人**で、予定している入学定員数を2倍以上上回っている。

### ◇採用したい学問分野別

- 就実大学「経営学部 経営学科」の学びに関連のある「経済・経営・商学」を学んだ学生を採用したいと回答した企業からの採用意向は91.7% (156企業中、**143企業**)。採用想定人数の合計は**214人**で、予定している入学定員数を上回っている。また、「学んだ学問分野にはこだわらない」と回答した企業からの採用意向は94.1% (237企業中、**223企業**)。採用想定人数の合計は**332人**で、予定している入学定員数を2倍以上上回っている。

### ◇就実大学「経営学部 経営学科」の特色に対する魅力度別

- 就実大学「経営学部 経営学科」の特色に魅力を感じている企業の採用意向は、いずれの特色でも9割を超えている。採用想定人数の合計もすべて550人以上と、予定している入学定員数を3倍以上上回っている。

### ◇社会的必要性別

- 就実大学「経営学部 経営学科」が社会的に「必要だと思う」と回答した企業からの採用意向は91.9% (433企業中、**398企業**)。採用想定人数の合計は**580人**で、予定している入学定員数を3倍以上上回っている。



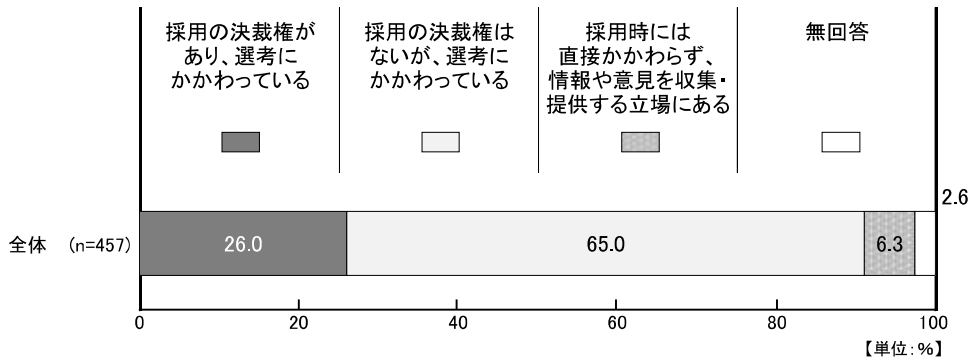
## 企業対象 調査結果



## 回答企業(回答者)の属性(人事採用への関与度/本社所在地)

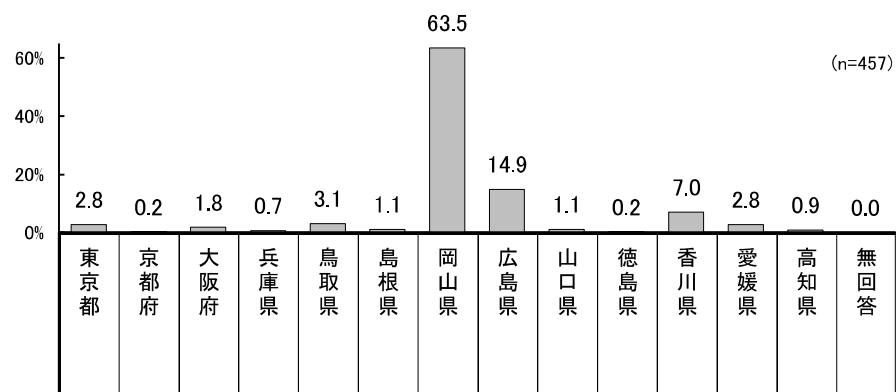
### ■人事採用への関与度

Q1. アンケートにお答えいただいている方の、人事採用への関与度をお教えてください。(あてはまる番号1つに○)



### ■本社所在地

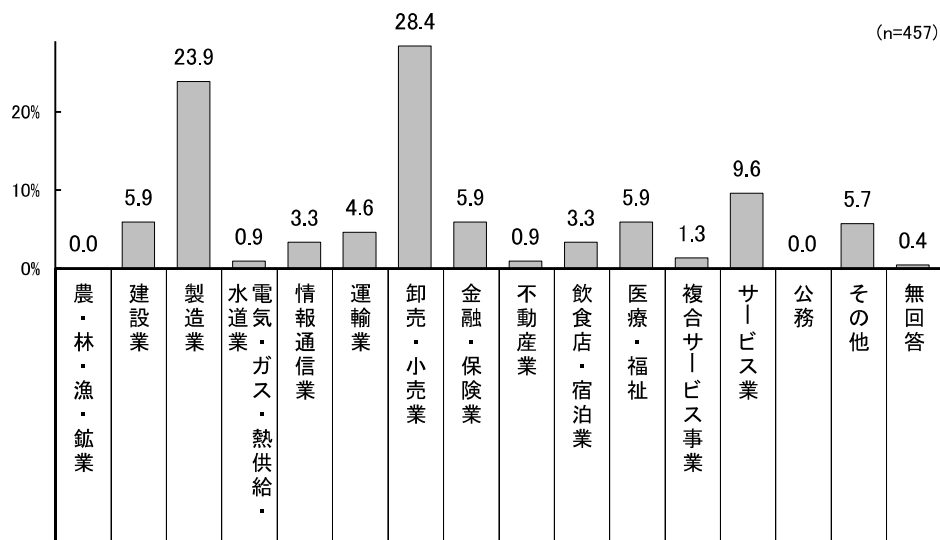
Q2. 貴社・貴団体の本社(本部)所在地について、都道府県名をお教えてください。



## 回答企業(回答者)の属性(業種/従業員数)

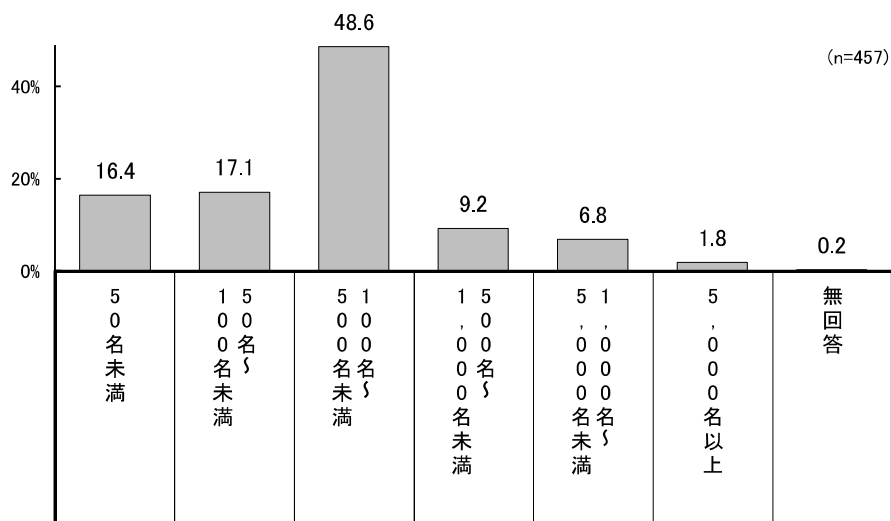
### ■業種

Q3. 貴社・貴団体の業種について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)



### ■従業員数

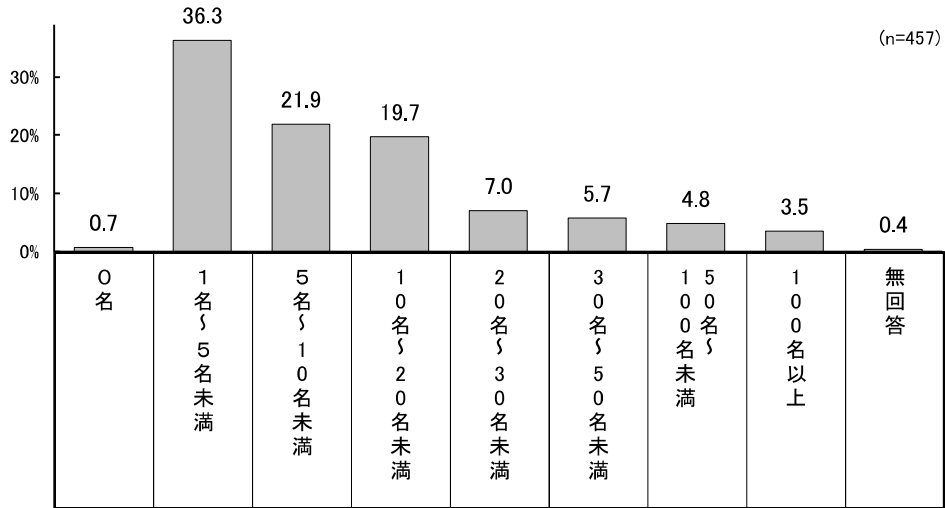
Q4. 貴社・貴団体の従業員数(正規社員)について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)



## 正規社員の平均採用人数／本年度の採用予定数

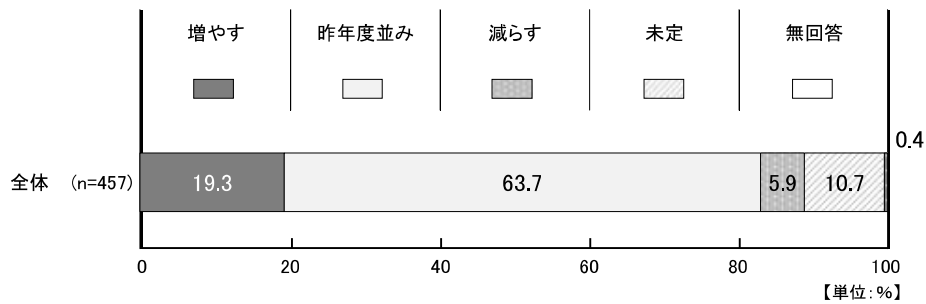
### ■正規社員の平均採用人数

Q5. 貴社・貴団体の過去3か年の平均的な正規社員の採用数について、お教えください。(あてはまる番号1つに○)



### ■本年度の採用予定数

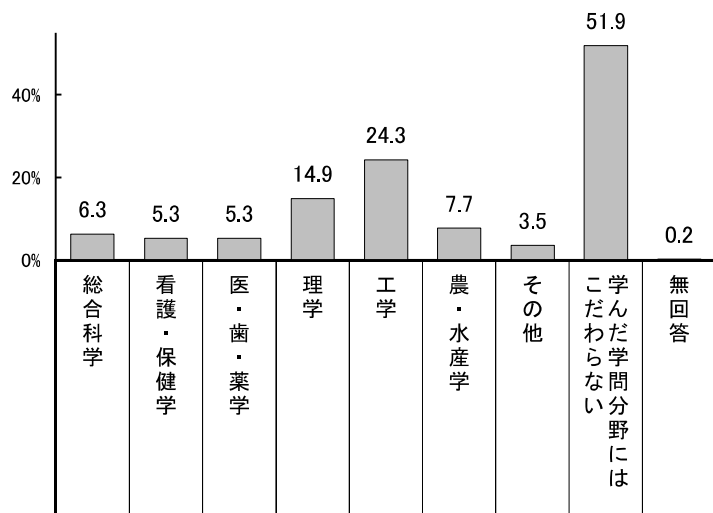
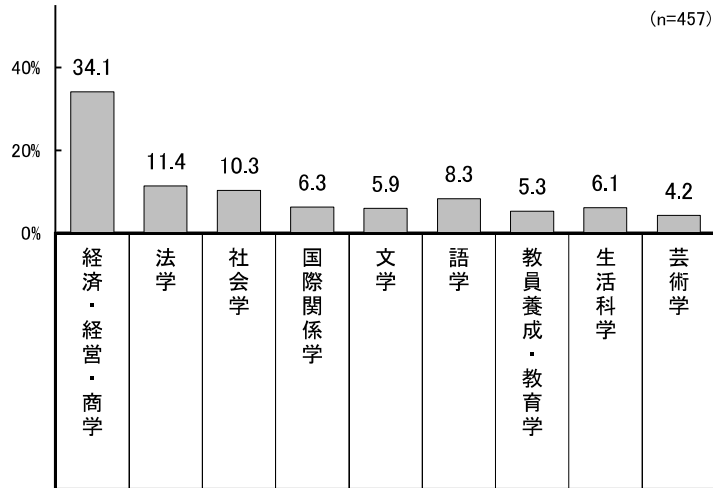
Q6. 貴社・貴団体の本年度の採用予定数は、昨年度と比較していかがですか。(あてはまる番号1つに○)



# 採用したい学問分野

## ■採用したい学問分野

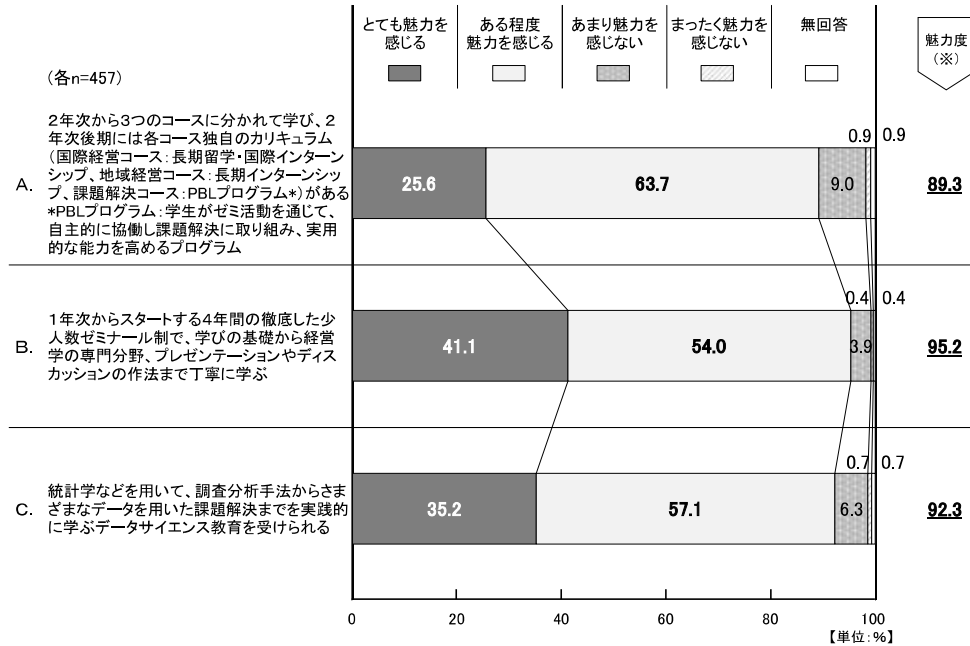
Q7. 貴社・貴団体では、今後、大学でどのような学問分野を学んだ人物を採用したいとお考えですか。  
(あてはまる番号すべてに○)



# 就実大学「経営学部 経営学科」の特色に対する魅力度

## ■就実大学「経営学部 経営学科」の特色に対する魅力度

Q8. 就実大学「経営学部 経営学科」(定員増構想中)には、以下のような特色があります。貴社・貴団体(ご回答者)にとって、これらの特色はそれぞれの程度魅力に感じますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)



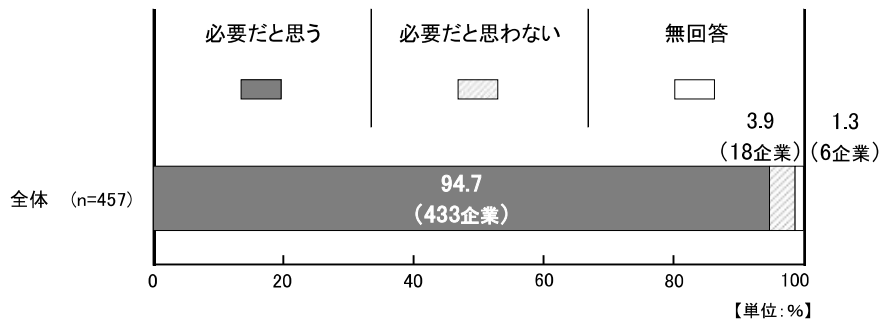
※魅力度=「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値

※魅力度は、人数をもとに%を算出し、小数点第二位を四捨五入しているため、「とても魅力を感じる」と「ある程度魅力を感じる」の合計値と必ずしも一致しない

# 就実大学「経営学部 経営学科」の社会的必要性／ 卒業生に対する採用意向／卒業生の毎年の採用想定人数

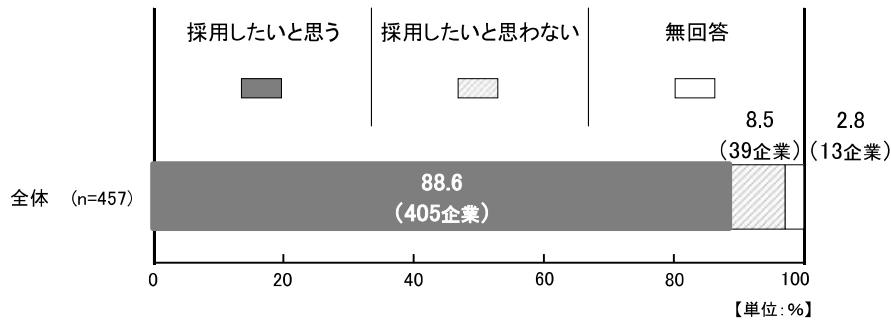
## ■就実大学「経営学部 経営学科」の社会的必要性

Q9. 貴社・貴団体(ご回答者)は、就実大学「経営学部 経営学科」(定員増構想中)は、これからの社会にとって必要だと思われませんか。(あてはまる番号1つに○)



## ■就実大学「経営学部 経営学科」卒業生に対する採用意向

Q10. 貴社・貴団体(ご回答者)では、就実大学「経営学部 経営学科」(定員増構想中)を卒業した学生について、採用したいと思われませんか。(あてはまる番号1つに○)



「採用したいと思う」と答えた405企業のみ抽出

## ■就実大学「経営学部 経営学科」卒業生の毎年の採用想定人数

Q11. Q10で「1. 採用したいと思う」と回答された方におたずねします。  
採用を考える場合、就実大学「経営学部 経営学科」(定員増構想中)を卒業した学生について、毎年何名程度の採用を想定されますか。(あてはまる番号1つに○)

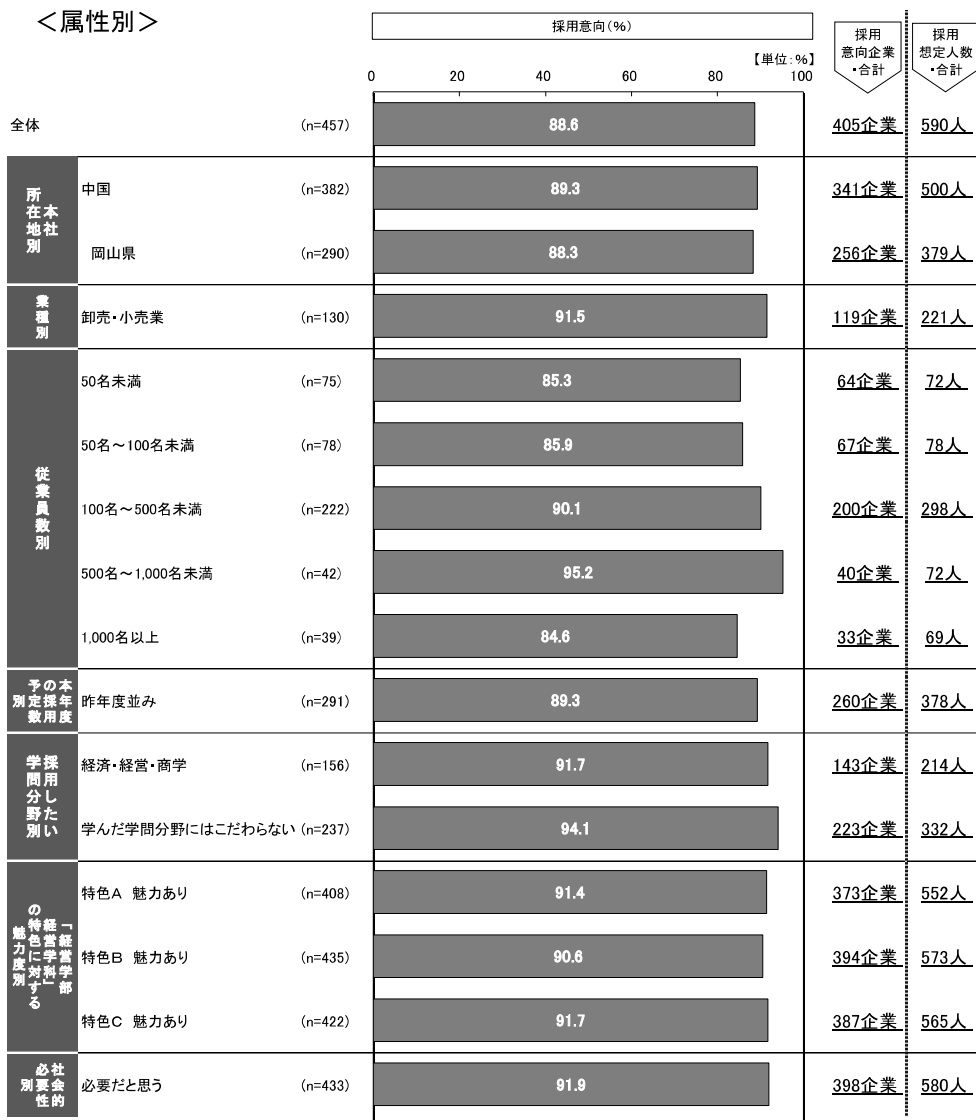
標本数	単位	1名	2名	3名	4名	5名 ～ 9名	10名 以上	計 (※) および 毎年の 採用 想定 人数 を 計 算 す
		%	企業数	名	%	企業数	名	
全体	405	58.0%	235	22.5%	91	8.9%	36	⇒ 371 590
		0.0%	0	1.2%	5	1.0%	4	
			235	182	108	0	25	

※ 毎年の採用想定人数・計 「5名～9名」=5名、「10名以上」=10名 を代入し合計値を算出

## 就実大学「経営学部 経営学科」卒業生に対する採用意向／採用想定人数<属性別>

### ■就実大学「経営学部 経営学科」卒業生に対する採用意向／採用想定人数<属性別>

※就実大学「経営学部 経営学科」に対して、Q10で「採用したいと思う」と回答した企業を【採用意向企業】と定義し、さらに【採用意向企業】のうち、Q11で回答した企業が示す具体的な人数を【採用想定人数】と定義する。



※ 採用想定人数・合計 「5名～9名」=5名、「10名以上」=10名 を代入し合計値を算出



## 卷末資料 調査票



# 調査票

## 就実大学「経営学部 経営学科」に関するアンケート

就実大学では2023年(令和5年)4月より、「経営学部 経営学科」の入学定員増を構想しています。このアンケートは採用ご担当の皆様からご意見をお伺いし、より充実した大学や学部・学科にするための参考資料とさせていただきます。  
このアンケートで得られた情報や回答内容は、上記の目的のための統計資料としてのみ活用し、個人を特定することは一切ありません。  
つきましては、ぜひアンケートへのご協力をお願いいたします。

※このアンケートと同封した資料に記載されている「経営学部 経営学科」(定員増構想中)に関する事項はすべて予定であり内容が変更になる可能性があります。

はじめに、貴社・貴団体についてお伺いいたします。

Q1. アンケートにお答えいただいている方の、人事採用への関与度をお教えてください。

(あてはまる番号1つに○)

1. 採用の決裁権があり、選考にかかわっている
2. 採用の決裁権はないが、選考にかかわっている
3. 採用時には直接かかわらず、情報や意見を収集・提供する立場にある

Q2. 貴社・貴団体の本社(本部)所在地について、都道府県名をお教えてください。

本社(本部)所在地

都・道・府・県 ←1つに○

Q3. 貴社・貴団体の業種について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)

- |                  |             |              |
|------------------|-------------|--------------|
| 1. 農・林・漁・鉱業      | 6. 運輸業      | 11. 医療・福祉    |
| 2. 建設業           | 7. 卸売・小売業   | 12. 複合サービス事業 |
| 3. 製造業           | 8. 金融・保険業   | 13. サービス業    |
| 4. 電気・ガス・熱供給・水道業 | 9. 不動産業     | 14. 公務       |
| 5. 情報通信業         | 10. 飲食店・宿泊業 | 15. その他      |

Q4. 貴社・貴団体の従業員数(正規社員)について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)

- |               |                  |                    |
|---------------|------------------|--------------------|
| 1. 50名未満      | 3. 100名～500名未満   | 5. 1,000名～5,000名未満 |
| 2. 50名～100名未満 | 4. 500名～1,000名未満 | 6. 5,000名以上        |

Q5. 貴社・貴団体の過去3か年の平均的な正規社員の採用数について、お教えてください。

(あてはまる番号1つに○)

- |             |              |               |
|-------------|--------------|---------------|
| 1. 0名       | 4. 10名～20名未満 | 7. 50名～100名未満 |
| 2. 1名～5名未満  | 5. 20名～30名未満 | 8. 100名以上     |
| 3. 5名～10名未満 | 6. 30名～50名未満 |               |

Q6. 貴社・貴団体の本年度の採用予定数は、昨年度と比較していかがですか。(あてはまる番号1つに○)

- |          |        |
|----------|--------|
| 1. 増やす   | 3. 減らす |
| 2. 昨年度並み | 4. 未定  |

裏面へ続く→



認可申請構想中

(記載の内容はすべて仮称・構想中であり、変更される場合があります)

# 2023年4月、 就実大学 経営学部経営学科が 新しくなります。

社会経済の変化が激しい今日、自ら課題を発見し解決する能力が問われています。このような状況に対応するため、就実大学経営学部経営学科は、新しいコースを設け、地域の課題にチャレンジできる人材の育成を目指します。

## 経営学部 経営学科

2022年まで

グローバル・ビジネス・  
マネジメントコース 20名程度

リージョナル・ビジネス・  
マネジメントコース 80名程度



2023年から

国際経営コース 20名程度  
(グローバル・ビジネス・マネジメントコースから名称変更)

地域経営コース 80名程度  
(リージョナル・ビジネス・マネジメントコースから名称変更)

課題解決コース 60名程度  
(新設)

※名称はすべて仮称です。

### □ 国際経営コース

グローバルな視野と経営学の知識・技能をあわせ持ち、外国語でのコミュニケーション能力を駆使して企業のグローバル戦略や海外展開を担える人材を育てます。2年次後期にはアジアや欧米で長期留学・国際インターンシップを行い、実践的な語学の習得と異文化理解を目指します。

### □ 地域経営コース

地域の視点に経営学の知識・技能を融合させ、多面的な視野から地域の課題に取り組み、企業や行政、NPOやNGO、医療・福祉機関などの幅広い分野で活躍できる人材を育てます。2年次後期には県内の企業・団体に長期インターンシップを行い、企業経営や地域の課題について学びます。

### □ 課題解決コース

グローバルな視野を持ち、調査分析手法やマネジメント、データサイエンスの知識・技能を駆使して、データに基づいた地域の課題解決のための立案ができる人材を育てます。2年次後期には県内の自治体や企業などと連携し、実際の課題を用いて調査分析手法や課題解決について学びます。

# 4年間の学びの流れ



## これからの経営に必要なデータサイエンスを学ぶ

新しい経営学部経営学科では、データサイエンス教育に力を入れます。データサイエンスとは、データを分析して課題解決のためのアイデアや方法を導き出すこと。データに基づく調査分析手法とあわせて、クリティカルシンキングやファイナンスなどの知識も学びます。



## 経営学部データ

### ◆定員

国際経営コース	20名程度
地域経営コース	80名程度
課題解決コース	60名程度

※名称はすべて仮称です。

### ◆初年度納入金

	初年次合計
入学金	270,000
授業料	950,000
合計	1,220,000

※このほかに諸会費等を徴収。

### ◆類似する大学・学部・学科

- ・立命館大学 経営学部
- ・近畿大学 経営学部
- ・甲南大学 経営学部
- ・松山大学 経営学部
- ・広島修道大学 商学部経営学科

## ACCESS JR西川原・就実駅から徒歩1分



新幹線利用	岡山駅	西川原・就実駅	就実大学
福山駅	約15分	約30分	新神戸駅
広島駅	約35分	約45分	新大阪駅
新山口駅	約1時間10分	約1時間40分	名古屋駅
小倉駅	約1時間25分	約3時間20分	東京駅
博多駅	約1時間40分		
鹿児島中央駅	約3時間		
在来線利用	福山駅	約50分	津山駅
	倉敷駅	約20分	約55分
	総社駅	約30分	高松駅

岡山駅 → 西川原・就実駅 (徒歩約1分)



- 経営学部 — 経営学科
- 人文科学部 — 表現文化学科 / 実践英語学科 / 総合歴史学科
- 教育学部 — 初等教育学科 / 教育心理学科
- 薬学部 — 薬学科

教 員 名 簿

学 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
—	学長	クワハラ カズミ 桑原 和美 <令和2年4月>		博士 (文学)		就実大学・就実短期大学 学長 (令和2.4～令和5.3)

(注) 高等専門学校にあつては校長について記入すること。